

法學士立作太郎抄譯

早稻田
小篇

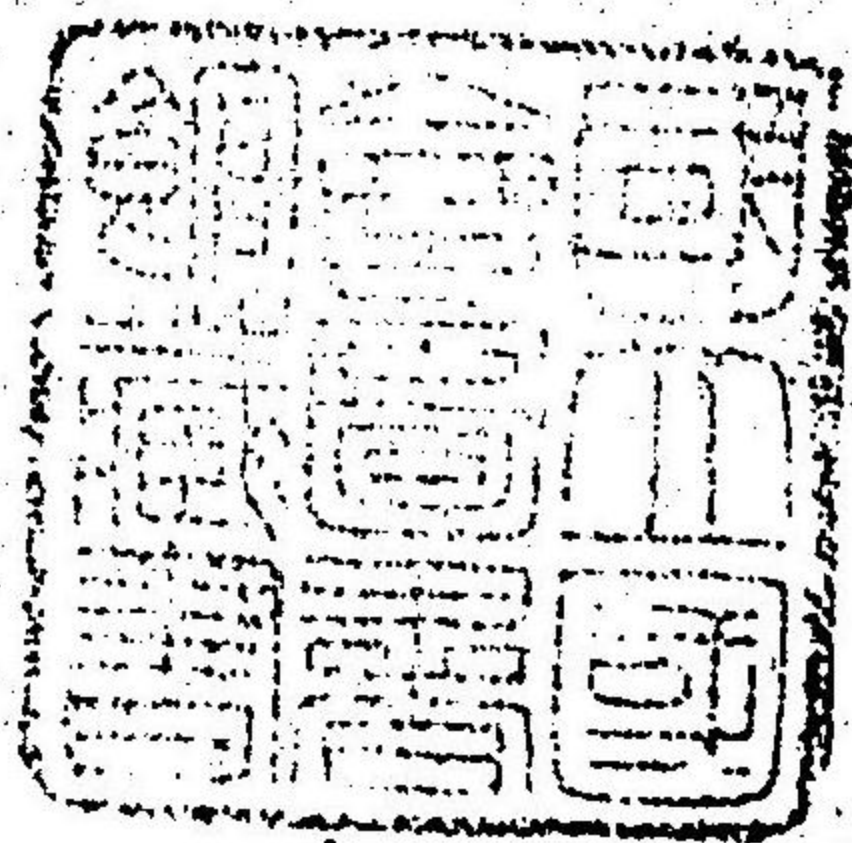
36
最近之支那

東京專門學校出版部藏版

222.06

CC72A

T



446770

本書の原著者アーチバルド、アール、コフィン氏は身久しく支那に在りて各種の事業に關係し時局の紛糾に感ずる所ありて其書を著したる者にして元來氏は學者と謂はんよりも寧ろ實際家たる人に屬し常に緬甸及び暹羅に於て公私の事に斡旋したるのみならず嘗てはニカラグア運河設計の調査に任じ又マシヨナランド殖民地の創設にも瘁盡したる者なりと云へば其人格の如何は畧ぼ推知するに足るべく支那に關する議論の如きも言々皆根據を有して正確穩當徒らに机上の空論を囀々して以て沾々自ら喜ぶ者の亞流に非るべきは殆んど疑を容れざる所なり然れども原著は四百頁に垂んとする大冊

にして卒讀し難き恐あるを以て我々は過般立法學士に
囑して其粹を抜き要を撮み最も簡明に抄譯せしめ以て
本書を成すとを得たり去れば極東問題の解決最も急な
るに拘らず歐洲人の眼光を以て支那の現況を觀察した
る良著未だ多く傳はらざるの今日何人も本書を把て偶
讀一過すれば此問題に對する泰西識者の意嚮をも揣摩
するを得其發明する所益し甚だ尠少ならざるべきな
り

明治三十四年五月下澣

東京專門學校編輯部

最近之支那目次

第一章	緒論	一
第二章	支那の政治	五
第三章	支那の社會	二五
第四章	支那の外交	五一
第五章	支那の經濟	八一
第六章	結論	一三〇

以上

最近之支那

法學士 立作 太郎 抄譯

第一章 緒論

最近に於ける極東の形勢は殆ど世界の耳目を之に集中せしむるの勢あると共に又極東に關する著書の世に出づるもの極めて多し。就中コフィン (Coffin) 氏の著に係る本書の如き推して以て白眉と爲すに足る。本書は千八百九十八年七月初版を出せしが未だ月を閱するに及ばずして既に再版を出すに至れり。以て如何に本書が江湖の好評を博せるかを知るに足るべし。此種の書を充分に了解せむとせば須らく先づ著者の人と爲り並に其の著作を爲せる旨意及び其の著作の時期を知らざるべからず。仍て予は之を左に概陳せむとす。

第一著者。著者コフィン氏は曾て久しく緬甸に在り、最近其の支那に在るやタイ

ムス新聞の特派員たり、又鐵道問題に關する事件に關係せり、足を支那に駐むる短からざるを以て支那の事物に關する判断を下すに最も恰好なる地位に在る者と稱して可なり。氏には尙ほ本書の外極東に關する數種の著述あり。然れども氏は歐人の眼を以て支那の事物を觀察したるもの制度風俗に就て多少の誤解あるを免れざるのみならず敢て奇とするに足らざる事をも極めて奇なりとして説けるものなきにあらず。又氏の政治上の見解に於ては露國と英國との間には到底避くへからざる利害の衝突あり、露國の支那に鷹翼を張るは英國の寶庫たる印度を危ふするものとし且つ支那其のものに就ては結局分割を免れざるの數なりとなせり。而して氏は我日本に就ては其の勢力を度外視するの甚しきに至らざるも其勢力の強大を認むるものにあらず。著者の此の如き見解は本書を讀む者の必ず記憶せざるへからざる所なりとす。

第二著作の旨意。本書は化成時期に於ける支那即ち現時の支那を描出するを旨意とするものにして其の尤も力を注げるは政治上、社會上、經濟上の現狀にあり。彼の編序の上に於ける組織の巧拙の如きは固より問ふ所にあらずして専ら實際

上の智識を得せしむるを以て目的とせるものなり。左れば著者も現に本書は之を學生の爲めに著せしにあらすして實際家の參考に資せむが爲めに作るものなりと言明せり。尙ほ本書著作の旨意を知るの上に於て看過すべからざる點は此書の英國人の爲めに書かれたるの一事なり。即ち其の『支那に於ける英國の目的』其他『經濟上の發達』『政治上の問題』等の數章に見るも明かに其の然るを了知することを得へし。

第三著作の時期。本書の始めて梓に上りしは千八百九十八年七月なり。當時に支那が列強に要請せられて膠州灣、旅順口、大連灣、威海衛、廣州灣等の租借を餘儀なくせられ揚子江流域、兩廣、雲南、福建等の不割讓を約し其の他鐵道に關する重要な讓與を爲したる後にして、同年三月以來康有爲一派の改革運動着々其の歩を進め、或は國是を定むるの詔勅となり、或は八股を罷め六衙門を廢するの詔勅となり、其の勢極まるや早く既に天の一方に反對の氣運を喚起するの兆を生じ遂に九月に至て大頓挫を來すの前僅か二ヶ月の時でありとす。本書の説く所康有爲一派の改革運動及び列強の經營に就ては稍々其の詳を缺くの嫌ありと雖も是れ蓋し

上梓に先たつ數開月の前に脱稿したるを以てなり。然れども既に日清戦争に因
て開かれたる支那化成の氣運を看取して立論せるもの故其の以前に於て成れる
幾多支那に關する著書とは自ら其の撰を異にし現今の極東問題に就て最も參考
とするに足るものなり。

要するに本書は歐人の爲めに書ける歐人の書英人の爲めに書ける英人の書にし
て其の描出する所大略に止り微細に涉らざるのみならず其の編次組織に就ても
稍々秩序を缺けるを以て往々隔靴搔痒の感なきにあらず。然れども久しく彼の
地に在りて日夕實地の觀察を爲し鋭敏にして實際的なる眼光を以て目撃耳聞し
たる結果を收めたるもの故吾人が此の書に依て得る所は蓋し尠少ならざるべし。
且つ頗る公平の見を以て判断を下せるか故に極東問題の解釋に貢献する所決し
て少しとせず。况むや本書に依て支那に關する英國具眼者の意見を測知し得る
を以て支那問題を研究せむとする者に取りては必須の書と謂ふべし。若し夫れ
本書に加ふるに予が亡友佐藤安氏の『支那新論』を併せ讀まば支那問題を研究する
に於て裨益する所蓋し益々多からむ。

本書の章を分つこと十四即ち第一地理上の問題第二對外關係第三經濟上の問題
第四交通上の問題第五支那に於ける英國の目的第六商業上の發達第七統治及び
行政第八外交上の交通第九内地の新聞紙第十支那人民第十一支那の民主的^{デモクラシク}制度
第十二香港第十三政治上の問題^上第十四政治上の問題^下是れなり。然れども予
は此の順序に拘らず別に次序を設けて著者の所説を紹介せむとす。

第二章 支那の政治

劈頭第一に説くべきはコンフーン氏の支那の國體の大本及び治國の理想に關する
見解なり。氏は支那の國體の大本を以て祭天の俗に在りとし治國の理想を以て
家族思想の擴充に在りとしむ。氏の言に曰く支那の政府を簡明に了解せむとす
るには之を古代に於ける主神制(セオクラシー)に比するに若くなしとす。而して
皇帝は司祭の長官にして神授の權に依て統治を行ふものなり。一個の教會なる
ものなく一人の僧侶なるものなく又時代の變遷と共に推移せざるべからざる教
旨又は儀式なるものなく將た動もすれば後世の曲解と非難とを速くへき彼の教
典なるものなく唯上に一人在て覆載間に立ち以て治を行ふものなり。此の如

常に時勢の回轉と相伴ふを要するの分子毫も存するなきを以て千古を通して國體の大本に動搖を來すことなく皇帝は彼の蒼々の天を拜し之に代て其の意を民に宣示するを以て其の職とす。皇帝は皇天に對してのみ責を負ふものにして天變地異の災禍あれば獨り罪を引て天に謝す。皇帝と共に其の責を分つ者もなければ又其の權力を分つ者もなし。是れ所謂中華の國體の大本なり。抄譯者曰く支那に於いては古來祭天の俗あり。其の後更に地祇及び祖先をも祭るに至りしことは彼の社稷宗廟の語あるにても知るべし。祭天の俗は今に至て尙ほ存するのみならず實に皇室の大禮の一となれり。乍併支那の國體の大本を以て古代の主神政(セオクラシー)に比するに至ては少しく穩當を缺くものと言はざるべからず。勿論儒教の教旨として君は天意を承けて民に蒞むものなりとの旨義は現今に於ても尙ほ排斥せられたるにはあらざるも然かも支那の政治は古のセオクラシーに於ける如く神の名を以てする統治に非ずして天に承けたる所の君主か自己の名を以てする統治なり。故に寧ろ第十九世紀の初頭に於て歐洲にも尙ほ其の餘喘を保ちて存在したる所の神授君權の説に

基く國體に比するの穩當なるを認む。

コフーン氏は更に治國の理想に就て家族思想の擴充なりとの説を爲して曰く皇帝は父たり人民は子なり。人民は絶對的に上に服従すべく皇帝は下を保育すべしと云ふは是れ理想上の君臣の關係なりとす。殺親は天地に容れざる大惡なり。故に又國の父に對する殺君たる叛逆も惡逆貫盈の大罪にして其の統を繼し其の族を夷けて始めて其の罪を贖ふことを得とするなり。

抄譯者曰く唐虞以前未だ統一を缺ける時代に於ては族長政治の行はれたること疑なしと雖も今藐焉誓ふべからず。支那人或は君臣の關係を以て父子の關係に比し君は臣を視ると猶ほ赤子の如くなるべく民は君を敬愛すると猶ほ父の如くなるべしといふが如き言をなす者あり又家齊ふて國治まるの語ありと雖も是れ決して家族の思想か擴充せられて治國の理想となりしことを表はすものと解すべからず。勿論家族の制度は社會の基礎として東洋に於ては特別の發達を爲し其の鞏固なる殆むと動かすべからざるに至りしと雖も是れ君主よりする統治の理想とは毫も相關するものにあらず。

コリン氏は上に述べたる如き所謂國體の大本と治國の理想を單に理想たるに止まり實際に於て毫も行はれざるを説て宮廷内部に於ける此黨の爲め或は暗殺の變となり或は君主の易置となり結托擠陥に日も是れ足らず高尙なる理想は單に國家の文書形式のみ辛ふして其の殘骸を留むるに至れるものなりとせり。氏進て言て曰く實際に於て最も重要なるは支那の行政に關する事項なり是れ上述の理想と相渉らすして替ふるを得るものなり。政府の最上位にある專制君主は其の實世人の想ふか如く專擅の實なく立憲國の君主共和國の大統領に比して軒輊する所なき地位に在るなり。即ち皇帝は奏上を俟て唯た可否を決するのみ而かも軍國の大事等に至つては之を内閣及び軍機所に諮詢せざるへからず。而して發案の權は固より皇帝の手中に存すと雖も實際に於て之を行ふことは極めて稀有の例に屬す。此の如く官制の組織に依て帝に自ら皇帝の行爲に制限の加へられたるのみならず又一方に於ては朝野有識者の議論に因りても多少の拘束を受くるの傾きあり。何となれば彼の上書の制度に依り有識者は皇帝に對して其の意見を述べざるを得ればなり。此の上書の制度と一官吏の行爲を否とする

者あるとき其の者をして代て其の意見を行はしむるの慣例とは其の方法こそ異なれ往々にして歐洲に於ける黨派政治の結果を生ずることなしとせす。

支那の行政組織は歐洲に於ては殆ど之に近似するものすら見るへからず。之を專制政體と言はむか却て其の民主的制度の存するを奈何せむ。之を數多の獨立國家より成る合衆國と呼はむか皇帝の意のままに地方の總督巡撫を易置するの權あるを奈何せむ。故に歐米に於ける政體を稱呼する如何なる名稱も之を支那の政體に當つること能はざるなり。

支那の社會に於て其基礎を成せるものは鞏固なる家族なり。家族は其の祖先の墳墓の地に住するを以て理想とす。縱令君主其の代を替へ時に戰勝者の軍馬の蹂躪に遭ふも家族の制度は半として抜くべからず。而して數多の家族相集て村邑を成し以て自治の制を行ふ。官吏たるもの苟も此の村邑古來の權利たる自治の制を亡みするか如くむは永く其の職を保つことを得ず。又家族の制度は村邑及び都市に迄擴充せられ其の各々の主長たるものは上に對して遞次に其の統括する所の總ての個人の爲めに責を負はざるへからず。而も是れ極めて輕便なる

統治の方法なり。何となれば各團體は自ら安寧秩序を害し善良の風俗を壞るものを防くの道を講ずるを以て別に政府の干與を煩はすの必要なければなり。此の如く一方に於ては上より下に對する所の政府の統治あり。又他方に於ては下に在て自ら成る所の家族、村邑、都市の自治の制度あり。勿論此の如く上よりする制度と下に存する制度との間に劃然たる分限線を書き出すとは實際に於て爲し能はざる所なるも上よりする側の最下級の官衙は知縣即ち一縣を統括する官吏なりと云ふことを得べし。知縣は其の管掌する所極めて多くして教育、財政、司法、行政の事悉く皆其の手を経ざるなし此の故に知縣は實に上皇帝と下人民とを結合する所の長き連鎖(官衙より成る)の最終の輪環にして事苟も人民の利害に關する必す其の手を経ざるものなし。恰も家族が支那國民の單位なるか如く知縣は其の行政組織の單位なりと謂ふを得べし。

著者は尙ほ知縣の上に知府あり、知府の上に道臺あるとを説き而して道臺が統括區域以外に涉れる各種事務の集中する所の樞軸なるを以て外國人に對して最も重要な關係を有するを説けり。

支那本部を十八省に分ち各省に巡撫ありて道臺の上に位し各省は中央政府の干渉を受くること少くして自治の一團躰を成せり。文武の官衙皆悉く備りて徵稅、防禦、科試等に至るまで皆自ら之を行ふ。然れども其の巡撫以下の官吏は中央政府の任命する所にして中央政府に向て課金を納めざるべからず。此の課金以外に於ては殆ど全く中央政府の干渉を受くることなし。巡撫の職務は一言にして之れを悉くすることを得べし。曰く「平和を維持し課金を納入す」と是れなり。巡撫は絶大の權力を有するものにして下僚の功過を録するか如きも其任なり。故に其の下に對する權力たるや極めて大なり。巡撫の上に總督ありこれ必置の官に非ず、總督は數省を併せて統轄することあり。又單に一省を統轄するものあり。其の數省を統轄するものは例へば兩江總督は江蘇、安徽及び江西の三省を統へ、湖江總督は湖南、湖北を統へ、閩浙總督は福建及び浙江を統へ、兩廣總督は廣東、廣西を統へ、雲貴總督は雲南、貴州を統へ、陝甘總督は陝西、甘肅を統ふるが如し。而して山東、山西、河南の三省は總督の統轄に屬せず。巡撫及び總督は人民の禍福に關して絶大の權力を有するも生殺の權に至ては非常緊急の場合の外皇帝の允許なくし

て行ふことを得ず。然れども罪人を長く幽閉するの權を有するを以て此制限も實際に於ては半は其の効用を失ふの傾きあるを免れず。

支那官吏社會の觀察を爲すに方り最も注意すべきは其の二箇の特質にありとす。即ち第一は總て官吏は科試を経て始めて其の官を得ると是れなり。所謂科試なるものは其の由來極めて古くして之に登第するは人生の最大光榮の一たると同時に亦官海に意を得るの登龍門なり。第二の特質は第一の特質より自ら生ずる所に於て兼ねて又其の第一の特質に因て生し來る所の餘弊と謂ふを得へし。即ち身荷も官に仕へむとせば所謂讀書の人とならざるへからず。而して他には何等の特別なる資格をも要するとなきを以て一たひ仕官して其の職務に當るに及て其職務を行ふに就て特に必要なる所の才藝を養ふの機會なく其の結果學ぶ所は用ゐる所にあらす用ゐる所は學ぶ所にあらざるの弊を生ずること是れなり。官吏の職務に就て之を觀るに其の雜多なること實に驚くべく一人にして租税を徴し人民を收し獄を斷し考試を司る等種々の事務に従事せざるへからず。官少しく進むに従て漸く分業の事あるに至ると雖も尙ほ各種の方面に向て事務を執

らざるへからず。此の如く諸種の事務に當りて諸種の經驗を積みは自然に普通の智識を鋭敏にするを以て支那官吏は案外新時局に當て泰然として感はざるの觀あるを見る。彼等か處世の第一義とする所は謹慎なり。從て其の弊流れて回顧逡巡の習を做し稍もすれば口實を設けて人を欺き辭を飾りて人を惑はしむ。而して其の詐偽を指摘するに及ても活として耻づるを知らず。彼等は詐言に附するに大言の語を以てし之を用ふるも毫も私徳に害なしとせり。然れども分業なき制度は事務進行に障礙すること極めて大なるは疑を容れず。其の弊は彼の日清戰役の當時に見るも顯著なるを知るへし。然るに今日に至ても支那人自らは未だ之を悟らざるなり。

支那の官吏組織に伴ふ諸制度は若し單に内治に關する方面のみを視れば其の弊たる尙ほ忍び得ざるにあらず。實に五十年前未だ涉外關係の頻繁ならざる時に在ては此の如き制度は中央政府と地方官吏との最も便とせる所なりしならむ。即ち中央政府も自ら不可能の事を爲さず又地方官に不可能の事を爲せるを責めざるものにして地方の問題の詳細をまて中央政府か自ら聽斷することなく單に

地方の牧民官をして事の成敗に對して責を負はしむるに止めたるは支那の如き地域の絶大なる國に在りては便と謂ふことを得べきなり。沿岸に在る所の洋夷即ち外國人は國家動亂の原因を爲すものなるを以て之と交渉の衝に當るものは能く外人を鎮撫し之を駕御するに於て令名ある者を以て之に充てたり。當時外國人に關する最も重要にして急須なりし事は、彼等の動靜を北京の朝廷に聞かしめざるに在りたり。

地方の官紀紊亂に對する豫防策の立てられたるもの無きに在らず。即ち一方に於ては同一人の同一官職に在る年限を滿三箇年とし他方に於ては其の出生せる省に於ては官吏となることを得すと規定せる類なり、蓋し之れに依て官吏か一方に私して公の義務を忘れ又は其の地方に勢力を扶植して上を冒すの勢を馴致することを掣せむとするものなり。然れども此の如き豫防策の常として働もすれば官吏と其の統轄せる地方との情實を疎濶にし官吏は念頭毫も其の地方の利益を圖るの心なく却て自家一身を肥すか爲め其の地方を培克するの弊を生ずるのみならず在官年限短ければ從て其の心力を職務に傾注するの誠意を缺き單に

其の官職を以て我利を網するの手段にのみ供するに至るを免れず。又科試に應せむとする者及び之に及第して未だ官職を得ざる者又は官吏にして一時職を失へる者等は概ね皆來て各省の首府に返るよりして總督巡撫は此等の者を用ゐて以て他の官吏の行爲を監督するの耳目となすことを得るなり。是れ亦豫防策の一と見て可なるべし。然れども他に更に最も整備せる豫防策の存するものあり。即ち彼の官吏を監視する所の都察院の制度是れなり。都察院の御史以下の官は京洛の内外を問はず官等の高下を論せず苟も官吏に失行あれば輒ち直に之を彈劾するの權を有するものなり。

以上の如く官紀を維持するか爲めに種々の豫防策の設けられたるを見れば人或は支那に於ける行政の極めて完備せるを想像するものあらむが理論と實際との間には常に多少の徑庭あることは政治上若くは道德上の事柄に免るべからざる所に於て殊に支那に於ては其の最も甚しきを見る。是れ一には其の地域の極めて廣大にして監督の普ねからざるに出つると又惡弊の因襲久しきに亘りて殆ど如何ともすべからざるに由るものなり。之れか救治策の行はれざるは蓋し屢例

外を設けて規則を動かすの致す所とせざるを得ず。例へば前述の在官年限の制あるにも拘らず李鴻章は殆ど二十年來一官に在りたるか如し。而して尙ほ弊の最も甚しきは嚴存せる豫防策を巧に通るゝに在り。法を潜るは一般の認めて敢て訝しまさる所にして縦令上官の命令あるも徒らに華麗の文字を用ひて應答の言辭を慎むのみ實際に於ては毫も之を奉行するの跡なきなり。

然れども尙ほ支那の最弱點を見むと欲せば之を中央政府に求むるに若くはなし中央政府に在ては最早其の上に立つ者なきを以て弊害百出するも之を矯すの道なく其の腐敗は恰も北京の街路の敗類せるに比すへし。北京の市街たる其の規模の極めて宏大なるに拘らず街路の敗類に至ては洵に甚しきものあり。道路の中央往々にして大凹陥を生し夏日天の雨ふるや時に或は人畜の道路に瀾るゝの奇觀を呈すること少からず。北京に於ける中央政府の腐敗は恰も此の如き道路と擇ふなきなり。

著者は次に中央政府の經常的機關として六府(吏、戶、禮、兵、刑、工)を擧げ更に此の上にて二箇の會議あるとを述べて内閣と軍所の事に言及せり。然れども特に擧示すべ

きの價值なきを以て今之を略す。

著者は更に總理衙門の設立の事に論及し其の一千八百六十一年一月に始めて設けられたるは唯た外部の刺激に因れるものとし而して其の以後に於て渉外の關係事件頻々として起るに至り遂に其の用を認めざるを得ざるに及び始めて千八百九十年に於て之を國家常設の官衙として確立したるものにして其の以前は單に臨時の設備に過ぎざりしものなりと説き、次に至りて著者は尙ほ南北洋通商大臣なるものも亦外國關係の必要に迫られて生したるものなるを説き、而して兩通商大臣の職司の限界明確ならざるか爲め一方の苦心して施設する所は往々にして他方の容易に排毀し去る所となるの状あるを説き、尙ほ彼の水師の事に付ても數言を費せり。

支那の官吏制度に就て説きて曰く吾人の最も奇とする所は官吏には殆ど全く休日なるものあるなく重き病氣に罹るか或は父母の喪に服する等の重大の事故あるにあらざるよりは常に其の職務に従事せざるべからざることなり。又官吏は遊觀を爲すことを禁せらる。大臣にして足若し劇場に入れは即ち彈劾の厄を免

れざるなり。此の如く休日もなく慰樂をも妨げらるゝ制度は一見頗る嚴肅なるか如きも其の實却て官紀を紊すの原因となり居るなり。蓋し此の如く其の禁制の餘りに苛酷なる爲め之を通れむとして笑ふべき種々の口實を設け以て自ら欺き併せて官を罔き而して我も人も平然として受て之を咎むるものなきに至ればなり。

著者は上述せる支那の官吏組織に關する言に次て官吏の仕官の動念に言及し支那に於ても他國に於けるか如く政治機關を動かすの動力は公共心に依て節和せられたる一個人の野心にありとし、而して支那に於ては特に公共的の分子か利己的の分子よりも多きを以て其の常とし制度の理想の高き丈け益其の實行に於て汚醜の跡あるを説き、西陲に所謂「最も善き物の腐敗は最も悪しきものを作る」と云へるを引て以て支那に充つべしと言へり。著者は更に言を續けて曰く支那政體の理想の非常に高尚なるや塵界に於て之を實現するか如きは到底不可能の事に屬するを以て其の高尚なる理想も單に古文書の字句の中に辛やく殘喘を保ち居るのみにして之を今日實際の事務に徴すると能はず。是を以て現下に於る北京

の政策を判断するに古文書中に説かれたる所の理論に依らむとするか如きは徒らに人をして大なる過誤に陥らしむるのみ。固より理論と實際との相一致せざることは何國の政治上に於ても殆ど免れざる所なるか支那の如きに至ては皆實際の理論と相一致せざるのみならず殆ど相隔離して其の間何等の關係も存せざるか如き實狀を現出せるものと謂ふべし。

支那の行政に於て通弊とする所は虚偽にして眞實の風を缺くに在り。而して其の弊の蟠ること最も深きは中央政府にあり。帝國內の公けの事業に就ては事々物々實際と外觀とを異にすと云ふも過言にあらず。支那に在ては眞の愛國心なるものか官吏又は人民の腦裏に存するや否やは外來者の常に判断に苦む所なり。一身を挺して國家の爲めに盡瘁し身を以て王室の擁護に任せざるべからざる地位に在る者か却て之を賊し之を賣らむとするか如きことあり。國家の大臣若くは皇族の如きすら一身の私を營むに急なる動もすれば其の君國の仇敵と欺を通せむとす。多年の間北京に於ては朋黨比周互に鎬を削りて日夜相争ひ一派の徒は皇帝を戴きて勢力を張らむとし一脈の者は又西太后を擁して之に抗し以て取

轉を是れ事とし百方手段を盡くして政權を其の掌裡に歸せしめむとす。而して此間に處して常に西太后の利を圖るものを李鴻章とす。李の馬關條約を訂して歸るや皇帝黨は大に之を憤り呼んで賣國の奴と爲し其の極或は之を暗殺せむとし其の成らざるや更に手段を更め彈劾の道に依て其の死を致さむと企謀せり。然れども深く彼と結托せる西太后の其の間に在りて匡救の道を盡くしたるか爲め一條の血路を拓き俄かに特使としてモスコに露帝戴冠式に臨み以て其の危急の運命を免れたり。然れども李鴻章を嫉視し日夜之に禍せむとする一派等輩の餘燭尙ほ未だ全く燼滅せざるを以て彼は百方西太后の御袖に縋りて一身の安全を保たむと試みしか。然かも西太后の齡既に傾きて復た爲すあるに足らざるを看破するや老獪なる彼は第二の防禦策として露國の勢力に依頼せむとせり。是れ實に露國が其の國南の羽翼を張て禹城の山河を掩ひ志を清廷に得て鷓鴣の欲を逞ふするに至れる始めなり。

支那の朝廷に於ける婦人の勢力も亦看過すべからざる所のものにして其の勢力の鷹揚するや往々にして國害を醸すの勢あり。支那が現下の窮境に陥りて如何

ともすべからざるの否運を速きたるは事實に於て政權を掌握せる西太后の人と爲りに基くもの其の多きに居るや言を俟たず。外國に對する清國の讓與は皆西太后が其の一身の私を圖る苟且偷安の措置に原因するものと言ふも不可なし。彼は曾て其の夫帝たる文宗と共に英佛連合軍の難を熱河に避けてより具さに蒙座の苦楚を嘗めて深く其の困厄に懲り之を避けむか爲めには如何なる高價を拂ふことをも敢て辭せさらむとするの結果「北京進入」の一語は彼をして如何なる條約をも甘むして批准せしむるの魔力を有するに至れり。日清戦役の際皇帝が都を逃れて遠く地方に據り以て刀折れ矢盡くるまで戦を繼續せむとするに方り極力之に反對して平和を買はむか爲めには如何なる讓與をも忍ぶべしと主張せるは西太后なり。露國の強迫に畏れて強ひて皇帝の意を抑へ坐ながら露國の要請を容れて敢て一辭を出す能はざりしも亦西太后なり。

世の支那を論する者は言必ず官吏社會の腐敗に及び而して之を以て支那に特有なるものとせざるはなし。然り官吏社會は眞に腐敗の極に達せり。而も其の腐敗たるや腐敗の性質に於て特有なるにあらずして寧ろ其の腐敗の範圍の廣きと

而して其の腐敗を以て却て常態とするの點に於て特有なるなり。其の實質に於ては歐洲各國に在ても常に目睹する所の腐敗と何等の異なるものあるなし。支那に於ける腐敗をして爾かく不治の状態にまで至らしめたるは一に其の地域の廣大にして監督の普ねからさると其の國を成す尤も古くして數百代の慣習今日に存して牢として抜くべからざるとに是れ因る。

然り而して其の腐敗即ち賄賂を貪り官金を私するの惡弊は固より彼の國に於ても不法とする所にして事若し露はるゝ時は忽ち刑に處せらるゝものなり。故に支那の官吏は治獄の吏の鼻息を窺ひ憚々焉たらざるべからず。此の故に勢ひ極めて臆病にして常に事物に競々然たるの傾きあり。要するに支那官吏の腐敗を見て之を一個人に責むるは過當なり。何となれば是れ古代より荏苒行はれ來りしものにして一人一個の力を以てしては到底此の慣習的勢力に打勝つことを望むべからざればなり。

弊害の由て來る根本は彼等官吏の薄給なるにありと謂ふことを得へし其の得る所は以て自ら養ふに足らず勢ひ其の家族及び自己の地位を維持せむが爲めに

他に収入の途を求めざるべからずして復た其の方法の善惡を問ふに迫らる。且つ下級の官吏は上級の官吏の己れに禍するを避くるか爲めに之に向て常に賄賂する所なかるべからず。乃ち不法の道に由ても尙ほ且つ多くの収入を得るの手段を取るに至る。既に此の如き必要に迫られて一度不正の道を履むときは復た本に還るを忘れて漸次に深淵に向て歩一步を進め益々其の無限の欲を充たさむと圖るは蓋し人情の免れ難き所なり。此の如き弊害の存するか爲めに如何なる官吏も會計を報告するに其の眞の計算を以てするものなし。従て中央政府の収入も徒らに地方官吏の會計に依頼する能はざるを以て一定の金額を定めて之を中央政府に納めしむるの制を創むるに至れり。即ち之を地方官をして徴税の請負を爲さしむるの制度と謂ふべし。

支那官吏の官金を私するより生ずる結果として外國人をして奇異の感を惹起せしむるもの一にして足らず。例へば茲に或る建設物を頽壞するものありとせむに此時若し工事に關係する外國人にして其の局に當る支那官吏に向て之を修繕すべきことを説けば彼れ甚だ憚はす。然れども若し説くに全然新に改築すべき

を以てせば彼則ち欣然として之を嘉納すべし。是れ一見甚だ奇異の感あるも深く其の真相を穿ては又強ち其の理なきにあらず。即ち改築には官金を支出することも多く修繕には少し。多ければ從て自己の私囊を肥すことも大に少ければ之を爲すと小ならざるを得されはなり。又大砲の備付等最も慎重ならざるべからざる國防の設備の如きすら尙ほ此の筆鋒を以てするものにして其の結果巨額の國帑を糜して堅牢なる砲壘を築きながら大砲を使用するの熟練ある者を一人も養成せざりし爲め空しく其の用を爲さざるに至るか如き常に賭る所の現象なり。實に支那の官吏は自己の私囊を最も多く肥すに足るべき事業のみを經營するに是れ匪むるものにして支那に於ける向後の物質上の進歩の動機は蓋し此の如き奇異なる原則の發作に由るものなるを忘るべからず。此の如き弊は實に中央政府の財政を紊亂せしむるのみならず延て國家臣民の公共心なるものを麻痺せしめて復た如何ともすべからざるに至らしむ。時に或は官吏の收賄若くは官金横取の故を以て刑に處せらるるものなきにあらずと雖も是れ異常に過度の失行を演せしものにあらずれば則ち其の利を他の官吏に配分することを吝みしに由る

ものにして其の他に至ては爲めに處刑を受くるか如きと極めて稀なり。以上述べたる所に由て之を觀れば一方に於ては支那の財政制度に向て根本的革新を加ふるの急務なるを知ると同時に又之を實行することの極めて困難なるを了知し得べし。近頃外國人の支那の稅務に關係すること例へば英人ハート氏の總稅務司たることの如きは實に支那の財政を整理する上に於て極めて必要の事にして若し之を一層押し擴めて總て政府の收入に就て外人の監督を行ふに至らしめば庶幾くは財政の紊亂を匡救し國帑の不足を告ぐる今日の如きを免るを得べし。

第三章 支那の社會

支那の社會に對する著者の見解を紹介するに就ては先づ支那人の性質に關する其の所説を解説せざるべからず。著者は古來歐米人にして支那人に關する記述を爲したるものの中に就て著しく異りたる特色を有するものを區別して二派に分つことを得べしと説き其の一は支那人を非難し其の風俗習慣を以て徹頭徹尾厭惡すべきものとするの一派にして他は支那人の性格の特異なる點を捉へて噴

た其の珍奇を描出し以て歐米の讀者を樂ましめむとする一派なりとせり。而して前者の見る所に由れば凡そ支那人に關する事物は皆悉く嫌ふへく厭ふへきものにあらざる莫しとし毫も其の善良なる半面を認むるを肯せず。而して後者は又支那人の特色を描寫するに重むるも單に其の歐米人の認めて以て珍奇なりとする一點のみを捉へて其の他を閉却するを以て是れ亦支那人の眞面目を會得するに足らざるものなりとせり。

著者は支那人の他の何れの人民にも異なる特異の點は其の地域人口の極めて絶大饒多なると年代を經過せること頗る長久なるとにありとし而して此の二個の事實及び其の孤懸索居せる事實を知るときは吾人は支那の開化の甚た複雑にして殊に保守的性質を帶ふるを怪まざるに至るへしとし更に國民として年所を経る爾かく悠久なりしとは其の所因の如何に關せず其の結晶して進歩の氣運を失ひし原因たらざるを得ず。人若し一たひ此等の事實を思念せば支那の改革を外間よりして強ゆるの甚た難きを覺るへしと脱けり。

著者は次に支那人の個人としての性質の特點を擧げて下の如しとせり。即ち第

一(勤勉にして倦まざること)第二(柔順にして人に抗せざること)第三(節欲にして飲食に耽らざること)第四(堅忍にして克く事に耐ゆること)第五(身體強壯にして勞力に堪ゆること)第六(緻巧にして手工に妙を得たること)第七(敏捷にして記憶力に富めること)第八(眞實の風を欠て食言を物ともせざること)第九(利得の念盛にして鄙吝の行あること)第十(約束の時間を守らざること)第十一(慣習を重むし家族制度の思想深く浸染せること)第十二(寛大にして恩に感ずると歐人よりも深きこと)等はなり。而して著者は第一の勤勉なることに就き説を作して曰く是れ支那人種の最も著しき特色にして自ら勞力を求むるの性を具へたるものなりと。而して又支那人が歐米其の他の白人國に於て嫉視せらるゝは偶々以て其の勤勉の性を具へ白人に取りて恐るへき競争者たるを證するものに外ならずとせり。又第二の柔順にして人に抗せざる點は支那人をして枉屈を忍はしむるを以て却て竟に大に伸暢するを得せしむる所以なりとせり。次に第三の節欲にして飲食に耽溺せざるの點は支那人をして能く時と金との節約を爲すを得せしむるものとせり。而して著者は更に支那人が奢侈は勿論普通の快樂すら強て之を覓めず僅少なる

報酬に甘むして能く長時間の労働を敢てするを避けざるの風あるを特筆せり。而して第四の堅忍なることに就て支那人の能く災禍に耐へ而して常に満足の念を失はざるの風あるを述べ、第五の點に就ては特に擧ぐべきの言なく、第六の機巧にして手工に妙を得たる點に就ては歐米人を後へに瞻若たらしむるに足り而して機械の運轉に就ても若し積むに多少の習練を以てせば是れ亦決して歐米人に劣ることなかるべきを言ひ、第七の敏捷にして記憶力に富める點に就ては著者は彼の「マコーレイ傳の著者が」パラダイスロストの失はれたる時には其「マコーレイ」の記憶に依て再び之を復すとを得」と云へる如き大なる記憶力は支那人中に在ては敢て誇るに足らず。支那人は能く古代の經典を記憶し其の文藻の富麗なるか如きも此の記憶に由て養はれたるものにして實に記憶力の發達は驚くべきものありとし。又數學應用學哲學等に於ても支那の學生は優に歐羅巴の學生に頑するの力ありと説けり。第八の眞實の風を欠て食言を物ともせざる點に關し著者は言をなして曰く支那人に在りては虚言は決して耻つべきものにあらすして寧ろ百般の事に亘りて其の外面の体裁を繕ふこと能はざるを耻とするの風あ

り之か爲め各人互に相猜疑して信頼することを爲さず從て共同的事業を營むこと頗る困難なりと。著者は又第九の金錢上に卑吝なることを説て曰く是れ其の共同的事業の妨害となるのみならず支那人をして自ら同國人と共同して事業を經營するよりは寧ろ低利を以てしても其の金錢を外國の銀行に預くるの利なるを感せしむるに至る。外國人の頗る廉潔なるよりして博し得たる外國銀行の信用は若し之を善用せば他日或は支那の經濟上工業上及び財政上の革新を爲し之をして發達せしむる好個の方便と爲すこと難きに非ざるべしと。著者は尙ほ支那人の利得の念熾なることに付數言を費して曰く支那人は猶太人の如く常に「金錢」てふことの念頭を去ることなく彼等に向て如何なるものを示すも最先に考へ而して最後に考ふる所は即ち其の價値の如何にあり、試に支那人相互の談話を聽けば其の話柄は常に決して「金錢」を離るることなし。實に支那人は利得を喜ぶの情極めて熾盛にして其の最も樂みとする所は常に金錢を積むの道を考ふるにありか如き是れ支那人の先天的商人なることを意味するものにあらすや、但た支那人の商業を喜ぶは單に利益を喜ぶの念のみに由るにあらすして所謂掛引なるも

のを以て一の娛樂とすること恰も猫の鼠を捉へて之に戯るゝか如きものあるに由ること多しとす。著者は更に人情なるものは到る所皆同一轍に出づるを言ひ唯た其の異なる所は東洋に於ては時を費ふことを知らざるに西洋にては殆んど金錢と同一視して大に之れを費ふの點のみにして其の金錢を費ふに至ては東西其の規を一にせりと述へたり。尙ほ著者は支那人の利得の念熾にして金錢上に卑吝なることは一見彼の支那の商人及び其の銀行が極めて誠實なりと云へる傳説と相戻るか如きも其の真相を察すれば決して然らざるを了すべきを説て曰く凡そ各職業には各々其の固有の慣習道徳あり。而して商業なるものは殊に信用を缺けは行はるゝこと能はざるを以て信用なるものは商人及び銀行家の間に在りては必要缺くゝからざる道徳となり身苟も斯業に従ふ限りは此の信用なるものを有せざるゝからず故に信用を重し誠實を尊むの風を成せり。此の風は自然に子孫相承けて益發達し遂に今日に至ては商業界に在りなから信用を毀るか如きことあらは認めて以て不徳の最も甚しきものとするに至れり。然れども彼の政府の官吏なるものに至ては是等の事情なきのみならず其の俸給は以て一身を養

ふにすら足らざるか故に已むなくも賄賂を取り官金を私して腐敗の深淵に陥らざるを得ざるに至る。是れ其の支那の官吏社會に向て廉潔を望むの徒爾なるに拘らす商人及び銀行の頗る誠實にして信用すべき所以なりと。著者は又新事業の經營は古來の傳説と何等の關係を有せず従て他の職業に於ける如く古來の風俗習慣の保護を受ると之れなきか爲め支那の如き古來の慣習の外に道徳なるものを求むゝからざる國に在ては新事業の經營頗る困難にして殊に籍を官海に置く者か之に關係するか如き場合には唯た自家の私囊を肥さむことをのみ是れ阻むべきを以て益困難なりと言ひ更に進て説をなして曰く以上述ふるか如き事情なるを以て支那に於ける商業上の道徳は泰西の法律思想に依て成れる事項に向ては極めて不完全なるを免れず何となれば此の如き事項は固より支那傳來の風俗習慣と相渉るなきを以て従て其の保護を受くることなし。故に苟も利の在所を見れば支那商人は泰西の法律思想に撞着する行爲を敢てして憚るなし。例へば株式會社の場合の如き之か株主たる支那人は拂込期限至るも出來得る限り拂込を免かれんとするか如き是れなり。此の如き事項に對する違約の如きは甚

も其の支那人の家名を毀るか如きことは勿論社會の輿論も亦之に向て何等の間ふ所なし。今泰西の法律思想と支那人の習慣との相異なる一例を商業上の事柄に取りて示さむに支那に在ては手付金を拂ふときは縱令契約書を作製せざるも其の實際の契約を破ること能はず。之に反して單に契約書を交換するのみにては其の拘束力極めて微弱なり。即ち契約書なくして手付金あるは手付金なくして契約書あるよりも鞏固なるなり。此の如き特異なる習慣に是れ違ふて凡ての行爲を爲す所の支那人の腦裏には泰西の法律思想の如きは其の片影だも求め難きは固より其所なり。支那人の眼より見れば泰西人士が契約の文面に拘泥して其の不利益なる義務の拘束を免れんとする如きは極めて信義に背くものとなすなるべし。約言すれば泰西の法律家は契約書に記されたる文言の解釋を主とし支那人は之に反して當事者の意志に重きを置くものなり即ち一は書面上の契約を見他は契約の目的其ものを見る是れ其着眼の異なる所なり。其思想既に爾かく相異なるを以て泰西の人士が支那人と契約を爲す場合には泰西人は支那人の商業上の良心を羈束する所の傳來の慣習に是れ依頼し支那人は又泰西人が記名調印

して交付したる書面上の契約の範圍内に於てのみ其の人を信用するを以て安全の道なりとすべきのみと。著者は又第十の約束の時を守らざるを以て支那人の特色の一なりとし是れ實に前述せる如く支那人が其の形式に依頼せずして實質にのみ着眼する自然の結果なりとせり。而して此の弊は常に實情に通せざるもの、憤怒を買ひ猜疑を招ねく原因となると雖も若し其の實情を察すれば多少恕すべきの點なきにあらす。支那人は頗る多くの迷信を有する人種にして常に卜者の言に傾聽し前兆の吉凶に關心し其の迷信に因て不可とする所の時、處方法又は人と共に事を與にすることを肯せず爲めに一旦約したることも此種の迷信よりして遂に約を果さざるに了ること多ければなりと説きたり。又第十一の家族制度を重むる點に付き著者は之を以て支那人の國民的及び個人的生活の根本の思想なりとし之を以て支那人の生活に關して歐米人の解すべからずとする幾多の現象を解釋するの關鍵となせり。而して此の旺盛なる家族思想の經濟上に及ぼすべき結果に就て二個の要點を擧示せり。曰く一は家族者の一人の爲したる負債は父より子に傳へて親族が辨濟するにあらされは決して消滅せざると是

れなり。而して他の一は此の制度の悪しき結果にして家族の一人は他の家族者を保育せざるへからすと云ふ道徳上の義務あるか爲めに自己の拮据經營して得たる所も之を他に配分せざるへからざるを以て自然に事に勤勉なるの風を欠くに至ること是れなり。而して是れ實に支那の物質的進歩の道途に横はれる一大障礙物なりと云へり。次に第十二の寛大にして恩に感ずること歐米人よりも深きものある點に就き著者は二三の實例を挙げたり。

著者は支那人の個人的性質を上如く叙述し來り而して其の第一乃至第七の點を以て支那人種か將來に發達すへき素因なりとし第八乃至第十の點を以て其の發達を妨ぐる原因なりとし更に一轉して支那人か全軀として工業上商業上政治及び軍事上に於て如何なる力を蓄へ居るかに論及せり。

著者は先づ政治上に就き説て曰く公共的生活に於ける支那人の如何なるものなるかは蓋し未知數なり。現今に在りては國民は殆むと意を政治上の事項に注かず極めて冷眼に看過し之を以て一に官吏の事として自ら顧慮することを爲さず。若し吾人の視る所にして太過なしとせば支那人は國民として愛國心なるものを

表現したることなし。勿論所謂忠臣義士なるもの、提出することなきにあらず。又此等のもの、懷抱せる理想も歐米に於ける理想と甚たしく軒輊する所なしと雖も然も人民全軀を通觀するとき支那に於ける愛國心なるものは極めて狭き範圍に屬する種族的思想の遺物にして實に國家全軀に關するものに非ざるのみならず。又一省に關するものにもあらずして唯一地方の村邑に關する措克又は干涉に抵抗する底の村邑的公共心に止まるものと謂て可なり。政治上に於ける此の如き大なる缺陷は彼の秘密結社なるものに依て一部分を補はれ居ること猶ほ商業界に於ける司法上の缺陷か同業組合に依て補はれ居るか如し。又各省の首府に於ては官吏の一團相集りて會を組織し日々相會して國事を議し且つ會員互に相援けて他の迫害を禦くことあり。又會の決議に依りて高官に在る者をも除名することあり。此等の會に在ては外國人に諂諛したりとの理由を以て其の會員を除名すること稀なりとせず。這般の排外的思想は支那人間に在ては極めて普通の事にして從て到る處に遍滿せり。或は此等の現象は附するに愛國心の名を以てするに足るへき唯一の事項なりとするものなきにあらずと雖も然れ

とも此等の排外的思想は普通にして且つ遍滿せるものには相違なきも決して是に由て共同的行爲を誘致することなし。則ち稱して愛國心とするに足らざるなり。勿論皇室に對する尊敬の念は嚴然として彼等の間に存在するものあるか如きも是れ政治的のものに非ずして寧ろ宗教上より來る一種の觀念に過ぎず。而かも其の觀念たる果して眞實の觀念として存するものなるや否や疑なきを得ず單に辭句の上に於てのみ表はさるゝものにして要するに其の實亡くして其の名のみ存するものなり。

更に眼を轉して軍事上に於ける状態を一瞥するに是れ亦政治上に於けると同一なる主義即ち超然主義若くは無頓着主義の行はるゝを見るべし。支那人が勇武を以て聞へたるは既に業に過去の夢に屬し今日に在ては實に勇武ならざるのみならず實に戦を嫌ふの民となり従て戦術の如きも頗る幼稚にして簡單なる兵力集合のことすら之を解する能はず戦に臨て各軍隊常に孤立の地位を取り他の部隊の危急を見るも敢て赴援するの意なきか如き状態なり。支那の兵士は常に怯懦なりと稱せらるゝも其の然る所以の理由存するを知るとを要す。想ふに徵募

の方法彼か如く給料の支給彼か如く指揮官亦彼か如くにして而して之に怯懦を責むるは蓋し責むる者の酷たるを免れず。若し彼等に適當の支給を爲し適當の教練を授け且つ適當の武裝を具へしめは彼等は復た決して怯懦の兵たらざるべし。日清戦争當時に於ける支那海兵の行動に看るも明かなり疑ふ者は須らく彼ら丁汝昌が威海衛に窘窮せられたる時に於て支那海兵か如何の行動に出でしかを回想すべし。支那の軍隊をして完全なる軍隊たらしむるには唯た其の組織に注意するを以て足れりとす。何となれば支那人は由來學ぶに敏にして教練を受くるに堪ゆるものなるを以て若し彼等の信頼を買ふに足るべき指揮官を置き之に加ふる相當の俸給を與ふることを忘れされは有力なる好個の軍隊を得むこと極めて易々たればなり。廣東人の勇敢なる山東人の強壯にして智徳の卑からざる誰れか好個の軍隊を作るに適せずとせむや。然りと雖も支那人の最も長所とする所は軍事政治若くは科學の上にあらすして寧ろ商業上に在りと謂はさるべからず。是れ過去に於ける歴史か明々地に吾人に示す所にして將來に在ても亦然るものと信せざるべからず。則ち彼等を稱して先天的商人なりと謂ふも吾人は

其の決して過らざるを信するものなり。

抄譯者曰く支那人の特質は著者が擧げたる十二の外に於ても尙ほ特記すべきものあり即ち左の如し。

- (一) 自負心盛にして外面の維持を重むし外國人を輕侮排斥すること
- (二) 社會團結心に富めること
- (三) 保守的精神に富めること

支那人の有する這般の特質を肥臆せされは以て支那人の如何に歐米の物質文明を輸入するに遲緩なるか。如何に舊慣を墨守して變法を俾はさることの甚しきか。如何に外人を排斥するの運動か支那の社會輿論の贊同する所となるか。而して又如何に支那人の隣保鄉黨の輿論に對して臆病なるか等の點を明に了知することを得ざるへし。著者も亦特に之を擧示することを省きしも決して忘却したるにあらざることには後段其の所説に由て之を知るを得へし。

次に抄譯せざるへからざるは著者か『支那の民主的制度』てふ一章中に於て説く所のことなりとす。先づ著者は支那建國の極めて悠久なることの原因に關し許多

の説あることを説て曰く支那か其の國家生活を爲す頗る悠久なる所以の眞の原因に至ては固より複雑にして一朝一夕の能く解釋し悉くす所にあらすと雖も其の原因の一として擧げざるへからざるは支那人の性質に固有なる地方自治の能力是れなりと。且つ曰く此の地方自治の能力は廣き意義に於ける國民性(ナショナルリチー)の鍛成に對しては多少の障礙を爲したること固より疑ふへからすと雖も而かも各個の小團體に於ける國民性を維持したるものは實に這般の自治能力に是れ因るものと謂はざるへからすと。

支那に於ける上よりして下に對する所の統治と而して地方に自ら存せる所の自治なるものは果して孰れか舊くして孰れか新しきか殆ど之を斷定するに苦むのみならず少しく詭辯に似たるも亦孰れか最も威權あるものなるやをも之を甄別するに苦まざるを得ず。蓋し萬乘の天子と雖も百姓を殘賊することを得ず。若し之を取てすれば輒ち忽ち其の位を失はざるへからず。是れ儒教の教育の一なり。又人民の權利は土地の所有産業の自由及び地方事務の處理の上に存す。凡そ土地なるものは其の名に於ては固より皇帝の所有に屬すれども深く其の實

際を看れば皇帝は土地よりして只其の租を收むるのみ其の以外には之に對して何等の權をも有せず。但た叛逆の如き原因に由りて往々土地を沒收する事あるのみ。而して其の租なるものも之を増すことを得ざるは由來支那帝國の基本的法則なり。リトホーフン言へるあり曰く凡そ此の地球上に於ける人民にして官吏の干渉を受くる少なき支那人の如きは蓋し稀なりと。

然れども統治と自治とは必ずしも常に調和することを望むべからず。時ありて二者往々抵觸するを免れざるは蓋し已むを得ざるの勢なり。九重の雲深き邊りより皇帝の垂れ給ふ慈仁の綸旨も幾多官吏の階級を経て人民に觸接するに至ては漸く其の性質を變して却て人民を殘賊する所以のものとなり了ること稀なりとせず。故に人民は瞞めて官吏の苛政を免るゝの道を講せざるべからず。然るに政治上に於ては人民は單に之に由るのみにして之を知るを得ざるのみならず彼の選舉の主義の如きも機かに村邑又は村邑の集合に於て行はるゝのみにして決して其れ以上に及ぶものにあらず。之か首長たるものは勿論人民と政府との中間に立つものなれども其の勢力たる極めて微弱にして之に依て民意を上に通ずるが如きことは到底望むべからず。此の如く民意疏通の路殆ど壅塞せられて之を上に通達すること能はざるを以て其の疾苦を匡救するの道は唯た之を都察院御史以下の官吏に待つの外なし。然も是れ亦其の員數に於て極めて少きのみならず業既に腐敗の氣圍氣中に在るものなれば固より以て多くを望むべからず。是に於てか人民は自ら進て法廷に代り是非の判斷を爲し以て其の疾苦を匡はむか爲め粗暴にして慘酷なる救濟手段を取るの已むを得ざるに至る。若し地方の小事件に關し上に對して平ならざることあれば事に當る官吏を途に要して駕を毀ひ其の穿つ所の靴を剝奪して之を溝渠に投す官吏は其の靴を剝かるゝを以て極めて不名譽の事と爲す。是れ人民に取りては實に最後の控訴院とも稱すべしなり。蓋し官吏にして一たひ此の如き暴行に逢へば無能を名として贖責を爲し他處に轉任せしめ而して更に民意に逆ふの處置を強行するを求めざるを常とす。若し民の蒙る疾苦にして其の範圍汎く其の時期長きに亘り而して當局の吏僚頑強にして憐れめざるときは即ち地方一揆なるものゝ起るに至る。此の如きは歐米に在ては最終の匡救手段なれども東洋に在ては他に恰好の手段を缺くか

通ずるが如きことは到底望むべからず。此の如く民意疏通の路殆ど壅塞せられて之を上に通達すること能はざるを以て其の疾苦を匡救するの道は唯た之を都察院御史以下の官吏に待つの外なし。然も是れ亦其の員數に於て極めて少きのみならず業既に腐敗の氣圍氣中に在るものなれば固より以て多くを望むべからず。是に於てか人民は自ら進て法廷に代り是非の判斷を爲し以て其の疾苦を匡はむか爲め粗暴にして慘酷なる救濟手段を取るの已むを得ざるに至る。若し地方の小事件に關し上に對して平ならざることあれば事に當る官吏を途に要して駕を毀ひ其の穿つ所の靴を剝奪して之を溝渠に投す官吏は其の靴を剝かるゝを以て極めて不名譽の事と爲す。是れ人民に取りては實に最後の控訴院とも稱すべしなり。蓋し官吏にして一たひ此の如き暴行に逢へば無能を名として贖責を爲し他處に轉任せしめ而して更に民意に逆ふの處置を強行するを求めざるを常とす。若し民の蒙る疾苦にして其の範圍汎く其の時期長きに亘り而して當局の吏僚頑強にして憐れめざるときは即ち地方一揆なるものゝ起るに至る。此の如きは歐米に在ては最終の匡救手段なれども東洋に在ては他に恰好の手段を缺くか

故に動もすれば輒ち起る所の普通手段たるなり。是れ支那に於て叛逆の權利なるものか神聖のものとして事實上承認せらるゝ所以なり。此の故に支那は實に革命の産地と稱するも可なるものにして耶蘇紀元後四百二十年よりして千六百四十四年に至るまで殆ど二十回以上の革命を見る。若し夫れ叛逆なるものに至ては無慮數ふへからざるものあり。帝國の如何なる地方にも叛逆の跡絶無なるの時期は極めて稀なり。最近四十年間に於ても數多の大なる内亂あり。雲南貴州の如きは之か爲めに人口の稀少を來したるか如き以て其の一斑を知るへし。東部支那の西北部に於ては彼の回々教徒の擾亂殆ど絶ゆるの期なし。一時天下を聳動せる太平の亂以後に於ても山東陝西甘肅等に於て擾亂踵を接するか如きものあり。千八百六十五年の陝西甘肅及びカシガリヤに起りし反亂の如き。千八百九十六年甘肅に起りし反亂の如き皆頗る大なるものなりき。此の如き反亂を誘致するに至りし原因は固より重大なるもの存するや疑なしと雖も其の反亂中反徒の演出せる慘酷殘虐の行爲に至ては洵に嫌忌すべきものにして叛逆なる非常匡救手段の利弊を計較すれば其の治療に因て受くる害毒は病氣に因て

受くる害毒よりも寧ろ却て甚しきものありと斷言するに躊躇せず。然も**通般強烈的治療法の存するあるを以て地方官吏をして能く其の暴慢不道を慎ましむるに足るを見れば蓋し益々其の用なきにしもあらず。**

支那人民は其の民主的の權利を保持する爲め尙ほ他の手段を有せざるにあらず。彼の秘密結社の如き其の一なり。例へば三才會、白蓮會、哥老會の如き是れなり。是等は皆秘密結社にして元より政府の固く禁する所なり。而して是等の團體の中其の初期に於ては明に政治上の結社なりしも後漸く其の性質を變して無賴漢の集合となり下りしもの少からず。而して其の數に於ては少からずと雖も政治上に於ける勢力は極めて微弱なりと言はざるへからず。惟ふに支那人は歐羅巴に所謂「政治」なる思想は殆ど之を有することなきなり。唯た地方に苛政を行ふものあれば地方的の反抗手段例へば官吏を要撃し又は之を誹謗するか如き事を以て之に應ずるを知るのみ。又社會の意志を表明する爲め常に用ゐらるゝ所の普通方法は張札これなり。是れ「フック(Hook)」も既に言へる如く社會の輿論を喚起するに於て甚た勢力ある方法なり。

支那に於ける政府人民間の關係に付き注意すべきは人民が他に類例なきまでの自由を享有し政府が人民の生活に干渉すること極めて稀なるにあり。是れ世人の怪訝する所なれども實際上争ふべからざる事實なり。支那の人民は産業快樂信教等に就て完全なる自由を享有し法令の彼等を拘束する範圍は極めて狭小にして彼等は法令よりも寧ろ其の任意に組成せる各種の組合に由て拘束せらるゝ所却て多大なるものあるなり。即ち各職業に關し同業組合の如きものありて其の組合員の間に規則を設け以て其の秩序を保持し若し之を破るものあれば則ち之に向て或る種の刑罰を課するなり。凡ての實際的事項に關して支那人民は結社を成すの風あり。而して其の結社を成すよりして生ずる効果は洵に著きものあり。實に支那人の結社の氣風は熾盛なるものにして孤立なることは殆ど彼等の間に存することなきなり。フックも言へる如く支那に在ては何人も孤立することなく如何なる商店と雖も他と組合を結はざるものなし。是れ實に事業の擔保として著大なる效用を爲すものとす。蓋し組合に加はるものは相互に他を救助するを以てなり。

四四

支那人民の結社の氣風に富めることは其の結社の種類の雑多にして其の數の許多なるを見ても之を知るべく支那全土は幾ど各種の組合結社を以て充滿し而して其の結社は支那人民生活の重要なる部分を充す所の必要事項なりと言ふも過言にあらず。結社の種類の甚だ夥多なるや巧乞にも之を見盜賊にも亦之を見るに至る。

終りに支那の社會に關し抄譯すべきは著者の新聞紙に關する所説なりとす。抑も新聞紙なるものは其の源を泰西に發し現に其の多くは外國人の所有する所に於て又外國の機械を以て印刷せらるゝものなり。排外熱の熾なる支那人民も新聞紙に對しては好意を以て之を待ち頗る之を喜ぶの傾向あり。文明的設備にして支那人民の意に投せるもの蓋し新聞紙の如きは少し。支那に於ても亦極めて古き新聞紙を有せざるにあらず。北京に於て刊行する所の京報の如き是れなり。京報は世界に於ける最も古き新聞紙とも云ふべきものにして政府の命令を人民に告知せしむる爲めに存するものなり。故に政府に關する知識を得むとするには必ず之に依らざるべからず。然れども一般社會に關する事項を報道するを目

的とせる新聞紙は其の發刊蓋し極めて近代にありて外國と交通を開きたる結果之を見るに至りしなり。若し外國人の刺激なく將た外國の機械なくむは恐らくは一般社會的新聞紙は遂に之を見るの日なかりしならむ。木版を以て印刷するとは耶蘇紀元五百八十一年頃より既に行はれたる所なるも是れ固より新聞紙を印刷するに適せず。始め東印度會社が千八百十五年の頃支那に於て金屬製の活字を造りしか其の後火災の厄に逢ふて悉く烏有に歸したり。或は支那及び日本に於て金屬製の活字が夙くより行はれたり(紀元千四十年頃)との説あれども是れ單に貴人の玩弄物として存せるに止まり未だ一般人民の用を爲すには至らざりしなり。東印度會社に尋て英米の宣教師は耶蘇教を弘布するの目的を以て宗教に關する書籍を印刷する爲め金屬製の活字を造りたり。而して是よりして遂に日刊の新聞紙にまで之を用ゆるに至りしものなり。

支那に於ける新聞紙は決して何等の障礙なく發達したるものにあらず。寧ろ幾多の妨害に苦められつゝ漸次發達し來りたるものなり。督撫は各々其の統括する地方に於て強大なる權力を有するか故に苟も政府の行動に批評を試むるか如

き行爲あれば直に之を禁止すへし。故に新聞紙の如きものを發刊せむとせば勿論是等督撫の權力の及はざる地方に於てせざるへからず。是に於てか香港或は海峽殖民地の如き英領の殖民地若くは上海居留地等に於て新聞紙の發刊を見るに至れり。且つ其の多くは外國人を以て資本家と爲し居れり。

支那に於ける新聞紙の發刊は科試に應じて志を得ざりしもの又は既に登第して未だ仕官せざるもの、殊に喜ひ迎ふる所なり。恰も日本に於て封建制度の廢止と共に武士が其の職業を失ふや、~~激~~新聞紙に據て大に大日本の進運に貢獻する所ありしか如く支那に於ても讀書人は常に新聞紙に依て其の平生鬱勃の氣を吐くなり。支那に於ける一般的新聞紙の最も有力なるものは上海に於て發刊せる申報なり。申報は千八百七十年の創刊にして常に官吏の横暴專恣を摘發して毫も忌憚する所なきが爲め其の名大に顯はる。又義捐を奨励して能く慈善事業を扶く。今日多數の新聞紙中其の勢力嶄然として等儕を抜くは唯た申報を然りとす。香港に於ける中外日報も亦南清に於て侮るへからざる勢力あり。殊にオクスフォードの支那語講師たるドクトル、レグの主筆たりし時代は官吏の横暴及び

非行を攻撃すること毎大痛快を極めたりしを以て大に名聲を博したりき。教育ある青年社會に指導せらるゝ新聞紙は支那に於ける革新の氣運を促進し之をして大に旺ならしめたり。彼の革新を目的として千八百九十五年より同六年に亘る冬期に起りし保國會の如きに對しては北京に於て大に警戒する所ありしにも拘らず此等の促致せる革新の氣運は之を全滅すること能はざりき。縱令首府に於ては稍や鎮壓せられたるの形跡ありとするも然も革新を主義とせる黨派の領袖輩は其の牙管を上海に移し雜誌『時務報』の堡壘に據りて高く革新の旨義を叫び之を遠近に傳播することに力めたり。晩近に至るまでは毎旬一回の發刊を爲せるも其の進て日刊新聞となるは蓋し遠きにあらざるへし。嘗に在野青年の之を援くるのみならずして督撫以下の官吏に至るまで亦之を扶掖するもの尠からず。然れども其の之を爲す或は私心よりするもの固より多かるべきなり。此の時務報の外上海に於て支那字を以て發刊する新聞雜誌は其の數殆ど二十種の上にあリ。是より先日清戰役以前に在りては只四種を數ふるに過ぎざりしなり。革新的運動は上海を除て尙ほ四個の中心點を有す。澳門湖南四川及び廣西是れ

なり。

支那新聞紙の記載事項は地方の通信及び廣告等を除けば第一單に支那にのみ關する事項。第二國際事項及び戦争記事。第三外國新聞の翻譯。第四北京及び地方の新聞の拔萃の四種に分つことを得へし。全株よりして支那の新聞紙を見れば古來の政治上哲學上の金言と而して怪詭に曲寫せられたる現代事實の記事との奇異なる混合に依て成立するものと云ふを得へし。

支那新聞記者の最も得意とする所は其の支那に關する事項の批評にあり。此の支那事項の欄に於ては殆ど如何なる記事にも毎項必ず聖賢の教訓を援用するか然らざれば歴史の precedents (先例) を挿入するを常とす。讀者も亦記者と同じく古來聖賢の吐ける千古不磨の教訓を誦むし居るか故に記者か其の記事の中に點綴する所の格言を容易に了解することを得。

所謂文彩の陸離たるも亦此の欄にありて記者の最も力を效す所は其の絢爛たる文章を以て隱約の間に先哲の言行を引用して記事を補綴するにあり。此の欄には又官吏の行動に對する批評を收む。是れ實は官吏の甚だ憚はざる所なれども

然も之か批評の標的となるものは獨り自家のみに止まらず其の同僚も一樣に痛捧を喫はしめらるゝものなれば他の非行の指摘せらるゝを喜ぶの情よりして却て之を咎むることを敢てせざるなり。

國際問題及び戰爭に關する記事は極めて幼稚にして殊に戰爭に就ては殆ど之に向て眞實の記事を求むること難きか如し。彼の清佛戰爭の際にも又近時に於ける日清戰役に際しても支那の新聞に依ては毫も眞相を窺ふこと能はず。徒らに自國の強を街ひて敗戦は決して之を報道せざるのみならず甚しきに至ては事實の無き戰勝を捏造して之を江湖に報ずるに至れり。國際問題に就ては支那の記者は常に外國新聞の意見を採用するなり。即ち禁制品封鎖中立義務等の問題に至ては一として外國新聞の所説に藉らざるは莫し。又事の外國に關するものに至ては其の大なる誤謬の極めて多きと眞に噴飯に堪へざるものあり。申報其他の二三を除ては編輯局に外國人一人もなきが故に全く支那人の眼光を以て泰西の事物を判断し以て彼の笑ふべき云爲を演出するに至るなり。故に支那の大官にして外國の事情を知らむと欲するものは内地の新聞に由らすして直接に

英國の新聞より翻譯せしむるもの少からず。

然れども概括して之を言へば支那内地の新聞紙も漸次多少の進歩を爲しつゝあるものなり。而して若し能く成效せば新聞事業なるものゝ極めて有利なること今日に於ては支那人一般に知悉せられたるを以て今後資本を新聞事業に投して之か改良を扶くるものゝ輩出すべきは疑を容れず。今日直ちに内地新聞紙の進歩の及ぶ所を豫言するは少しく早計に失するの嫌あるも然も長く舊慣を株守せる人民の保守的氣風を打破し之をして能く自ら覺醒せしむるの日あらむことは必ずしも期し難きにあらざるべし。而して此の如き人民か一朝遣般の覺醒を爲すとせば其の結果たる蓋し今日より逆睹すべからざるものあり。

第四章 支那の外交

遠き羅馬時代に在て既にトレミー、プリニーの如きは支那に關して説く所ありき。而して是等二學者の所説は今日の支那にも尙ほ能く適應するものなることはエール氏の言の如し。支那人か往時誠實を以て人に知られたることは現今に於け

る支那人に關する風評と殆ど全く相容れざるか如しと雖もユール氏は當時に在ては充分の根據ある事にして今日に於ても他の亞細亞人民の間には尙此風の存せるとを説きたり。支那古昔の著書を見るに屢大秦國との貿易上の交通に關するを説けるあり。所謂大秦國とは蓋し羅馬帝國を指すものならむ。當時支那及印度の殷富は能く西人を促して貿易上の冒險を敢てせしめ而して此貿易の漸次發達するや遂にキリストリアン派の宣教師をして奮て是等萬里の異域に侵入するに至らしめたり。但其後に於けるキリストリアン派の消息は絶へて歴史の上に現はれざるも紀元千六百二十五年西安府に於て發見せられたる碑七百八十一年に建てしものは明に支那に於て耶蘇教の弘布せられたることを證するものなり。

抄譯者曰く。天主教(耶蘇舊教にして景教と稱せらる)は唐の太宗の時貞觀九年即ち耶蘇紀元六百三十五年始めて支那に入れり。當時波斯には既に天主教の「キリストリアン」派行はれたりしか此の時に及び其の僧阿羅本支那に來れり。太宗命して兩京諸州に波斯寺を置く。玄宗も亦天主教を保護せり。尋て波斯寺を改めて大秦寺と稱す。德宗の時大秦寺の僧景淨等相圖りて大秦景教流行中

國碑を立てたり。時に七百八十一年なり。其の後天主教衰頹し碑も亦地中に埋没するに至りしか明の天啓五年(千六百二十五年)之を發見せりと謂ふ。尙ほ支那に於ける天主教に付ては外交時報第三十號有賀宮本兩君の筆に成れる記事を參照せらるべきなり。

第九世紀の頃亞刺比亞人の支那に赴けるあり。又支那よりも僧侶の印度に赴けるあり。其の他西利亞、希臘、波斯等に關する記錄の尙ほ存するものあり。露西亞人アレクシナイデルは亞刺比亞人の支那に往復せることは唐宋時代まで連續して渝らざりしことを説けり。第十三世紀に至りフランシスカン派の僧侶が一たび支那に布教するや極東に於ける此の大帝國に關する新奇なる智識は忽ち西歐に向て傳達せられたり。當時フランシスカン派の一僧侶は北京に於てアーチヒシツプとなり由て以て大に羅馬舊教の弘布を見るに至れり。第十四世紀の初葉に至ては既に歐羅巴の商人の極東に赴くもの少からず。然るに蒙古朝廷の漸く衰頹せる頃即ち十四世紀の中葉以後に至ては宣教師も商人も殆ど其の影を支那に留めざるに至れり。彼のベネチヤ人のニコローデ、コンチが印度を経て支那に

赴き二十五年の後漸く歸國せし旅行は殆ど稀有の事例なり。マルコポーロの旅
行は人の知悉する所にして千二百七十四年に於て元の皇帝に謁見し東洋に返る
こと二十一年にして千二百九十五年ベチチヤに歸れり。

紀元千六百四十四年滿州人支那を征服して現今の大清朝を建てたり。而して未
だ其の領有の遼東以南に及はざる千六百二十七年に於て既に號令を發し支那の
男子をして悉く辮髮の俗に従はしめ違ふものは斬に處することを嚴命したり。
而して現今歐米人は一般に支那人の排外思想を以て其の固有の性質に出で古來
傳承し來りしものとなせども此の感情を鼓吹せしも蓋し亦滿州人なり。滿州人
は僅少の數を以て大國を制御し永く之を其の治下に置かむとするよりして能ふ
丈け外國との交通を遮斷し外來の勢力を杜絶するに力めたるの結果遂に支那人
をして今日の如き強烈なる排外感情を有するに至らしめたり。フックは曰く滿朝
勢力の確立は全く此の鎖國政策に因る然も其の没落も亦恐くは之れに是れ由ら
ざるへからずと。蓋し名言と謂ふべし。

露清の關係に就て著者の説く所下の如し。曰く露人の始めて北京に至れるは千
五百六十七年に於ける二人の哥薩克人及び其の後凡そ五十年にして北京に至れ
る他の露人を以て嚆矢となす。然も是等數人の往來は何等の結果をも齎らざり
りき。千六百四十三年滿州人か支那征服の爲め尙ほ兵馬を擁せるの際に於て黒
龍江流域北方の露國殖民地指揮官始めて探險的遠征を試み。千六百四十九年チ
ヤパロフ支那に侵入せり。千六百五十三年露帝アレキシスは使節を支那朝廷に
送りしも叩頭の禮を肯せざりしかは遂に延見せられずして了れり。千六百五十
五年スチパノフも亦支那侵入を試みたりしも露軍は其後滿清軍隊の爲めに撃退
せられたり。千六百五十八年同七十二年同七十七年の交に於て通商を目的とせ
る三個の隊商北京に至れり。之と殆ど同時に黒龍江沿岸殖民地に於て露清の兵
士間に紛争起り爾後殆ど常に絶ゆることなきに至れり。而して露國の黒龍江掩
有を目的とせる抗敵行爲は此頃よりして常に屢行はれ遂に破裂して干戈相見る
五年の後千六百八十九年支那はネルチンスク條約に由て露國と和を結び兼ねて
兩國の境界を確定せり。其の約定に由れば黒龍江の全流域は全く支那帝の所屬
となりて露國は單に額爾古納河の一部の沿岸のみを保有したり。千六百

九十二年露帝は使節としてニヘルハルド、イスラフランド、イアスを北京に遣し千七百十九年ピーター大帝は通商に關する協商の爲めイスマイロフを滿州朝廷に遣れり。千七百二十七年境界を改め東方の限界は舊に依り額爾古納河以西に於て訂正する所ありたり。此の條約は第十九世紀の中葉まで毫も變更する所なかりき。此の歳露人は北京に於て教會及び學校を設立するの許可を得遂に今日まで引續きて此の種の設營を見るに至れり。尙ほ此の歳條約に由て隊商の三年毎に北京に行くを許されたるも之に由て利する所多からざるか故に漸く隊商の衰退を來せり。千八百五十八年に於てはムラヒーフか黒龍江に於ける曠大なる領地を支那より得るあり。又千八百六十年に於てはイクナチーフか英佛連合軍の北京に迫りて支那の窘處せるに乘し巧に其の間に處して樽俎の間力を費さずして黒龍江河口よりして朝鮮の國境に至る滿州の全海岸を得るあり。遂に以て今日の如き露國所領の大を成すに至れり。上に續述せる所に由て之を觀るも露國の亞細亞に於ける陸地の膨脹は既に往昔より行はれたる所なるも殊に最近四五十年間に於て頗る急速なる發達を爲したるものなるを知るに足るへし。

抑も露國の志望たるや歐羅巴に於ては東羅馬帝國の舊都たるコンスタンチノールの主人たり亞細亞に於てはゲンギスカン及びタメルラン等の大征服者の繼續者たるを以て自任するものなり。全國の資源は悉く上一人の手に收めて以てピーター大帝以來の政策を遵守し着々之か實行に銳意せり。露國の膨脹政策に就て忘るへからざる特色は他なし其の地を取り民を従ふるや則ち悉く之を己れに類化せしめて一眸と爲さむとするにあり。所謂スタニツァス(Stanitzas)の手段に依る土地の膨脹の長所として最も強き點は即ち是に存す。スタニツァスとは魯國風の殖民是れなり。

著者は次に清佛間の交通に就て述て曰く古昔東西に於ける異りたる二種の思想を觸接するに付き媒介者の任に當りしものは佛國の宣教師なり。千二百八十九年フィリップ王の時佛國は既に波斯及び支那よりしてサラセン人に對する連合を勸告するの書に接したり。後千六百七十八年路易十四世の書を支那帝に贈るあり尋て千八百四十四年ラクルチーを首として數人の使節を北京に遣せり。千八百五十八年の清佛條約は千八百六十年北京調印の約定に由て補修せられたるか

此の約定に關して遂に清佛間の争議を惹起するに至れり。後千八百六十五年に至り漸く協議の成立するありしも其の正式の批准を経たるは降て千八百九十四年にあり。其の後千八百八十五年同八十七年及び九十五年に於て約定を締結せるか最後の二約定は南清に關する重要條款を含みしものなり。佛國か支那に對して政策を行ふに至りし端緒は蓋し千八百六十七年ゾーダラクレーの遠征にありとす。此の時に於て佛國は始めて東京を掩有して而して南清を窺ふことの甚だ難からざるを覺りしなり。

次に著者は獨清の關係に付き説く所あり。曰く獨逸人の始めて支那に使節を出せしは千八百六十一年にしてオイレンヘルク伯其の筆頭たり。此の年及び千八百八十年に於て一の條約を締結するありしも要するに膠州灣の占領までは獨逸の對清政策として見るべきもの幾と無しと云ふも可なり。

著者は更に一步を進め英清間の關係を説きて愈述其の詳を極めたり。曰く英國か支那に對する交通を開けるは他の海上國に比して稍や後れたるも其の發達著くして遂に他を凌駕するに至りしなり。

英國の印度聯合以前に於ける支那の英國貿易の歴史は之を東印度會社通商の歴史と言ふも可なり。東印度會社は千六百十三年に於て日本に出張店を設け而して後二年にして臺灣及び廈門にも代理店を設置せり。千六百二十七年に至ては澳門を經由して廣東と通商の道を開かむことを計畫せるか既に七十年前に於て其の地に根據を占めたる葡萄牙人の之に反對せるか爲め遂に功を奏せずして了れり。始めて英人か廣東の貿易に關係するの名義を取得せるは千六百二十五年にありしか其の進歩頗る遅々として殆ど見るべきものなかりしをクロンウエルか葡萄牙と條約を締結して東印度全牀に於ける英人の往來の自由を承諾せしめしより以來漸く發達の途に上れり。千六百六十四年明朝亡ひて現在の大清之に代るに及び新朝廷の特色として貿易に對する輕侮と外國人に對する嫌惡の情とが極めて著しく表はれ來るや廈門に於ける東印度會社の出張店は遂に破壊の厄に逢へり。然も後に至り清朝の權力を認めて之に服従するの條件に由りて再び澳門に出張店を設け後舟山島にも之を設置するに至れり。爾來千七百七十一年に至るまで支那の外國貿易を掌る官衙等に多少の變革なきにあらざりしか概し

て言へば當時東印度會社は大なる屈辱を忍び支那官吏の收賄の風に苦みながら商業の發達を企圖せり。千七百七十一年始めて冬期間外人の廣東に居住することを許されたり。當時通商てふことは支那人の大に卑む所にして外國人は一に利を是れ追ふに急なるの輩と傲し唯た短時期の間廣東の郊外に於てのみ居住を許し其の城内に入り又は内地に旅行することは之を許さざりき。然れども其の後支那人は漸く外國人の侮り難きを覺るに至れり。千七百四十一年に於てセントール號と稱する英國の軍艦支那海に現はれ遂に廣東の普撫等をして強ひて之を迎ふるの已むを得ざるに至らしめ後又五十年にして二隻の英艦廣東に至れり。千八百十六年に至り英船アルセスト號亦廣東に至りしか支那の砲臺より突然砲撃せるに應じて砲火を交へたれども支那人は後に至りて毫も此の舉を咎責する所なかりき。

ジョージ三世の時代に派遣せられたる使節は貴重なる贈與品を齎し儀裝を壯にして北京に赴きしか其の結果は一の見るべきものなし。千七百九十二年のマカルトニー卿及び千八百十五年のアムヘルスト卿等の使節も支那に於ては一の朝

貢使として取扱はれ支那よりの大なる恩典として英國は其の名を朝貢國の中に列することを認められたり。此の操制は極めて近時に至るまで存在して毫も改むる所なかりしか當時は謁見の場合の如きも純然たる屬國の使節として其の朝貢使延見の爲めに建てられたる宮殿に於て之を行ひたり。然るに最近普魯西のハインリヒ親王に賜へる謁見に於ては全然其の面目を一新したり。是れ實に一

大變革と謂はざるべからず。其の後英國の軍艦は數次支那に至りしのみならず曾て佛國の攻撃に對して澳門を保護する等の事ありしより漸次海上の勢力を占むるに至り支那人も亦稍や英國を重視するに至ると同時に英人も亦政治上及び司法上の權力を全然支那人の手に委ぬることを拒むに至れり。英人か支那の政治上司法上の權力の下に服従することは實際上に於ては兎も角表面上に於て正式を廢て承認することは未だ爲さざりしか是に至り却て正式に之を峻拒するに至れり。是よりして一般外國人も亦支那人の權力の下に立つを欲せざるに至り爾來外人にして支那官吏の處分を受くるか爲め其の手に引渡さるゝもの全然跡を絶つに至れり。

千八百三十一年廣東巡撫の請求に依り商業を監督する爲め英國より官吏を派遣するに至りナピエル卿他の二人の使節と共に遣はさるゝに至れり。當時パーマーストーンかナピエルに訓令せる所を見るに支那に於ける英國の貿易を保護し能ふべくむは支那の他港にまで其の貿易を擴張し支那政府を促して英國と通商上の關係を有せしめ而して竟には北京朝廷と直接に外交上の交通を爲すを得るの道を求め又海難を防ぐ爲め支那の海岸を測量し且つ若し支那海に於て戦争の起りし時英國艦船の安全を保つに必要な地點を求むべきとを以てしたり。而して是等の使節は又一方に於て英國人に關する刑事及海事裁判を管轄すべきことを命せられたり。是に於てか治外裁判權なるもの確立するに至れり。是等の結果として千八百四十一年の支那戦争は實に己むを得ざるに至れり。當時ナピエル卿と共に使節たりし二人者は東印度會社の雇員たるの故を以て甚た支那人の尊敬を博するに足らざるのみならず英國政府の政策頗る軟弱なりしか爲めナピエルの使節は遂に其の目的を貫き得ずして止めり。是に於てかサー、ヴィスは千八百三十四年建策して曰く更に再び小艦隊を率ひて使節を支那に遣り書を支那

帝に上りて談判を試み若し善く功を收むる能はずむは強力を以て之に臨むべしと。當時英國政府は之を嘉納し兵力を擁せる使節を派して支那帝より救済を要求し以て通商上の問題に付き約定する所あらしむべしと聲言せり。然るに又漸くにして支那の海岸に於て殖民地として島嶼を得るの必要を感じたるより舟山寧波或は臺灣を取るべしと論ずるものあるに至れり。然るに阿片輸入の紛議其の源となりて英清間の關係此の時益々危急に迫り千八百三十九年の末に至り遂に破裂して干戈相見るに至れり。此の結果千八百四十一年に至り香港は全く英國に讓與せられたり。此の條約は始め北京中央政府の拒む所となりしか後南京條約にて全く確認せられたり。尙ほ此の條約に由て廣東、廈門、福州、寧波、上海の五港は英國貿易の爲め開放せらる。而して香港は千八百四十三年に至り英國殖民地に編制せられたり。

所謂鴉片戦争なるものは實に百五十有餘年の久しき支那の爲めに被りたる不法を防遏するか爲めに起りしものにして當時鴉片か清國の勅令に由て禁制品として取扱はれたることに付ては英國は毫も抗議する所なかりしなり。只其の命令

に於て英國王を臣隸視したるのみならず英國臣民も亦支那人の殘暴なる行爲に因て苦めらるゝこと甚しかりし爲め遂に事を干戈に訴ふるの已むなきに至りしなり。

此の如くにして鴉片戦争は一たひ其の局を結ひしか千八百五十六年に至り又も開戦を見るに至れり。蓋し英國の國旗を掲けたるアルロ、號か支那人に拿捕せられたるに因る。而して英兵の進て廣東を零するに及ひエルギン卿は大使として支那に派遣せられ千八百五十八年の天津條約成りて和局を見るに至れり。然るに其の翌年英國の大使か此の條約の批准を得むか爲め北京に至るの途次支那兵の爲めに道を遮られて再び劍火を散らすの不幸を見しか千八百六十年英佛連合軍の太沽を零奪し兵を進めて北京に露營を張るに及ひ漸く北京約定(此約定にて天津條約を批准せり)に調印せられたり。此の天津條約及び北京約定は現時に於ける英清關係の基礎を成すものなり。此の條約に由て前掲五港の外に尙ほ英國貿易の爲め數港を開放せしめ又英國の使節か永久北京に居住することを認めしめ香港對岸の九龍亦英國に屬するに至れり。千八百七十六年英人に對する虐

殺に關しては談判の結果芝罘條約の締結を見るに至れり。又千八百九十六年一月十五日の暹羅約定は西南支那に於ける英佛の關係に重大なる結果を及ぼせるものなり。日清戦役の終局に於て締結せられたる下關係約及び遼東の約定等の結果に至ては今茲に擧ぐるの必要を見ず。

以上は著者が『涉外關係』と題せる一章に於て説述せる所なり。更に『外交上の交通』なる一章に於て近時の外交に關し説く所あり。今其の概要を抄譯せむ。

千八百四十二年南京條約締結の後英國は全權公使を任命したれども是れ實は香港太守の兼攝にして實際に於て外交機關は千八百六十年北京約定の締結までは未だ備はらざりしなり。千八百五十六年より同六十年に亘る戦争は支那中央政府との外交上の關係を確定するの目的を以て開かれたるものと言ふも不可なし。當時に至るまでは彼の南京條約に由て開放せられたる五港の外に在ては殆ど相交渉する所なかりしなり。而して是等五港の中廣東を除く他の四港は領事其人を得て通商の發達を促せるか最も重要なる廣東に於ては却て領事其の任にあらざりし爲め常に軟弱の態度を取り支那官吏の輕侮を招き迺て英國人の不利を

來せること殊に多かりき。總督及び巡撫の府たる都府に居住することすら許容されざりし爲め英國人の虐殺さるゝあるも當局に向て之か救済を要むることを得ず。其の他種々なる凌辱を蒙りて而も如何ともすへからざるに至れり。蓋し外國人の態度益々柔順なれば從て愈々之を土芥視するは支那人の常情なるを以て若し此の如き情狀久しきに亘れば勢ひ遂に破裂の不幸を見すむは已まざるべし。果然彼のアルロー號拿捕の案件に導かれて平和關係の破裂を來せり。

當時新に廣東に領事たりしパークス(後のサー、ハーラー、パークスは議見極めて遺憾にして意志亦頗る強硬なりしか支那人は新領事を待つに猶ほ前任領事を遇せると同一筆法を以てせむとせり。英國のアドミラルか談判の衝に當るに及び彼は先づ都府に入て官吏と協商する條約上の權利のみを請求せるか此の請求も亦輕侮を以て迎へらるゝに及びサー、ミケール、シーモール強て巡撫の府に進入せしかは忽ち戰端を開くに至り斯くて遂に北京城下の盟を爲さしむるに至りしなり。見るべし戰爭の主要なる目的は英國の官吏及び臣民か廣東に於て久しく忍びたる苦痛の救済を得む爲め北京との直接交通を開かむとするに在て存することを。

固より商業の擴張を期圖することは英國政治家の片時も忘るゝ所にあらざるは此の時に於ける締和條約に就て見るも知らるべし。

此の如く外交關係を確立するは實に支那に於ける英國將來の利害に深密なる關係を有するものなりとす。而も這般外交關係の確立は頗る容易ならず。何となれば是れ支那人に取りては舊來の地位を根本より變更するものにして容易に許與するを肯せざるへく英國の使節は必ず北京の朝廷に直接するを期したればなり。支那人は一時天津條約に由て大に讓歩する所ありしか如しと雖も是れ實は英國大使の中央政府に直接するを妨ぐるの時機を得むとする一の詭計に外ならざりしなり。英國公使が太沽砲臺の前に於て突然砲撃を受けたるが如き以て其の然るを知るべし。然れども千八百五十年英佛連合軍か力を協せて清軍を擊攘し進て北京に入り咸豐帝の逃れて難を熱河に避くるに及び遂に英國使節を中央政府に延見するを認めざるを得ざるに至れり。事是に至りては既に武力を以てして使節を拒む能はざるより更に他の手段を以て之を試みむとし便ち種々の詐謀奸計行はるゝに至る。二十年間に於ける經驗の示す所に依れば支那人は強硬

的態度を以て之に臨めば則ち親しみ易くして能く道理を解するも若し之に臨むに柔軟の態度を以てせむか則ち傲慢無禮殆ど手を下し難きに至るへし。廣東に於ける多年の經驗に依て得たる這個の教訓は局に當る者能く之を服膺して更に北京の新舞臺に立つに至ても決して等閑に附し去るへからざるなり。然るを北京に公使たる者稍もすれば之を是れ忘れて忽ち柔軟の政策を取るに至ること恰も一種不可思議の奇術に依て支那人の性質を全然變化し得たりと信するものゝ如し。此の根本的誤謬こそ實に支那帝國をして分割の悲運に瀕せしめ兼て支那に於ける英國の利益を危殆の窮地に陥らしめたるものと言はざるへからず。固より軟弱政策は之を獨り英使にのみ望むへからざるも數年前に至るまで北京の外交界に在て牛耳を取りしものは即ち英の公使に外ならざれば從て英國公使の責最も重しと言はざるへからざるなり。一たび支那人に對して軟弱政策を用ゆれば彼は已に十二分の自負心を有するを以て益々他を輕侮するに至り其の極殆ど之と道理を以て談判するの無益なるに至らむ。勿論中央政府の官吏は彼の地方官吏の如く爾かく過激にして露骨なる語を用ゐることなきのみならず寧ろ總

理衙門の官吏か禮に過ぐることは外國使臣を驚かすに足るものありと雖も而もその道理を以て律すへからざるに至ては即ち一なり。當時北京に公使たりしは果して誰ぞ。實にサーフレデリックブルース其の人なりとす。固より之か補佐たるへき吏僚も亦其の人を得さりしに由るへしと雖もブルースたるもの豈下僚の故を以て其の責を免るゝを得んや。

此の經驗より得たる教訓即ち支那人に臨むに強硬を以てすへきことはこれを行へば實に外國人に利なるのみならず支那政府自身に取りても亦極めて利益あることと思惟す。此の如き政策は又單に吾人の直接の目的を達するのみならず支那官吏の友誼を保つ所以の道なりとす。蓋し千八百六十年戦後の状態の如きは洵に支那政府を利導するに絶好の機會なりしなり。當時の政府は戦敗の餘を承け皇帝は逃れて遠く熱河に在り。局に外交に當る者は翼々として外國の勢力に震慄せり。此の時に當て事を行ふ夫れ何事か成らざらむ。然るに其の後二年ならずして早や既に北京朝廷は再び舊態を露出するに至れり。レイ氏(Lay)の言に據れば二星霜の後支那官吏の外人に對する態度は再び舊時の如く傲慢となりし

のみならず鎖國の語を提唱し將た公々然として條約を輕侮するの言を作して憚らざるを見るに至れり。要するに英國か千八百五十八年の條約に由て贏ち得たる良好の地歩は殆ど全く之を喪ひ再び戰爭以前の舊地歩に逆轉せり。即ち抗議を試むるも以て何等の効果を收むること能はず強力を示すも以て何等の反響をも得ざるの否境に陥れり。即ち多年の苦心經營に依て辛く得たる所のものを唯た其の處置の宜きを得ざりし爲め轉瞬の間に喪失するに至れるなり。

千八百六十年の戰爭以後に在ては曾て彼の天津條約締結以後に於て演ぜられたるか如き失計即ち使節を北京に置かざるか如き粗漫の舉措に出ることとはこれなかりき。一時は代理公使を置きしか千八百六十一年に至りエルキン伯の弟サー、ロバート、ブルースを公使として北京に駐在せしむるに至れり。支那の朝廷に於ては外國使臣を朝貢使として接受したるの例はあるも此の如きは蓋し全く新事例に屬す。然れども當時朝廷に於ても其の必要を感知するに至りしかは千八百六十一年の正月始めて彼の總理衙門(我が外務省に該る)を設くるに至れり。蓋し其の始めは臨時の設備たるに過ぎざりしなり。而して其の員に掌印大臣の位に

備はりしは道光帝の皇子恭親王なりとす。而して其の下にも亦事理を解する一二の大臣ありて總理衙門は一時大に望を屬せしめしか幾もなくして復た他の官衙と毫も擇ふなきの陋態に陥りて徒らに事務を停滯せしむる爲めの設備たるか如き觀を呈するに至れり。總理衙門の大臣の定員初めは三人なりしか後七人となし更に九人に更めたるも其の統括すべき實力上の首長を缺けるは組織上の大缺點と謂はざるべからず。單に名義上の首長たるものなきにあらざるも唯た徒らに自己の責を免るゝを是れ務めんとする状態なり。總理衙門に對する談判の極めて艱澁なることは嘗てサー、アルコックか隔週評論(Hortnightly Review)に於て説けるものあり。中に言ふ曰く

總理衙門の大臣等に向て條約上の權利義務を説き又は正義の要求する所を述べ若くは進歩的政策に依るの管に英人に利なるのみならず兼て支那人をも利益すること大なるを説くか如きは恰も鞭を揚げて虚空を打つと一般何等の效あることなし。深く彼等の真相を解せずして卒然會談を試むるものは大臣等の禮節に恭くして忍耐に強きを見て先づ之を喜び。尋て彼等か對手の所説を

了解せるか如き舉措を示すを見て益々之を喜ぶの情を禁する能はざるへし。然れども之を數々して既に談判事項の説明を悉くし然る後何等か緊要の決定を爲さむとするに至りては誰人とも雖も遽然として前きの喜を變し忿然として怒を發せざるを得ざるへし。何となれば此の際業既に悉く説明を了りたるを以て彼等に向て決定條款を定めむことを提議すれば彼等は毫も顔色を動かさず平然として其の要する所の何ものなるかを説明せむことを求むへければなり。是れ豈數回の談判を重ねて費したる縷々萬言の説明か全く畫餅に歸し去るものにあらすや。乃ち更に總ての議論を新に再ひせざるへからざるなり。誰か呆然として自失せざるものあらむや。此の如き敵手に對しては如何に巧妙なる外交術と雖も以て能く目的を達すへきにあらざるなり。

此の如く總理衙門なるものは主動的に自ら事を擧ぐる能はざるのみならず他の提言を了解するの能力すら幾ど之を缺けるものなり。彼等の泰西思想に對するは猶ほ盲者の色彩に對し聾者の音聲に對するか如し。蓋し支那人の思想を以てして泰西思想の眞趣を悟得し得ざるは寧ろ恕すへきの點なきにあらざるも總理

衙門の大臣にして事を辨せざる彼か如きに至ては洵に頑愚の極と言はざるへからず。思ふに是れ唯た彼等の頑愚に因るのみならず其の個人としての責任を恐るゝの情頗る深きに基くものなるへし。若し此の如き總理衙門の眞相を疾くし了解し居たらむには外國公使に於ても徒に情を激し憤を發する如き事なかりしなるへく各國政府殊に英國政府に於ても極東政策の上に彼か如き失態を演出するを免れしなるへし。

且つや支那外交の初期に際して其の發達を妨礙するの事情存せざるにあらざり。其の一は英佛連合軍進入の爲め千八百六十年に於て皇帝難を避けて都を遁れ翌年に至るも尙ほ駕を旋らすことなく遂に其の秋に至て熱河に崩御したること是れなり。當時支那政府は帝王外に在るを以て其の態度極めて軟弱なりき。此の事情は一方に於て支那政府をして能く外國公使の言を聽かしめたると同時に他方に於ては外國公使をして支那政府に對し忍ぶへからざるを忍はしめたる所以のものなり。是れ實は却て後來の交渉に少からざる害毒を貽す原因となりしものなり。其の後二人の太后を攝政とせる幼冲なる帝王代り立つに及ても此の事

情は毫も變更することなかりき。皇帝の幼冲なる間は國際關係は總て一時的の性質を有するか如き觀を呈せり。千八百七十三年に至り各國公使は始めて同治帝に謁見することを得たるか此の謁見は徒らに儀式に流れて毫も外交關係の實際に影響を及ぼすことなく心私かに此の機を利用して從來の外交關係を改善せむと期待せる各公使の希望をして空しく水泡に屬せしめたり。當時外國公使と折衝の局に當る總理衙門は審せる老者と愚なる壯者の集合に過ぎさりしなり。北京に於ける外交の進歩を妨けたる事情は單に上述の如きに止まらずして彼の太平の擾亂の如きも亦此の點に影響せる所極めて多かりしなり。太平の擾亂は其の始めは一小事變に過ぎさりしか漸次其の氣勢を高めて遂には最も殷富にして人口饒き諸省を劫掠するに至り中央政府も爲めに震駭し其の運命或は之か爲めに盛まるなきかを危ましめたり。此の如き事變に際したるを以て外國使臣は爲すべきの要求をも爲さずして却て支那政府を助けて擾亂の鎮壓に従事せざるを得さりき。不品行なる病人は其の品行を悔めしむる前先つ其の病を治せさるへからさりしか其の病の意外に長かりし爲め遂に其の品行を改悛せしむるの機

會は來らさりしなり。

英國政府は一時頗る識見に富み且つ強硬なる政策を取り在北京の外交官亦大に其の技倆を揮ひ英國の勢力北京朝廷に加はるの形勢を呈せるとなきにあらず。千八百五十六年廣東に於ける凌辱の爲めに大に強硬の處置を取り而してゴールドン將軍の太平の擾亂を平定したる以後數年間英國政府は支那及び日本に於て大膽にして然も慎重なる態度を以て英國の利益の爲め文明界の幸福の爲め而して又支那帝國の平和の爲め着々適宜の政策を斷行したるか如き即ち是なりとす。蓋し支那の當時の擾亂はパーマーントン卿之を鎮壓したりと言ふも可なり。何となれば英國の出征軍人等は卿が充分の助力を爲すべきに倚信して顧慮する所なく果斷の措置を取るを得たればなり。擾亂鎮定の結果として世界貿易の爲めに揚子江を開放し海賊其の他の非違を嚴重に禁遏して千八百六十一年の頃尙ほ未だ空漠物なきこと北氷洋の如く滿目荒涼たる一帶の大水域をして倏ち帆檣林立の盛況を呈するに至らしめたり。此の強硬政策は支那に在る外人の商業家となく宣教師となく併しく以て便としたる所なり。嘗に外人のみならず支那人

も亦爲めに利する所趣からさりしなり。此の政策に對しては或は一種の黨派的感情に因り或はコフデン、フライトの如く黨派に關係なき有数の人の信條に因り多少の攻撃を被りしと雖もバーマーストーンの具さに事情を悉くしたる辯明に依て反對の勢を殺くことを得たり。(抄譯者曰くコフデン、フライトの二氏かバーマーストーンに反對したるは蓋し支那貿易を以て利益多からすと爲し之を措て他の平和なる地方に向て商業の發達を企圖するの勝れるに如かすと思惟せるか爲めなりしなり。)千八百六十五年バーマーストーン卿の逝くや卿に襲て外交の局に當りしはクラレンドン卿なり。卿は經驗に富みて文才あり加ふるに其の主義亦極めて堅固なる人なりしと雖も然もバーマーストーンの死去と共に英國在來の對清政策の精神は全く湮滅に歸し了りぬ。後幾もなくして湧起せるフルリッゲームの使命に關する事件は蓋し之を證して餘りあり。

千八百六十七年末北京駐劄の米國公使アンソンプルリッゲーム其の職を辭して支那の特派使節となり二人の支那官吏と共に歐米を巡回して列國政府に對し支那の決して威迫すへからずして放任すへきを説き若し之を其の爲す所に任せは

決して凡ての措置を誤ることなかるへしとのことを承認せしめむとせり。彼は又英諸國民の通商及び宣教に對して充分なる約束を提供したり。彼は久しからずして支那全土の丘陵溪谷に至るまで光明赫灼たる十字架の樹立せらるゝを見むと公言せり。然るにフルリッゲームか此の如く巡回しつゝある際に於て一方には支那の各地に宣教師及び商人屠殺の事あり。當該各領事は之に對し一たひ武を示して後強硬なる手段を用ゐる適當なる善後處分を爲したるにクラレンドン卿は頗るフルリッゲームを信してその言を嘉納したりしかば此の際領事等に對して却て譴責を加ふるの舉に出たり。是れ豈バーマーストーン傳來の主義か全く拋棄せられたるの證にあらずや。是れより後英國は再び故の軟弱にして變動常なき政策を事とするに至れり。亞細亞に於ける英國の威信を失墜せるもの一に此の如き政策に在りと謂はざるへからず。思ふに當時フルリッゲームの齎せる眞個の使命の果して那邊にありしや頗る明ならざるものあり。

千八百六十九年に於ける英政府の對清政策の變化は外國人の意表に出たり。當時政府が在清の公使領事に下したる訓令を見れば以て如何に政府が東亞の事

に暗昧にして事情に通せざるかを知らに餘りありと謂ふべし。

七八

上來述ふる所に由て之を觀るも北京に於ける外交は決して圓滑に行はれたることなく相互に利害を交換せむとするか如き念慮の毫も存せざりしことを知るべし。蓋し支那大臣の頭腦には外人と利益の交換をなすといふ如き思慮の存するなく外人に對するに公正の道を以てせむとするか如きことには些も念及せず又外人よりして公正の道を以て遇せられむことをも望み難しと信せり。此の故に支那人の佛國人に對する態度は常に恐怖の念を以て節和せられたる抵抗に過ぎざりしなり。千八百九十一年の謁見問題決定に至るまでの間二三の例外を除きては在北京の外國公使は多く共同の行動を爲せり。若し能く此の態度を保ちしならば外國使臣等の意志は此に北京政府に聽かれしならむに此の如き一致は之を永く維持すること能はざりしなり。固より各個利害の相扞格するに因ると雖も然も彼等の執る所の政策か毫も合致せずして毎次相背馳したりしかば支那人は奇貨置くべしと爲し互に相争はしめてその間に漁夫の利を收めむと圖れり。諸外國政府の政策は始めは唯た一毫の差なりしも遂に千里の差を來せり。支那

の大臣等は外國殊に英國との談判に際しては其雇使する所の總稅務司の意見を徴するを常とせり。而して之を爲すに就てもエルキン卿の既に指摘せるか如き正理に對して服従することを吝み唯た恐怖の爲めには何事と雖も殆ど忍はざる所なき支那人の性質を露出して歴々視るべきものあり。即ち一問題の切迫し來るや支那大臣は總稅務司に向て若し之を聽かされは外國政府は武力を用ゆるや否やを問ひ而して若し之を用ゆると答ふれば輒ち直に外國の提案を容れ用ふるに至らずと答ふれば輒ち之を斥けて顧みる所なし。彼等の眼中殆ど唯た一の強力あるのみなり。故に若し外國政府にして能く箇中の消息を知悉して事に當りしならば其の外交たる決して彼か如く難澁ならざりしならむ。而して是れ其の使臣等か充分に本國政府に向て説明したる所なるにも拘らず本國政府の尙ほ且つ爾かく等閑に附して顧みざりしは吾人をして轉た怪訝に堪へざらしむ。過去三十七年間に於て苟も支那政府を恐怖せしむる所の強迫を用ゐしならば今日漸くにして得たる所の凡てのものは業に既に其の當時に於て疾くに之を得たりしならむ。何となれば此の間にありても支那政府の肚裡に潜める決心は如何なる

事情の下に於ても外國入寇の危険を冒さすと云ふに存したるを以てなり。日本の如きも若し此の道を以て彼に對せば干戈を動かさずして朝鮮に於て其の要する所を得たりしならむ。然るに武人派の歡心を買はむと欲したるの結果遂に最終談判書拒絶の機會をも支那政府に與ふることなくして開戦するに至れり。(抄譯者曰く著者が日清戦争に關して茲に言ふ所の謬妄なるは故らに辯明するまでもなかるべし)。

支那人は由來理由なく外人に抵抗の態度を取り之に處すること頗る困難なりしと雖も若し外國の使臣にして充分の技倆と忍耐とに依て之を動かさむと試むれば必ずしも功の收め難きを嘆せざりしなり。千八百七十年代に於て露國公使たりしフランガリーの如き又長く獨逸の公使たりしフォン・プラントの如き總理衙門大臣の信用を博して其の言の聽かるゝこと屢々なりき。支那官吏と外國公使との私交は慣習と禮節の爲め其の自由を妨げらるゝこと多く各種の談判は多人數の支那大臣を對手として之を爲さるゝへからず。而して其の多人數の大臣は事務の進捗よりも寧ろ己れの同輩より非難を被らざらむことをのみ是れ阻むるの

状態なれば常に談判の依違として決せざるか如き固より其の所なりと謂ふべし。公事の就ての訪問と雖も支那大臣等は單獨に外國使臣を訪ふことを爲さす必ず數人相携へて行くを例とす。故に其の一人を捉へて之を談判するを捷徑とすれども此の如きは地方には其の例あるも都府に於ては實際は殆ど禁せらるゝ所なり。

支那に於ては或一人の責任ある大臣を捉へ之を全然其の同僚と離隔して然る後談判するに非されは決して談判の秘密を保つこと能はざるべし。總理衙門に於て行へる談判は恰も公開市場に於て行へる事と等しく若し外國の使臣にして他國と支那との間に起れる凡ての外交を精密に且つ迅速に知らむと欲すれば決して其の難きを患ふることなし。殊に支那政府の機密を知るの便宜を有すること最も多きものは露國なりとす。蓋し露國は常に万金を散して支那官吏に結ひ苟も稍要地に在る支那官吏にして露國の澤に浴せざるものは其の數極めて寥々たるを以てなり。

日清戦役以來北京外交界に在ては外交術の範圍漸く窄められて強力の範圍益々

擴められむとするの傾向あり。曾て露國の一官吏か言へる如く當今の問題は支那か如何なるものを認許すへき乎に在らずして外國か如何なるものを強奪する乎に在りて殆ど強力のみの問題なり。彼の謁見問題の經過の跡につきて見るも以て這箇の消息を窺ふに足るへし。始め外國公使の謁見を求むるに當りて頗る遲疑して容易に許さず愈々許すに至ても禮式を嚴守せしめて一步も譲る所なかりしか一たび膠州灣事件につき獨逸の強制を蒙りて後は却て獨逸のハインリヒ親王に對して充分の讓歩を以て謁見を許すに至れるか如き以て其の一斑を知るへきのみ。

第五章 支那の經濟

曾てリヒトホーヘンの言へる如く支那に於ては巨大なる産業上の生産の要素未だ利用せられずして睡眠して存在するなり。先づ勞力に就て言ふも支那人は寒暑を問はず永續して活動を爲し得るの人民なり。或は自ら創始の力を缺くことはこれあるへきも外國の資本に頼り低廉なる支那勞力の生産を世界の市場に供給すること決して難しとせず。

支那は氣候及び生産物の上よりして之を北、中、南の三帶に大別することを得へし。而して所謂北帶の中には支那本部の黄河以方の地を含むものとす。此の帶の氣候は寒に過ぎて茶、米の耕作に適せざるも土地の多くは粟と大麥との耕作に用ゐらるゝなり。中帶とは黄河より以南、北緯二十六度に至るまでを云ふものにして之を北帶に比すれば寒氣も頗る緩和にして米、小麥等繁茂し又良好の茶を産し桑、綿、棗、橙、砂糖、竹等を出す。中帶の東部は絹と綿との製造を以て有名なり。

中帶の中部は支那の穀倉にして其の地の米の生産を以てして優に全國の人口を養ふに足るものあり又其の西部には高貴なる材木多し。支那本部の南帶は天然の生産物少からずと雖も氣候暑熱に過ぎて其の品質一般に佳良ならず。本部は北中南の三帶とも鑛物に富み石炭及び鐵は此の三帶を通して産出する所にして金銀は南北及び西方の諸省に存し而して銅、錫、水銀及び鐵は各處に存す。又西南の雲南、貴州の山嶽には金屬極めて多し。

此の如く支那に於ける鑛物は頗る豊富なれども是れ皆未だ採掘に着手せられざる所にして今後交通の大に開かるゝまでは容易に發達せざるへし。人口は海岸

及び内地の重要な河流に沿ふて密にして之を離るゝに従ひ漸次稀少となる。交通の方便は極めて不完全にして爲めに外國貿易も深く内地に及はず。但し支那に於ては人口の稀少は必ずしも土地の粗悪を示すものにあらず殊に鐵物の存せざるを示すものにあらず。縱令土地肥沃にして鐵物に豊饒なるも交通の便なきか爲めに人民の多く住することなき地方頗る多しとす。交通の便極めて悪しきか爲めに假令豊富なる石炭坑多しと雖もこれによりて利益を享くるものは近隣の人民に限れり。故に石炭坑を距る一哩の地に居住するものにどりては其の価格は極めて高貴にして非常なる奢侈品となるものなり。山西省の炭山附近に於て毎噸十三仙を値する石炭は石炭坑を距る三十哩の場所に於ては毎噸四兩に昇り而して六十哩を距る、場所に於ては七兩に昇騰するに至る。斯の如くして石炭坑を距ること十哩毎に毎噸一兩の價格を加ふるに至るなり。

直隸省の北部に於ては石炭の産出甚だ多し。開平の石炭坑に於ては歐式の機械を以て採掘に従事し極めて佳良なる石炭を産出す。而して其の産出も益々増加

するの望あり。リヒトホーヘンは直隸省の或場所に於て七千呎の厚さを有する石炭層を發見せり。泰安山に於ては北京の近傍に於けるより鐵區は高價を有す。是等の場所に於ける石炭は堅質のものに屬す。

太原府の平谷に關しリヒトホーヘンは石炭の到る處に存在すること及び多くの場所に於ては其の價格たる多く運搬費の上に出でざることを説けり。斯の地方に産出する石炭は極めて佳良なる燃質のものなり。石炭層の厚さは大抵三呎乃至五呎にして時に八呎若くは十呎に及ぶものあり。又平定州に於ては好望なる石炭坑あり。其の石炭層の亘る所は廣大にして殆んど南部山西の全部に亘ると云ふ。

山西は最も著名なる石炭及び鐵の産出地の一なり。現時世界に於て石炭を消費する割合を以て見れば山西のみよりの産出額を以て優に此十年の需要を充たすことを得べしとはこれリヒトホーヘンの説く所なり。嘗て教授ダナは諸國に於ける石炭地と國の全面積とを比較し北米合衆國のペンシルバニアを以て石炭層の比較的最も廣きに亘れる地と爲したるカリヒトホーヘンは山西の地たる寧

る此の點に於てペンシルバニアの上に位するを説けり。且つ支那の石炭採掘に就て便なるは採掘の容易にして従て生産費の低廉なるにあり。然れども斯の地方は海岸に遠く又舟楫の海より通ずる河川にも遠きの不利あり。斯の困難は鐵道を布設し以て排除することを求めざるべからず。

現時に於ては漢陽の製鐵鑛所の供給を仰き居りたる石炭抗か火を失してより以來輸出石炭の産出する場所は開平及び漢口の二個所に限れり。尙ほ其の外にも山西の澤州府よりして少許の量を産出すれども、運搬困難にして加ふるに内地通過の際課せらるる所の税目極めて重し。

湖南の東南部よりして漢口に至る石炭は上海に於て現時毎噸九兩に値す。然れども供給も必ずこれありと言ふべからず亦其の價格に至りても變動常なし。乘陽地方に於ては二万方哩以上に亘る所の石炭産出地存在す所謂乘陽の石炭なるもの此處に産出する所なり。而して將來に於ける中央支那の石炭の供給は重に此の地方に仰かざるべからず。乘陽の外に隱林に於ても亦石炭を産出す。是等の二地方に於ける石炭の供給は殆んど極まりなしと云ふも決して過言にあらず。

河南に於ては蘆漢鐵道に沿ふて燃質の佳良なる石炭を産出するの地方あり。且つ是等の石炭地に於ては多く鐵を産出す。亦河南の北部に於ては堅質の石炭を産出す。是等の石炭地より産出する石炭は三十哩を距る黄河及び渭水に於ける舟楫の便によりて輸出せらる。而して抗口に於ける價格よりは五倍の價を生ず。山西に於ては蘆漢鐵道に浴ふて鐵及び石炭を産出する澤州府の地方存在す。峽西の北部に於て又多く石炭を産すと雖も交通不便なるか爲め其の附近の場所以外に輸出することなし。地勢によりて察すれば石炭層は北部、西の大部分に至るべしと云ふ。山東省に關してはウヰリアムソン氏の説く所極めて詳細なり。省内には現に四個の大なる石炭地に於て採掘行はれつゝあり、其他尙少額を産出するの地は殆んど無數なり。山東の石炭を産出する地方の重なるものはラオフホー(老虎河?)の流域なり。此の地方に生ずる所の石炭は堅き質の石炭あり其の中間に位するものあり。博山に於ては多量のコーシク製造せられ皆外國に輸出せらる。地勢によりて察すれば石炭層は山東省の中部及び西部全躰に至るものゝ如し。

鑛に就ては其の分布極めて廣く山東省に於ては黑色酸化鐵を産出す。金も亦多數の省より産出せらるれども滿州山東及び西部の高地に於て最も著しく産出せらる。漢江に於ける砂金業に就きてはリトホーヘンは七人の人夫か百二十噸の小石を洗ひ而して平均毎噸三仙半乃至四仙の黄金の收穫を得ると説けり。

雲南、貴州の二省の鑛物の産出は極めて多種にして其の産出額も亦著しきこと支那全國に冠たるものなり。佳良なる性質を有する石炭は雲南省中の所々に存在す。山鹽は小丘より産出し鉛、鐵、錫、亞鉛等輸出せらる。鐵及び石炭は各所に極めて多く存し亦銅、硫黃、鑛油、水銀、酸化水銀及び其他の高貴なる鑛物を産出す。是等の地方は斯の如く鑛物豊富なれども之を他に運搬する鐵道の布設なくむば採掘業の十分に發達するを望む能はざるなり。

銅及び鉛を出す重なる鑛坑は南部支那に於ては湖南及び湖北の兩省間に存在す。而して是等の鑛坑より出す所の鑛物の外に貴州及び雲南よりして銅を北京に輸送す。銅は亦芝罘の東方に發見せられ而して其他山東及び他の省に於ても亦存するものならむと思はるゝなり。

ルツン(?)より産出する所の山鹽は山西の全部陝西の北部及び甘肅河南の大部分に供給を爲す。其他忻州及び太原府、平陽府、西安府等の豁谷に於て鹽を産出するも其の質佳良ならず。山西の一部は天津より送る所の鹽の供給を受け居るなり。

鹽は政府の專賣する所にして其の政府の收得する金額は千三百六十五万九千兩に昇る。支那に於ける鹽消費の年額は三百三十億封度に上ると計算せらる。外國より鹽を輸入することは政府の禁ずる所なり。

茶は外國貿易に於ける重なる貨物の一なり、最近に至りて印度茶の競争の爲めに其の輸出額を益減するの傾きあり。蒙古及び西藏の市場に送る所の磚茶は重に漢口に於て製出せらるゝなり。

煙草に就ては三百年以前初めて日本より朝鮮に輸入せられたるなり。蓋し日本に輸入せられたるは葡萄牙人又は和蘭人の手に頼りたるものと思はるゝなり。朝鮮より滿州に傳はり現滿州朝廷か中華に君臨したる頃即ち耶蘇紀元千六百六十四年の頃支那に輸入せられたり。現今に於ては煙草を喫することは一般の風

となれり。滿洲煙草は支那に最も其の名譽高し。

九〇

支那の労働者に就て一言せば支那人はクローリーとして一月六弗より八弗の賃銀を受く強壯にして腕力に富み且つ耐忍力強きを以て極めて低廉なる勞力を供給するものと謂はざるべからず。北支那の人民は南支那の人民より強健にして外人に對して禮儀に厚し。然れども是等の労働者は事物を規則立ちて行ふの必要を辨せざるなり。

支那の職工は組合を組織し屢々連合して賃銀引上の運動を爲すことあり。南部の職工は北部のものに比すれば熟練と活動との點に於て優れり。人民の大部分殆んど三分の二は生産的の勞力に従事す殊に農業漁業等に従事するもの多し。

全人民の十分の一は漁業によりて生活を爲すものなり。全人民の殆んど三分の一は製造業商業に従事す。現今の状態に於ては支那人は必要上或は外國に移住し或は河上又は湖上に於ける船舶の中に生活を爲すもの少なからず。

鴉片に關しては外國より支那に輸入する額は漸く減少の傾きあり。是れ印度の貿易の爲めに不利なる所なり。支那に於て外國より輸入せらるゝ鴉片は内地の

生産の競争の爲めに減少すること疑なし。支那内地を旅行せるものは雲南及び四川に於て鴉片の産出額益々増加し種質も漸く改良せらるゝことを説かざるものなし。

支那人の鴉片を喫することに關しては或は之を以て無害なりと爲すの説あり或は害毒極りなしとの説も亦是れあり。無害説は英國領事等の主張する所にして印度政府の賛成する所なり。害毒劇しとするの説は宣教師等の主張する所にして非鴉片同盟の採用する所なり。彼れ宣教師の説く所を聞けば鴉片の害は支那幾億の人民を益毒すること甚だしとなし領事等の説く所によれば鴉片を喫するは恰かも歐米人の煙草を喫するか如く支那人の軀格に適する習慣なりとす。著者コフーン氏は其の説を述べて曰く上述の如き兩説は共に中庸を失し眞理は其の中間に存するものなり。固とより一度鴉片を喫するの習慣に感染せば之を脱し難く而して身心の勢力を萎靡せしむるに至ること疑なきか如しと雖も是れ著者一個の觀察に基く説にして精密に鴉片毒の人身に及ぼす結果を知らむと欲せは尙深く學理上の試験を爲すの必要あり。蓋し支那人も他の人種に屬する人民

の如く興奮劑又は魔睡劑を用ゆることを嗜むは免れざる所なり。而して支那人は恰かも西洋人か酒に酔ふを樂むか如く鴉片を喫するを樂むものなり。英國にては未だ禁酒の風は行はれざるのみならず節酒の風に至りても亦行はれざる所あり。英人に飲酒を禁む若くは支那人に鴉片を喫することを禁するか如きは一片法令の能く爲し得る所にあらず。支那人の鴉片を喫するの風習止むことあらば是れ人民全體の風習の遷移によりて始めて爲し得る所なり。支那人は多く喫鴉片の風盛んに行はるゝことは英人の爲す所に依りたるなりと説き歐米人にして尙此の説を信するもの少なしとなさず。其の説の眞偽に至りては茲に断定せずと雖も現今英國政府が印度産の鴉片に關して採る所の態度を改めざる以上は容易に此の説を排斥することを能はざるを憂ふるなり」と。且つ附説して曰く「鴉片を喫することの害は彼の支那人に就ては東京、安南、校趾、支那、暹羅、カンボヂア、及び緬甸等の人民に對するよりも毒害の及ぶこと遅緩なるものゝ如し」と。

サ、ロバート、ハートは數年前煙管の數及び鴉片呑みの喫する鴉片の平均量を基礎として支那に於ける喫鴉片者の數を算出して人民の三百分の二即ち二百万の

支那人のみか鴉片を喫することを説けり。然れども斯の如きは支那内地を旅行したるものゝ決して信ずる能はざる所なり。鴉片の嗜に耽ける支那人は之れより遙かに多數なりと云はざるべからず。

支那人が漸次鴉片を喫するの悪習を止めむとする傾向ありとの説は決して信じ得べからざる所なり。支那の内地を旅行したる者は却て鴉片の内地殊に雲南及び四川よりする産出が益々増加するを看過すること能はざるべし。實に鴉片の産出は小麥の産出よりも二倍の收入を得るか故に益々盛むに行はるゝに至れり。内國製の鴉片にして益々改良せらるゝときは遂に外國産の供給を仰かざるに至るべしと信ず。

支那の各省に於ては種々其の種類異なる絹の産出あり。蒸氣力を使用する絹糸紡績所は芝罘、上海、鎮江、漢口、及び廣東に於て設立せられ、其の數二十五に達し、錘數千零四十本を有す。絹に關する商業の發達著しきものあり。

棉花を産出する地方は上海より漢口に亘り宜昌地方に及ぶ。又四川の北方に於ても棉花の産出あり。現時に於ても十三箇の紡績所あり、而して尙續々設立を見

んとする状況にして現今に於ける鑛数は四十一万七千本に及ぶ。

歐米人は多く支那人に負ふ所あり而して嘗て歐米人か知らざる以前に於て支那人の知り居りたる事物少しとせず。彼の磁石、火薬、傘の如きは歐米人の支那人に倣ふ所なり而して次に擧ぐる數項の如きも夫れ或は然らむ。第一、文官試験の制度、第二、燧臺、第三、圖牛、第四、演劇、第五、小説、第六、人口統計、第七、循環耕作、第八、印刷、第九、人工孵卵器、第十、銀行券、第十一、新聞紙、第十二、種痘等是れなり。

支那に於ける鑛物の富は全世界何れの國にも優る所なり。然れども未だ十分に之を利用するの緒に就かざるなり。且つ斯の富を發達せしむべき人間の勢力も支那人民中に蓄へらるれとも十分に利用せられざるなり。漕又は水路等の水の力も未だ利用せられずして存せり。

支那帝國の一般經濟上の状態を察するときには吾人は數百年の間進歩の停滯せる状況ありたるに拘はらず支那に於ける多數の産物か嘗て世界の市場より驅逐せられざるのみならず或場合に於ては殆んど匹敵なき状況にあることを見て驚かざるを得ず。亦支那人の其の製造技術に於て使用する器具か極めて不完全なる

を常とするに拘はらず之を使用して得る所の結果は極めて著大にして現今の改良せられたる方式により輒近發明せられたる機械を用ゆる所の歐人も及ばざることあり。斯の如き寡少なる外界の援助を以てして尙且つ斯の如き著大なる結果を擧ぐることを得るとせば、一と度文明の氣運にして眞に支那を振盪し現代の方式と改良とを研究し之を採用するに至らば、支那人が商業及び製造業に關し世界各國民の間に極めて著しき地位を占むるに至るべきは智者を待ちて後ち知る所にあらざるなり。

コフロン氏か經濟上の問題なる章中に於て説ける所は茲に盡きたり。次に氏か交通上の問題なる章に於て説ける所の要領を記すべし。

支那の如き絶大なる地域を有する國にありては國內交通の便を備ふること極めて必要なり。故に支那の明主は常に此の點に就て施設する所ありたり。

彼の運河は泰西に於ける運河の如きものにあらざりて乾燥せる河床、湖水、沼澤等を相通せしめ、汶江の水を之れに注げるに過ぎず。マルコポーロの説く所によれば十三世紀の末葉、元主忽必烈か始めて運河を開鑿せりと云ふ。運河は浙江省に

於ける抗州府と直隸省に於ける天津とを連絡せしむる者なり。而して天津より白河を溯りて北京の近傍なる通州に達することを得べきなり。其の抗州府に達して後ち大湖の東方に沿ふて流れ蘇州を過ぎ西北に向つて江蘇省の豊饒なる土地を過ぎ揚子江の鎮江に達す。それより江蘇、安徽、山東、直隸を過ぎて天津に達す。運河か未だ敗類に至らずして黄河の水か尙これに注入したる頃に於て之れによりて北京と廣東との間に水路の交通絶へざりしなり。然るに近年に至り殊に貢米か海岸に沿ひ汽船によりて運搬せらるゝに及び運河の修繕は全く廢せられ、これによる航行は極めて困難となれり。

支那に於て公道は一般に西北の部分に限りて存し、其の存する所のものも極めて悪しきを以て著るし。

北京を中心として四個の大道開通す。一は宣化府を通過して長城を過ぎ庫倫に達し、一は蒙古に入り更に西北に向つて多倫諾爾に達し、一は通州及び永平府を過ぎて山西の太原府に達するものなり。

中央亞細亞の商業通路は西安府より西北に向ひ渭水の流域を通過し、山西及び甘肅の昔し盛なりしも今は衰へたる山谷を通過し戈壁沙漠に達するものにして、肥沃なる土地を過ぎ又石炭及鐵に富める地方を通過す。中央亞細亞より中央支那及び揚子江の達するの鐵道を布設せむと欲せば西安府より始まり黄河の南に於て河南及び漢口に達する現今の車道の外に之を求むること能はざるなり。河南はコロネル、マークベルの調ふ所によれば將來に於ける鐵道の中央停車場たるべき所にして此の地より漢口に達する所の二個の好望なる線路を布設することを得べく且つ此の處より開封を通過して北京の鐵道を容易に布設することを得べし。亦潼關よりして支線を出し太原府を通過して尙北部に延長し以て山西の石炭及び鐵を輸出することを得べし。此の潼關より發する支線に就てはリヒトホーヘンか政治上及び軍器上に於ても商業上に於ける如く極めて必要なを説けり。

渭水の流域の商業上重要な地點を占むることはリヒトホーヘン其の他の旅行者か言を極めて説く所なり。是れ中央支那に於ける重力の中心點なり。然れども山嶽により帝國の他の部分より隔てられたるか故に現今に於ては往來極めて困

難なり。

北支那の中央及び南部支那と比較して毫も進歩せざる状況の重なる原因は益し二あり。第一は森林の濫伐に因る氣候の節和を失ひたることは是れなり。北部に於ては例へば漢口より北京に至るまで山嶽は殆んど樹木の繁茂を見ざるなり。第二は交通の便等閑に附せられたることなり。北部の昔時盛なりし時代に於ては道路も頗る完全なりしが今日は既に敗類の状にあり。支那政府の三大敵とする所は飢饉地方自治及び革命是れなり。支那の一地方に飢饉ある時に於て他の地方は豊作なるも交通の便不完全なるか故に米穀を輸送し飢へたる民衆を救済することを得ざるなり。

蓋し支那が世界に於て孤立し居りたる時は交通の便缺けたりと雖も尙且つ一國を成すことを得たり。然れども今日に於ては一方には外國人の水陸より支那に迫るあり他方には内地の交通益々敗類するあり。支那政府の柔弱爲すなきは交通の便缺け居ること其の一大原因を爲すものなりと云はざるべからず。而して中央政府の権力の各地方に及ばざるは主として是れか爲めなり。

支那に於ては交通の便は實に飢饉を救ひ革命の種子なる秘密結社を鎮壓し且つ統治の實を擧ぐるに於て必要缺くべからざるのみならず又國防の關係より云ふも一日も忽にすべからざる所なり。若し日清戰役の際交通の便開け居りて之れによりて歐式の訓練を経たる軍隊を北方の境界に集むることを得しならむには、彼の事件も或は戦争とならずして終りしやも知るべからず又た露國をして遼東半島及び旅順口を占領するを憚らしめたるやも知るべからず。

蒸汽力に依る河海の航行に就ては既に支那近海及び揚子江に於て汽船の航海を開始したれども尙之を發達せしむるの必要あり。船底の淺き汽船を以て洞庭湖及び鄱陽湖其他白河及び廣東省の諸河に航行せしむるの必要あり。然れども最も重要なる者は鐵道にあり。揚子江に沿ふて布設すべき線路の外支那に於ける現今の商業通路となれる所にして之に鐵道を布設し利益を見ざる場所なしと謂ふも可なり。殊に北京より支那の中央部を貫き南支那に至る線路の如きは極めて好望なり。斯の如き線路は國防上に於ても其の効用著しきものなり。蓋し支那の能く保全し得るは全國を外國人に開放し其の資源を平和的に發達せしめ之

れに依りて凡ての外國人に支那に於て商業の利害を有せしむるに由らざるべからず。近人支那の分割を見ることを避くるの策は是れを措きて外に何等の良策も亦存せざるなり。蓋し結局に於ては支那の分割せらるゝこと免るべからざるの故なりと謂はざるを得ず。

支那に於て鐵道を布設するに就て主眼とすべきは支那内地の商業の發達及び支那の各地方に於ける種々の産物の有無相通にあるべきなり。これに由りて人民を富まし行政を改革することを得べきなり。支那の政治家たるもの宜しく之を以て其の目的とすべきなり。

揚子江に沿ふて鐵道を布設するは汽船の航行の競争あるを以て有利ならざる如く説くものあれども蓋し誤りなり。鐵道と汽船とは水陸相扶けて共に利を收むることを得るなり。然れども支那にとりて尤も必要なる鐵道は北支那に於ける北京天津等を中央及び南部支那と連結せしむる二箇の線路あり。斯の如き線路は現存の商業通路に沿て殷富なる都市を通過するものなり。即ち東部山西及び河南を通過し漢江の流域を漢口まで下り揚子江に出で平原を通過して鎮江に達

446770

し、之れより西江及び廣東に達するなり。斯の如き線路によりて支那の南北を連結せしむることを得。漢口及び鎮江は各此の鐵道線路に於ける大停車場たるべく此の線路は實に支那の幹線たり。尙其の以外に於て例ば上海を蘇州杭州に連結し廣東を九龍に連結する等の地方的有利なる線路なきにあらず。

支那に於て始めて布設したる鐵道は吳淞より上海に達する小距離の線路にして千八百七十六年に於て英國商人の布設せる所なりしが越へて一年にして支那の地方官之を買上げ遂に線路を取除き而して其の材料は之を臺灣等に送り終れり次に布設せられたるは石炭輸送の爲めに開平の石炭坑より白塘江に至るまで布かれたるを始めとし其の後徐々線路を延長し遂に今日に於て三百哩の鐵道として存するものなり。天津より白河の河口に於ける太沽砲臺に近き塘沽に至る間(此の間二十七哩)塘沽より開平、開平より唐山の石炭坑に至るの間に於て及び之れより山海關を經過して滿洲の方向に於て、今日に於ては英人の技師が布設のこととに與かれる堅固なる線路布設しあり。現在の鐵道中最も重要なるものは天津より北京に至る長さ七十三哩の線路にして昨夏(千八百九十七年)初めて開通せる所

なり。

人或は支那に開港場を増加することに大に重きを置くものあり。然れども單に開港場を増すのみを以て現今に於ける支那の商業を振作し面目を改めしむることを望む能はず。支那の商業を振作するの途は鐵道を布設し旅貨物通過券の制を立て以て交通の便を開くにあり。斯の如き手段を以て交通の便を開くは實に産業上及び商業上の利益を伸す所以なるのみならず又政治上及び行政上の必要に應ずる所以なり。ウヰリアムソンが三十年前に於て支那人民は蒸汽力と無政府との一を撰はざるべからずと述べしは蓋し至言なり。

支那に於ける鐵道に關する政策は二個の途あり。第一は政府の手にて布設する策にして若し斯の策によらば二十年乃至二十五年の期限を定めて鐵道公債を募るべきなり。第二は政府の擔保の下に會社をして布設せしむるの策にして斯の策を取るときは政府は例へば二十五年等の定期間の後は鐵道を無償にて得るの權利を保有し純益の四分の一乃至五分の四の配當に預るの權利を保有すべきなり。第二の擔保制度は印度に於て英國の採用せる所なり。

印度に於ける擔保制度は其結果良好にして政府財政の如何に關せず能く鐵道の發達を致すとを得たり。印度に於て鐵道の布設せられたる結果として商業の發達著しきものあり。千八百九十六年を以て終る所の四十年間に於ける貨物商品の輸出は四億ルーピーより二十億ルーピーの巨額に上れり。今日に於ける支那内地經濟上の状態は鐵道布設以前の印度の状态に彷彿たるものあり。

印度に於ても鐵道布設に關する障礙は殆んど排除すべからざるか如く信せられたりしも堅忍不拔の經營によりて遂に今日の鐵道の盛況を見るに至れり。概言せば地勢上の障礙は支那に於て印度に比して甚しと云ふべからざるか如し。固より北京又は天津を揚子江流域と連絡せしめ更に之を南方の地方に延長するには布設の困難たるや些少なりと云ふべからず。例は黃河に橋梁を架し亦西方線にありては揚子江流域に至るまでの山嶽を通過するか如き困難ありとす。然れども是等の困難は之を排除し難きを憂へず。

嘗てリヒトホーヘンは支那か途には哈密蘭州及び西安を經過する線路に於りて歐洲と鐵道の交通を有するに至るべきを豫言せり。此の言によれば歐洲と通ず

る鐵道は渭水流域の南より布設することを得ず是れより北に布設せむと觀せば全く黄河の北を通過することとなり其の過ぐる所荒蕪の地方に過ぎたるべしと云ふ。實にリヒトホーヘンの擧げたる所の線路は沿道の地方か天産物に富み、人口稠密商業隆盛にして且つ石炭に富むを以て極めて良好なる線路なりと云ふべし。

支那内地の北京漢口間の鐵道即ち所謂蘆漢鐵道は白耳義のシンヂケートが布設することに定まれる所にして其の良好の線路たることは亦疑ふべからずと雖も之れに優るも劣ることなき線路は北京より天津鎮江を經過して杭州に至り更に之を廣東に延長すべきものは是れなり。此の線路は平均二万五千の人口を有する四十の都邑を經過し亦石炭に富める地方をして港灣との通路を得せしむるものなり。既に前に説けるか如く山東直隸山西に於ては石炭及び鐵の産出甚だ多く殊に直隸の北方に於ける開平の石炭坑の如きは前途極めて有望なり。亦上述の鐵道の通過する所には天津鎮江揚州杭州蘇州等の殷富なる都市あり。電線は漸く帝國內に延長せられ北京と天津の間及び北京より滿州に於ける黑龍

江及び烏蘇江上の露國との境界線に至るまでの重要なる諸都市との間に既に架設せられ牛莊芝罘上海揚州蘇州揚子江上の七開港場廣東武昌蘭州其の他帝國內の重要なる都市は其の相互の間並に北京との間に電線の連絡あり。露國との約定により支那の電線と黑龍江流域の西比利亞電線とは千八百九十二年の末頃連絡せられ爾來露國の領土を通して北京を歐洲との間に電信の交通あるに至れり。著者は次に支那に於ける英國の目的地と云ふ章中に於て英國に利害の關係最も深き支那の西南部の諸省並に揚子江及び西江の流域に關して説く所あり。これ余の次に概説せむとする所なり。

凡そ英國が支那の貿易を攻撃するの途は二あり。一は海上よりして揚子江及び西江等の主要なる河川により支那に侵入することなり他は英國の陸上の根據地たる縮甸よりして雲南を經過して支那に侵入することなり。固より海上より侵入するの途は最も重なるものなれども陸路によりて侵入することも亦等閑に附すべからざるものにして英國の商業上及び政治上の勢力を維持擴張せむと欲せば斷して捨つべからざる所なり。支那は蒸氣力の發達にて海面によりて他國と

隔離せらるゝの勢を變じ亦西比利亞鐵道の布設によりて陸上の隔離の勢をも變せむとす。北方よりして鐵道によりて歐州と直接に交通するに至らんとするの形勢は英人の南方より進入することを避くべからざらむ。

著者は縮甸と支那の西南部とを連絡せしむる鐵道の布設を主張すると茲に年あり。これ一は雲南及び四川を開拓するの目的を有するものにして又一は揚子江とイラワデー河の二大河流を連絡せしむるの目的を有す。揚子江の最終航行點と東印度の領地とを連絡せしむることは單に商業上の爲めのみならず政治上の爲めにも極めて必要とする所なり。而して揚子江の最終航行點は四川の省中に存し四川は實に種々の理由により英國の商業上及び政治上の目的地たらざるべからざるものなり。晩近に生じたる事件は此の意見の正當なることを示し猶豫なく縮甸と揚子江の上流との間に陸上の交通を開くことを研究するの必要を示したり。

縮甸は實に支那に對する英人の陸上の門戸なり。印度よりして支那に至る途を塞く所の障壁は上部縮甸を併合したることに由りて消滅したり。是に於て東北

方の境界に於ては英國の領地は支那と直接に境を存するに至れり。若し斯の勢に乗じて支那と英國の印度の領地とを密に結合するに至らば之か爲めに兩國の其利を享くこと蓋し大なるべし。印度の西北の境上に於ける鐵道は殆んど政治上並に戰術上の目的を有するに過ぎるものと云ふべくして防禦用の爲めに存し荒蕪の地方を經過するものなり。之に反して東北境上に於ける鐵道は政治的なるのみならず亦商業的ならざるべからず。

佛國は亞細亞の大強國と云ふを得されども印度支那の三分の一を領有し之を根據として南方より支那に迫り其政治上の勢力を南部支那に樹立せむと欲す故に此の目的を以て南部の諸省と佛國の領地とを連絡せしむるの鐵道を布設するの計畫を爲し居れり。これ陽には商業の爲めにするを稱する所なれども其の實は政治上の目的を達するの手段と爲さんと欲するに過ぎず。佛國の此の如き政策は實に南部支那に對する英國の商業と支那に於ける英國の行政上の勢力の上は大影響を及ぼすべきものなること更に疑を抱くことを要せざる所なり。若し先んじて佛國人を制するか若しくは佛人と相競ひて同様の手段を運らすにあらざれ

ば南部支那の各所に保護税率の設定を見るに至り、英國の商業を妨げ佛國の商業を進むるの策の成就すべきを憂ふ。

支那の商業地の中に就きて南部及び西南部の支那は重要な地位を占むるものなり。概言すれば中央支那及び揚子江の下流より北京に達する大平原に比すれば富の程度も低く人口も寡少なりと雖も四川、廣東の二省は經濟上支那の諸省中の首位にあり。而して少なくとも鑛物の富に於ては雲南及び貴州の二省は他の諸省の匹敵する能はざる所なり。現今に至るまでは此の如き經濟上好望なる地も歐洲の製造品の達する所とならざりしは内地運搬の不便の爲めに輸送費用の巨額なるに基くものにして之れか爲めに機械製造品は地方の手工品の競争に勝つ能はざりしなり。是等の地方は經濟上のみならず亦政治上に於ても極めて重要な地位を占むるものなり。

雲南及び西部貴州は海面を抜く平均五千呎の高原をなし其の北南及び東に存する所の平原とは水流による交通を有せず。此の高原は印度支那より揚子江に至るまで零六百哩の幅を有し其の中に多數の明媚なる山谿を有し平坦の地あるこ

となくして時に湖澤の存するを見るのみ。

雲南省は許多の著者及び旅行者か或は之を稱揚して殷富の地となし、唯回教徒の擾亂千八百五十六年より七十三年に亘れり及び兵亂後の癘疫に因り人口の稀少を致し土地の荒蕪を呈するに至りたりとなし、或は之を貶して毫も將來の望みを屬すべからざる磽确の地なりとなす。著者は雲南の天然の富の饒多なることを信ずるものにしてホーシー(Hosie)か此の地を殷富の土地をなせるに賛同せり。

然れども雲南の富は殆んど鑛物に限ると云ふを得べきを以て其の他の人民の狀態を改善せむと欲せば他の地方との間に交通を開くの外別に良策あるとなし。上部縮甸の殷富は極めて著しきものにして若し支那の雲南地方と交通を開くことを得ば兩地方相互に相利すること大なるべし。而して上部縮甸よりして雲南に通ずるの通路として普通ペモ一の道途と稱せらるゝ所のものゝ便なるを説かざるものなし。此の道路は隊商の往來せし所にして之に沿ふて鐵道を布設し以て縮甸及び支那の間に於ける重要な貿易道路と爲さんとするの計畫は嘗て印度政府の採れる所にして、此目的の爲めに屢々縮甸より雲南地方に向つて探検隊

を派出したりしが今日に於ては地勢の鐵道布設に適せざることを明瞭となるに至り。一時印度政府の此の道に沿へる鐵道の布設に熱心なるや暹羅を經過して南支那に達するの鐵道を布設するの好機會を逸せしめたり。若し暹羅を通過する此の鐵道にして成りたらむには暹羅王國を開放し縮甸よりして雲南及び揚子江地方に達する唯一の自然的なる道路を開く所以たりしならむも當時此の如き鐵道の布設を等閑に付し輒近に至り政治上の故障の起るありて別に他に鐵道布設に良好なる通路を求めざるを得ざるに至れり。加之佛人の安南東京を根據として南方支那を經營せむとするの運に遭へるを以て全然英國所屬の土地を通過する所の鐵道を求むるの必要を感ずること切なるに至れり。此如き鐵道は上部縮甸の古昔の都府たるマンデレーとサルウカン河のクンロンフェリー(Kunlon Ferry)との間の二百五十哩許の距離に就て求められむとす。該鐵道の終局點は雲南の西北隅に近く其の點よりして雲南西部の重要なる都市なる大理府に線路を延長することは提議せられたり。固より地勢の不便あるか爲めに布設極めて困難なるを免かれず。然れども若し此の困難を排して一度布設を行は、其の有川の

度は著しかるべきなり。

貴州省は他より隔絶せる地方にして雲南より尙發達の程度低しと雖も水路交通の便ある點に於ては雲南に優れり。洞庭湖に注ぐ所の水流は省の東部に通路を開き省の他の部分は四川省と密着の關係を有す。

貴州の地たる漢人種に屬せざる苗人種の故郷にして漢人と土人との間に紛争絶へず。此の騷擾の爲めに土地荒蕪に歸し慘狀云ふに堪へざるものあり。漢人種殊に省の北方にあるものは近隣の省より移住したる者にして其の身分も高貴なるもの少なし。これ貴州の地たる石炭、鐵、銅、水銀等の礦物に富み且つ山水明媚なりと雖も其の他地方より全く隔絶せるの故を以て移住者の行くを欲ざるを以てなり。若し英國にして揚子江地方に對する其の權力を確立せむと欲せば先づ雲南の回々教徒、貴州の獵人種、四川の土人及び甘肅の回々教徒との間の關係を良好にすることを努めざるべからず。是等の人民は後來著しき勢力を振ふべきものにして極めて前途の望を有するなり。

雲南及び貴州の西北部に位する二省は今日に於ては極めて貧乏にして其の地に

徵收する所の賦税は以て行政の費用を償ふに足らざる如き有様なりと雖も今日に於ては貴州は七十五万兩の補助金を要す若し鑛山業にして其の緒に就くときは斯の事態を全く變更し是等の省をして殷富なるものたらしむるに至るべし。上來雲南貴州の二省に就て述へたるか次に海上の外國よりする支那の門戸にして四川の殷富の因る所の揚子江流域地方に就て説かむと欲す。

四川省は山嶽重疊し南方に沿ふて揚子江の上流注流す。政治上に於て此の地方は西藏と區別せられたれども人種の上より云へば西藏に従屬するものと云ふて可なり。人民の多數は之と人種を同ふし習慣制度を等しくす。此の四川省は其の面積の廣濶なる其の人口の饒多なる其の商業の繁盛なる其の物産の夥多なるヒシヨッフ夫人の云ふ如く眞に帝國的の省(empire province)の名を與ふに足れり。此の省の形勢を見れば以て西部支那に於ける外國貿易の發達の好望あることを知るに足り亦支那人民の能力と資源とに於て豊富なるを悟るに足る。

四川省の都府なる成都は百万に近き人口を有し其の殷富の程度高く亦政治上に於て重要な地位を占むるものなり。成都の在る所の平原の殷富はヒシヨッフ

夫人の言に極めて稱揚したる所なり。岷江の全流域も亦頗る豊饒にして江の兩岸には溝渠を穿ち以て灌漑に便にせり。揚子江に臨むて重慶の大商業市あり。四川の地は殷富の度高しと雖も他地方との交通不便にして商品は或る一定の季に於て困難なる運送を経て後始めて其の地に達することを得るなり。若し揚子江の航行にして安全の度を加ふるに至らば其地方の通商も亦從て頗る盛大となるの望あり。故に宜しく漁船を以て十分なる航通を重慶に開き更に溯りて叙洲府に達せしむべきなり。

四川の富は支那人も亦常に自ら喋々する所にして其の地産物に富み兼ねて絹織煙草等の佳良の物品を産出す。穀物の産出も亦夥しく茶は其の質佳ならされとも其の量頗る多し。綿花も亦其の産物の一に屬す。然れどもアルンの言ふ所に據れば印度綿糸の競争に由りて漸く此地方に於ける棉花の産出額を減するの傾向ありと云ふ。四川に於ける富の剰餘は其の大部分を舉て本國製及び外國製の綿花及び毛織物の購入費に充てらるゝものとす。而して其の買入れたる綿糸は悉く省中の需要に充つるにあらずして其の一部分は之を製造して雲南及び西部

貴州に輸出するなり。

揚子江に於ける現今派船航行の最終點なる宜昌は江口を距る一千哩の地にありて四川に達する貨物積換への場所なり。四川に達する貨物は支那の諸地方よりして凡て一たひ宜昌に送られ而して此の地に於て更に四川の「ヂヤンク」に積換へらるゝなり。而して其の貨物の大部分は漢口を發してより凡そ三四十日にして此の地に到達す。宜昌に亞きて重要なるは此の地を下ること八十五哩の沙市にして「パール」か西方支那の「マンチネスター」と呼へるもの即ち是れなり。此の邊一帶の地方は支那に於ける織物業の燒點地にして其の産出する所の織物は皆一たひ沙市に集りて更に西方の諸省に輸出せらるゝなり。

揚子江の下流には兩岸殊に右岸に於て沼湖極めて多しと雖も其中河流氾濫の季節の外殆ど常に水を湛へざるものあり。湖水の最も大なるものを洞庭湖となす。揚子江の南湘江の之に注入する邊にあり。斯の湖水及び河流は附近の商業の通路として著しきものなり。殊に湘江は湖南に於ける商業通路の尤なるものにして岳州府の如き著名なる都市之に沿ふて存在す。若し此の地方に於ける鐵

物の採掘業昌盛を致さは支那の最も殷富なる地方の一となるに至るへきこと疑を容れず。洞庭湖より少しく下流に於て漢江は遂に揚子江に注流す。夏時に於ては漢江は船底の淺き漁船を以て三百哩まで溯ることを得へく其の支流に藉りて湖北陝西河南の大部分に商品を分配すること得。陝西の都府なる西安府に於ても五日程の車輛の運送を利用すれば七百哩許の長距離なるにもかゝはらず能く漢口を利用して貨物を此に運送することを得。漢江は實に北部支那と中央及び西南支那との商業交通の衝路に當るものと謂ふべきなり。

漢江の揚子江に注く所人口稠密なる漢口の條約港あり。亦千八百九十二年張之洞か絹糸紡績所製鐵鋼所を設立したる漢陽の都市あり。揚子港の南岸に在る武昌は人口衆多なる都市たり。漢江の流域は氣候温和土地豊饒にして加ふるに石炭を産出するあり。且つ商業上の通路に當るを以て極めて有望なる地方と謂はざるへからず。漢江より下流に至つて鄱陽湖あり。山水明媚を以て名あり。九江の條約港も亦此の近傍に在り。鄱陽湖も洞庭湖と同じく商業の通路として著しきものなり。

揚子港^エの北に在ては漢江の流域、其の南に在ては洞庭、鄱陽の兩湖水及び之に注入する所の河流は俱に商業の便を助くると頗る大なり。是等の湖水及び河流は航行の危険なきにあらずと雖も概ね漁船を浮ふることを得へく漁船の通せざる所は鐵道を以て之を補ふことを得へし。而して斯の如くして漁船と鐵道を以て能く是等の地方を開拓する時は揚子江地方の隆昌を致し漢口及び上海か亦之に因て振作せられ由て以て商業の中心地たることを期して待つべきなり。

鄱陽湖より下れば揚子江は安徽省の人口稠密の地方を通流す。其の沿岸に數多の有名なる都市あり。蕪湖の條約港は米穀輸出の中心地たるの望あるも屢々洪水の爲めに害を被むるを免かれず。鎮江は江蘇省の一港にして運河の揚子江に注ぐ所にあり。其の商業上の地位も極めて重要なるものなり。蘇州杭州の兩港は揚子江に臨まされとも運河に沿ふを以て上海と水路相通することを得るなり。揚子江の下流は砂泥累積し殊に濃霧梗塞するを以て航海の危険あるを免れず。揚子江の河口に存するものを上海と爲す。支那に於ける外國貿易の中心にして輸入品全價格の百分五十五及び輸出品全價格の百分四十八は皆悉く上海を

通過するものなり。輓近に至りて絹糸綿糸等の製造業此の地に行はる。

揚子江地方を措て更に南方の西江地方に就て觀察するに西江は實に廣東、廣西、貴州、雲南の商業通路にして其通過する所の地方は下流は土地礪礪たるを免かれず。梧州の條約港より進て上流に至れば土地の稍優るを見る然れとも此の近傍に於ては昔時曾て繁盛なりし都市の太平の擾亂及び回々教徒の反亂によつて今は全く荒壞せられたる舊趾を見るを得へきなり。

西江を溯り船底淺き漁船を以てすれば廣州より梧州に達することを得へし。廣州に近く新條約港なる三水あり。西江にして十分に開放せらるゝに至らば支那南部の諸省か昔時隆盛の狀況を回復すること敢て長日月を要せざるべきなり。

南部支那に於ける商業の通路は第一西江第二北海より南寧を通して雲南に至るの道第三佛人の道即ち東京より龍州南寧に至り及び西の方紅河を通して老橋及び蒙自に至るの道これなり。香港及び西南支那の間に於ける自然的商業通路は之れを西江となす。然れども課税煩苛と通行券制度を行はざるか爲め之れか妨害と爲り商業は却て他の道途を求むるに至りたり。即ち北海より南寧を通過す

るの道及び東京の道を求むるに至れり。商業の爲め此の如く道を東京に求むるに至れるは蓋し佛人が通行券制度を蒙自の道路に實行して成効したるか爲めなり。現今英國の貨物は香港よりして佛領を通過し蒙自の道により英の領地たる縮甸のペモーより僅に七日程の場所にまで達するなり。龍州の道は北海よりして南寧に至る佛國の鐵道か布設せられんとする今日に於ては最早言ふに足らざるなり。若し英國か西江に向て十分なる開放を爲さざる時には北海より南寧を経て雲南に至るの道は南部及び西南部支那の商業の滙集する所と爲らざるを得ず。

既に南部及び西南部の支那の諸省並に揚子江及び西江の二大水流に就て著者の既ける梗概を叙説せるを以て茲に著者か支那及び外國貿易の利益の爲めに現今の狀態に改良を加ふべき方策として説ける所を述べむとす。

第一に必要な所は鐵道及び汽船の交通を改良することなり。鐵道に就ては縮甸は太理府及び雲南府と連絡せらるべく而して雲南府を南寧に連絡し廣東を九龍に連絡すべきなり。此の如くして縮甸と香港の間に存する所の南部支那全

體を十分に開放することを得へし。雲南府は更に其の東南に方る所の叙州府(揚子江上流にありて其最終航行點なり)と連絡せらるべきなり。又南部支那は中央支那と鐵道によりて觸接せられさるべからず。汽船の航行に就て云へば西江に於ては南寧まで又揚子江に於ては叙州府まで之を擴張せさるべからず。加之亦内地の水流にして苟も汽船の航行に堪ゆる處には必ずこれを擴張せさるべからず。

交通の便を拓くに就き鐵道及び汽船に次て重要なは課税問題なりとす。殊に南部支那を旅行せるものは種々雑多なる賦金の徴收の爲めに受くる所の商業上の妨害の大なるを説かさるものなきなり。英國政府たるもの宜しく其の條約上の權利を主張し殊に佛國政府の成效せる所の通行券制度の實行を主張せさるべからず。

揚子江上流の地たる英國に取りて極めて喫緊なる利害關係を有するの地なるを以て陸上及び水上の蒸氣力の援助に依りて一方に於ては縮甸より他方に於ては上海及び香港よりして交通を便にし以て實際に於て此の地方を占有するの策を

講せざるべからず。支那は現今に於ては既に兩強國軋轢の間に位して此兩國の軋轢を減せしむべき中間國たる地位を失へるを以て若し英國にして其の既に有する所の領土を保全せむと欲せば揚子江地方及び南部支那を事實に於て占有するの計を爲さざるべからず。

次に著者か商業上の發達なる章中に於て説ける所の要領を述へむとす。東部亞細亞に於て最も勢力を有する歐羅巴の二競爭國を露西亞及び英國となす。露國は大陸的にして征畧的なり。英國は海上的にして商業的なり。露國は北方よりして圖南の計を爲し英國は南方海岸よりして侵入を試む。今や露國は北支那に境を接し其軍港たる浦蘆斯德、旅順口、大連灣に據りて太平洋を睥睨し支那の北部水域を威壓す。露國の商業に至りては極めて幼稚の域にありと謂はざるべからず。獨逸は過去に於ても英國の商業上の競爭者として侮るべからざるのみならず將來に於ては益々戒心すべき頸敵たらむとするの勢あり。合衆國及び日本も銳意其の商業の發達に努めつゝあり。佛國に至りては通商てふ假面の下に其の政治上の計策を實行するを怠らざるなり。支那に於ける英國商業の不満足

なる状態に關する所の諸事實は吾人に教ゆるに一の訓戒を以てす。即ち支那を開放するの必要なる是れなり。支那の開放は實に英國商業將來の運命の繫る所なるに世人の之れに注意すると少なきは洵に怪訝せざるを得ず。英國の製造家は單に目前の利害を打算するに敏にして永遠の計に鈍なり。支那人民の狀態を知悉するとなく唯だ支那にある代理人の言に聽くのみなり。又支那にある商人は其のコンラドル(番頭)の言に依頼するのみにして支那人の需要を十分に詳察するの勞を煩はしどす。又英國の商人は一般に忍耐の二字を忘れ經營心極めて弱く煩細の業務を厭ふに反して獨逸人露西亞人は輕少なる利益の爲めにも勞務に服するを辭せず殊に露國人の如きは蒙古のみならず支那本部の西方諸省に於て其の商業を擴張するを怠らず。莫斯古及びトボルスクよりして隊商に依り遠路の旅行を爲して後蘭州に達す。然るに英國人は條約港内に盤居して自ら外に出るの勞を爲さず。而して土人の言語は野蠻の言語として之を學ぶを屑とせず。内地の取引は凡て之を支那人の代理人に委ぬるのみなり。斯の如くして西部の支那に於ても露西亞の隊商か英吉利商人に對して商業上の競争を爲し得

るに至れるなり。支那の西北に於ける商業上の競争は交通の利便開くるに従つて益々活潑となるべきを以て英國商人たるもの能く其の地位を維持して失墜せしめさらむと欲せは新事態に應ずるの手段に努めざるへからず。

嘗てアレナンは支那内地の消費者か外國品の供給を受けざるの理由を述べて三管を挙げたり。第一支那内地の商業者か外國人に對立して互に合同を爲すの結果小資本を有する外國人か是れと競争するに耐へざること第二内地との連絡を開くに必要なる企業精神の欠乏せること第三英國商人等か其の本國の官廳より適當なる保護を受くる能はざるを憂ふること等これなり。

支那の貿易に従事する外國人全軀の利益とする所は先づ支那人の生活の實況を熟知し眞に支那人民の欠乏を供給するの道を講ずるにあり。支那の土地を開放し内地の工業を發達せしめ鐵物の採掘を盛にするに在り。斯の如くにして支那の輸出物を増加する時には益々支那に對する外國の輸入貿易を隆盛ならしむるを得へし。内地の支那人民に歐羅巴の貨物を知らしめ而して價格低廉にして品質善良なる貨物を之に供給する時は支那人は之を購買することを厭はざるに至

るへし。固より支那人は保守的なりと雖も其の利害に關する事件に就ては宗教的又は愛國的の僻見に陷るの弊なし。日本人の如く衣服を歐洲風に變ずるとを厭ふと雖も苟も品質佳良價格低廉なりと認むる貨物あれば其の何處より來るを問はず之を購買するに躊躇せず。且つ支那人にして苟も消費力あるものは皆奢侈品を消費するの欲望を具へざるものなし。支那人にして本國製の物品を撰ぶことあらは是れ其の價格低廉にして品質堅固なるか爲めなり。若し支那の内國産の物品より低廉なるものを提供せば毛織物又は木綿の類に至ても購買者を得ざるを憂へざるなり。支那人は保守的なりと云ふと雖も時計、燐寸、ランプ、赤毛布の如き外國品は僻遠なる内地に在ても常用する所となれり。然るに歐羅巴の製造家は支那人の欲望の那邊にあるかを知らず。又支那にある外國商人は内地に本國の産物の販路を開拓するの勞を厭ふを以て現今の常態と爲す。英國の製造者か舊例を墨守して改めざるは商業擴張の大支障たるを免れず。現今に於て支那に輸入する貨物に就き第一に注意すべきは其の價格を低廉にすることを圖むるにあり。支那人の性質たる節儉の風に富み且つ微細なることに

また能く注意するを以て二個の競争貨物の一にして少しく價格低廉なる時には該貨物は支那の市場に於て極めて大なる利便を有することゝなるなり。將來外國製造者の間に激烈なる競争の起らむとする今日に於て殊に這般の消息に留意せざるへからざるなり。鐵道の運賃、港灣の賦金、内地通過税等に就ては縱令微細なる特典と雖も之を得る時は支那に於ては極めて著しき利便となるなり。英國の支那貿易の價值如何の問題は嘗つて議論のありたる所なり。ロールド、パーム、ライストンは支那貿易の極めて有望なるを説き、ブライイト、コナデンの如きは將來の發達望むへからざるを説けり。然れども支那に於ける英國の貿易はコナデン、ブライイトの言に反對して四十年間に四倍以上の發達を爲し而して若し將來支那の内地を開放するに至らば其の發達の程度逆しめ料るへからざるものあり。千八百九十六年に於ける輸入品及輸出品の全價格は五千七百二十七万四千磅にして其の中英國の領地に關するものは三千九百二十七万千磅の多きに及び其他の國民の關する所僅かに千八百万三千磅を出てせるなり(右の中日本は四百七十九万五千磅露西亞は二百八十五万六千磅なり)是に依つて觀れば英國は支那に於

ける全外國貿易の百分八十二を其の掌裡に握れる者なり。支那に於ける英國の利害の如何に重大なるやは之を以ても察知するに足るべきのみ。合衆國は産業上并に政治上の點よりして支那問題に深き關係を有するものなり。其の支那に對する貿易の數量は千八百九十六年に於ては全外國貿易の七分一以上を占む。支那よりの輸入貿易は漸次其の數量を増加せむとし支那に對する輸出貿易は十ヶ年間に百分二十六の増加を爲し獨乙の輸出品に超ゆること實に百分五十以上に該るものあり。米國の木綿の輸出價格の二分一は支那に於て消費せらるゝものにして石油の支那に輸出する額も著しく是れか競争者として恐るべきものは今日に於ては唯だ露西亞の石油あるのみ。米國の支那に輸出する貨物の主要なるものは木綿及び石油なりとす。故に米國は均等の條件の下に立たずして賣込を爲すとの困難なる貨物を主として支那に輸入するものなるを以て英國と同じく支那の分割に反對するの地位を執らざることを得ず。何となれば貿易の盛なること彼れか如く又其の貿易貨物たるや露國又は佛國の支配權を有すへき亞細亞の港灣には之を賣込むこと困難なるものなればなり。

日本は産業上及び政治上に於て支那問題に關し重要な地位を占むるものなり。該國は年を逐ふて粗製品の輸入額及び製造品の輸出額益々増加せり。該國たる其の地素と農業に適せず又人口極めて稠密なるを以て農業よりも産業に望を屬せざるを得ず。故に該國の有識者は農業國たる現今の状態を一變して工業國たらしめむことに努力しつゝあり。其の貿易に於て得意とする所は産出貨物の價格低廉なるにあり。今日に於ては日本の識者は日本の他國に優る所の絹製茶美術品其の他手工を要する物品の産出に努むべきを説くもの多しとす。概言すれば日本は製造國として實際よりも寧ろ過重視せらるゝの傾きを免れず。日本に於ける商業上の道徳か支那に劣ることあるは著しき事實なり。又日本人には一たひ競争場裡に其の品質の優等又は其の價格の低廉なるを以て地歩を占むるに至るや否や忽ち品質を粗悪にするの弊あり。約束を守る點に至りても支那人却て日本人より信用を置くを得るなり。

日本は支那を以て其の最良の顧客と爲すこと固より然るべき所なり。然れども支那の市場に於て日本の全く其の商權を握る如きは決して期待すべからざるの

事にして現今に在ては日本に於ても輸出入の貨物却て支那人の手を経ること多しと爲す。亦石炭に就ても支那の競争は著しきものにして將來に於て支那産の石炭の日本に於て使用せらるゝの日あることを疑ふべからず。木綿に關しては日本は印度及び支那より原料を輸入せざるを得ざるを以て孟買及び上海の製造品よりも低廉なる品を出すこと困難なるべく殊に支那人にして外國人の指導の下に企業を爲す時には日本の産出品を壓倒すること容易なるべし。支那人の勞力は日本人の勞力に比して低廉なるのみならず。亦效力の多きこと疑ふべからず。

支那に於ける内地の賦課は外國貿易の一大障礙なり。其の最も害多きは支那の南部にあり。過重なる内地の賦金は外國貿易を窘束し開港場を去ると數哩以外の内地に及ぶ能はざらしむ。彼の釐金制度はシャミーンンの言ふ所に據れば元來適法の課税にして其の現今の如き形骸を以て行はるゝに至れるは千八百五十年頃を以て始めとす。然れども千八百六十年頃に至るまでは未だ今日の如く對る處に賦課せらるゝの甚しきに至らざりしか太平の優亂以後國家の經費を支

辨するの必要上普及的の制度となるに至れり。今日に於ては釐金の全躰は揚子江及び廣東の諸河江に於ける通商の負擔する所なりと言ふことを得へし。這般の事實は偶々以て支那の殷富の那邊に在るやを指示するに足るなり。今日に於ける支那の難多なる賦金を課するの制を改めて課税の統一を計らば其の利便たる極めて大なりとす。今日に在ては同一の貨物よりして數種の賦金を徴收することおれども是等は凡て之れを統一し且つ確定的のものと爲さるべからず。

今日支那の貿易の不満足なる状態を匡正するの道は政治上の地位に對する救済と其の趣きを同ふす。一言以て之を謂へば英人の政府として又は一個人として爲す事業の方法を根本より變更するにあり。政府たるものは須らく強硬果決の態度を執り以て信用を増進すべく個人たる者は拮据勉勵商業を内地に擴張せしむるを努めざるべからず。鐵道の布設、河流航行、鑛山の採掘等英人の伎倆に待つあるもの決して少しとせざるなり。製造業及び商業に就ては從來進歩の支障たりし所の支那風俗に自ら適應するを厭ふの念を抛ち其の事業の方法を根本よ

り刷新する所なかるべからず。之れが爲めには先づ支那人の状態及び殊に其の言語を知悉せざるべからず。又不愉快なる勞務を厭ふの念を去り微細なる業務も敢て之を辭せざるの用意無かるべからず。

支那に於ける英國の商業を振作するか爲めには殊に商業上の事項を掌る所の特別の官吏を派出するの必要ありとす。其の任に當るものは今日二十人餘の領事か個々に別れて執る所の業務を一人の手に收めて處理するの才能を有せざるべからず而して之れを任命するには商業監督者の形式を以てすべし。始め支那に使節を派するや實に此の如き業務を執らしめむか爲めには此の如き任命を爲したるなり。故に今日に於ては往時の制度を復活して之を今日に用ゆるの必要あり。任命を受けて商業の監督者たるものは商人より成る所の商業會議所と氣脈を通せざるべからず。外務省及び北京の英國公使も亦此の如き商業會議所と常に連絡を通するの必要あり。又商業の監督者たるには寧ろ實務に通するの人物を選まざるべからず。即ち徒らに統計を集め報告を書記するのみにあらずして汎く内外の商人に觸接し商業の實際的利益を進むることに努むるものならざるべからず。

らす。若し斯底の人物にして監督者たる任命を受くるあらむか商人の信用を博するのみならず兼ねて其の企業を鼓舞することを得べく其の結果たる益し意思の外にあらむ。

第六章 結論

本章に於ては著者が抱懐する政治上の意見を説かむとす。英國か亞細亞に於ける一強國なることは蓋し疑を容るへからざるなり。然れども是れ英國人の十分に理解せざる所なり。亞細亞に於ける英國の領地は廣袤殆ど百六十万方哩以上に及び其の統治の下にある人民の數は無慮三億の多きに上り二十種の言語を有する人民を包括す。其の亞細亞に於ける兵力は歐人兵七万五千人土人兵十五万に及び其の海軍は日本を除きては如何なる國の海軍力に對しても優勝の地位に立てり。然れども特に注意を要するは英國の商業に於ける支那の地位の極めて重要なること是れなり。實に支那の全外國貿易の百分八十以上は英人の手に存す。即ち

毎歳三千二百万磅の貿易は實に英人手中のものに屬す。而して海峽殖民地、暹羅、支那、朝鮮、比律賓、日本、香港等に於ける英國の貿易額を合算する時は毎歳一億三千万磅の驚く可き額を得へし。極東に放下せられたる英國の資本は幾十億磅なるや殆ど得て知るへからず。而して是れ今日に在ては未だ十分に開放せられず寧ろ將來に於て擴張の望みある土地に關するものたるを知らは其の將來に於ける利害の絶大なるへきこと言を俟たざるなり。

露國の亞細亞に於ける領土は其の面積英國領地の四倍に達し六百万方哩を含むと雖も其の人口を比較せば單に千三百万を有するのみにして亞細亞洲人口の十分の一に當る。然り而して其の領地は經濟上の關係に於ては英國の領地に比せば幾むと共に論するに足らざるものあり。

今歐羅巴及び亞細亞に於ける英露兩國の面積人口を比較せば左の如し。

國	面積	人口
英國	一、二一、〇〇〇	三、八、〇〇〇、〇〇〇
亞細亞	一、六、一七、〇〇〇	二、九、二、〇〇〇、〇〇〇
露國	二、〇、九五、〇〇〇	一、〇、六、〇〇〇、〇〇〇
亞細亞	六、五、七五、〇〇〇	二、三、〇〇〇、〇〇〇

露國の亞細亞に於て有する領土の絶大なるに拘はらず人口の稀少にして土地の
 確かなることは會々以て其の圖南の志を刺激する所以のものなり。裏海の海岸
 を其の根據地とし人命の損害費用の濫糜を顧みず中央亞細亞を通過し印度に向
 つて交通の便を縦横に開拓し西比利亞及び黒龍江地方に於ては其の地歩を堅め
 て太平洋と歐羅巴露西亞との交通を完全にするのみならず一舉して直ちに支那
 十八省に逼るの謀を爲しつゝあり。毎歲其の地歩を固くし印度及び支那に對す
 る宿謀たる壓迫政略を實行して先づ其の必要とする所の大陸に於ける軍器上の
 地位及び東西兩洋に於ける港灣を得むとす。故に西比利亞鐵道及び其の支線に
 して完成せし露西亞の進歩たる更に刮目すべきものあるべし。而して東部亞細
 亞と露國との商業に至りては殆むと支那より輸入する製茶の貿易に限られて復
 た他に及ばず洵に言ふに足らざるなり。

實に東方問題に於て音なく絶へず働きつゝある勢力は露國の抑ゆへからざる野
 心にして北極白霜の地より公海豊饒なる平原及人口稠密の地に向つて常に進行
 せむとす。斯の運動たるや亞細亞を横斷しボスポラス海峽より黃海に達し其延長

七千六百哩の連続せる長き線條に沿ふて土其格印度支那並に波斯に迫らむとす
 るものなり。而して中央亞細亞及び西比利亞に於ける確確にして人口稀少なる
 曠原を横行する露國の侵略的歴史に至りては是に之を説くことを要せざるべし。
 吾人の今日に於て肥臆せざるべからざることは其の運動の既に目的地たる印度
 及び支那に肉薄せることは是れなり。而して其の進行の途次時に障礙に逢ふて頓
 挫を來すことあるべきも決して其の宿昔の志を捨てず幾百年代の星霜も以て其
 運動を熄めしむるに足らざるなり。

露國か這般の大運動を爲すや道に當るものは必ず之を挫き己れより強勢なる國
 の抵抗に逢ふて如何ともし難きに至るまでは殆むと無前の勢を以て濤然猛進し
 て休まざるなり。其の政略的軍事的の畫策は着々効を奏し今日に於ては既に其
 の運動の目的地たる亞細亞の最大殷富にして最大人口の稠密なる二國(支那及び
 印度)の壘に迫るべき地歩を得たり。其の一は英國に屬するものにして其の他の
 ものも亦英國の商業地の重なるものなり。而して露國は結局に於ては自國の商
 業を繁盛ならしめむと欲するものなるべきも劈頭先づ要する所は軍器上の目的

の爲めに港灣を求むるにあり。

中央亞細亞に於て露國は其の進路を塞ける幾多の弱小國を咄嗟に併呑し一方に於ては殆ど土耳其をして必死の窮地に陥らしめ更に道を變して東方支那に迫り若し之を妨ぐるものなくむは遂には之を呑噬せむとするの勢を示したり。此の時の方りにて英國たるもの應に亞富汗及び波斯を扶助するのみならず更に支那を扱くるに於て豈全力を擧げて事に從はざるへけむや。

露國の政畧たる亞細亞の最殷富なる二國即ち印度及び支那に對する有力の地歩を占め乘すへき機會ある毎に強迫又は強制を以て之に臨み以て其の志を逞ふせむと欲するにあり。英國の政治家及び兵畧家は動もすれば輒ち印度の西北境に於ける防備に心を奪はれて其の東方に忽せなるの弊を免れず。若し露國にして一たひ志を支那に逞ふせば印度の寶庫は復た英人手中の物にあらざらむとす。

露國は佛國の協力を得て今や實際に於て滿洲を獲得し朝鮮をして其の鼻息を窺はしむ。其の不凍港を極東に得たるは適々以て將來の侵畧心を熾むならしむるに足るものにして而して印度の地たる素より土人の不平を根絶する能はざるこ

とを思へば英國前途の爲め寒心せざるを得ず。且つ支那は英國商業の爲めに極めて重要な土地なるか故に若し他國の手中に落つれば英國は其の重要な商業地を失はざるを得ず。英國の支那に於て有する商業上の地歩は極めて重要なのみならず英國の人口益々増加し外國の競争今や愈々激しからむとする秋に當り遭般後來に於て益々商業の隆盛を來すへき土地を鎖さるゝに及ばば英國の國運に一大頓挫を來すや蓋し明なり。由是觀之支那に於て英國か有力なる地歩を占むるは是れ英國の必然爲さるゝるへからざる所にして支那問題は實に英國の爲めには死活の大問題と謂はざるへからず。况んや一とたひ支那にして露國の如き侵畧的國家の手中に落つる時は英國の亞細亞に於ける地歩を危殆ならしめ進て以て其の寶庫を失ふの危険に瀕せしむに於てをや。

由來印度と支那とは其の商業的及び平和的の傾向に於て一致し且つ共に資源に富むを以て互に有無相補はし其の裨益する所大なりと謂ふべし。且つや此の二國は軍事上の征服主義を以て刻々侵入し來る所の露國てふ共同の敵を有するを以て二國たるもの宜しく其の間の交通を密にし互に相知り以て其の共同の大敵

に當るの基礎を爲さざるへからず。此の如くして初めて二國の眞の利益を保護し亞細亞の平和を維持し得るに庶幾からむ歟。

若し露國にして一たび支那に併呑の慾を逞ふするに至らば其の人民と其の資源とを利用し以て東洋に於ける英國の寶庫を窺ひ之をして危殆の淵に瀕せしむべきは支那及び其の人民を知る人士の常に説く所なり。露國は殆むと半亞細亞的の國家と云ふべく能く亞細亞的政府に處する所以の道を解せり。北方に於ける支那人は露人に接觸すること頻繁なるを以て能く這般半亞細亞的なる人民を了解せり。露西亞人は其の風俗慣習及び思想に於て支那人に酷似する點極めて多く其の支那人との交通にも彼れ巧計を以てせば我れも亦巧計を以て之れに接し彼れ禮節を以て遇すれば我れも亦禮節を以て之れを遇し彼れ忍耐を以てすれば我れも亦忍耐を以て之に當る。これ其の相類似するを以てなり。露國政府は能く支那人の性格を知悉するを以て其の施す所の政策は着々肯綮に當るなり。蓋し支那の地たる資源に富み殊に鐵、石炭を多く産出するを以て鐵鋼及び汽船の材料を具へ又其の人民は農業、美術、製造業等の平和的業務に於て優れるのみならず

軍事上に於ても之を訓練し其の英氣を修養し其の給與を豊にし其の組織を整頓し而して之を率ゆるに拔群の將軍を以てせば將來必ず恐るべきの軍隊たらしむるを得べし。實に支那に於ては一大活力を陶冶するの材料を具へ只缺く所の者は之を指揮するの意思これのみ。若し指揮を以てこれに加ふれば恐るべきの勢力たらむこと必せり。故に露國にして之を利用せば古の成吉思汗の武舞を演せむこと豈啻に杞憂のみに止まらむや。

露國の事を東洋に擧げむとするや佛國の之れを扶くるあり。佛國は亞細亞に於て交趾支那、カンボチャ、安南及び東京を有し其の人口二千三百万にして東洋に於ける貿易の總額は毎歲千万磅以上に出てす。而かも其の大部分は英國商人の手を経るものなり。故に佛國は商業上の利害を東亞に有すること極めて少なしと雖も將來に對する企圖に至りては則ちこれあり。

佛國の野心は商業的且つ平和的にあらずして政略的且つ反抗的なり。商業の如きは其の首位を占むるものにあらず。今日に於ては佛人は常に殖民事業に蹉跌するの評を免れず。蓋し古に於ては佛人は印度加奈陀等に於て土地を拓き一時

英國と殖民に就て頓顛したることあり。其の敢爲の風に富み強悍の性を有するは的に佛人の長所なれども新國土に自己を適應せしむるの能力に乏しきは其の短所にして是れ實に殖民事業に於ける蹉跌の大原因なり。彼等は風土民情を異にする殖民地に在ても尙ほ本國の法政を布かむとし其の殖民地の管理者たるもの材幹あり信用ある者鮮く且つ組織の不完全は行政の費用を要すること極めて多大なる所以なりとす。

蓋し諸國の殖民的擴張の形勢を按ずるに英國は商業を以て始め而して時としては戦争を以て其の業を結ぶ。佛國は戦争を以て始め而して遂に之を脱するを得ざるか如し。露國は外交を以て終始し若し意を得れば平和的に同化し意を得ざれば則ち倭ち事を干戈に訴へて毫も殘忍の云爲を憚からず。

今日に於ては歐洲諸國間の嫉妬敵對の舞臺は土耳其よりして東方支那海に移れり。英國に對しては將來の東方問題につき西方より露國、東方より佛國の相同盟して印度の境土に肉薄するあるを忘るへからず。

英國の人民は往々地の遠くして地理學の智識に乏きを以て東洋に於ける英人の

利害關係の果して那邊にあるかを了解せざるものあり。然れども極東問題は英國の死活問題にして支那にして一たひ敵國の手に歸せば遂に印度をも失ふの悲運に陥るなきを保せざるなり。されは今にして宜しく之れか處置を爲さずむは竟に憂患を後世に貽すに至らむ。英國人たるもの豈深く支那問題に注目せずして可ならむや。

千八百九十六年十一月以來獨逸は其の所謂自ら生活し且つ人をして生活せしむるの主義を東洋に實行するの事實を示し露國との間に於て互に相妨げざるの默契あるを察知するを得たり。而して佛國は前述の如く常に露國を幫助するの態度を執るなり。是に於てか英國は遂に支那に於て全く孤立の地位に立たざるを得ざるに至れり。彼の露獨佛の默契は相互的利益交換主義を基礎とするものにして其の利益たる露國にありては領土的、獨乙にありては商業的、而して佛國にありては政略的なるものなり。結合の基礎は露國にして其の目的は疑もなく英國の力を殺くにあり。爾來三國は其の意を専らにして英國の施設に妨害を加ふ。日本は靜かに形勢を觀望して軍備を擴張し以て緩急に備ふ。英國の當局者は樂

天的觀察を爲し緬甸支那間の境界の改正及び西江の不完全なる開放等所謂英國に對する讓與なるものを喋々せり。然れども緬甸より支那に達するの鐵道を布設するの計畫に至つては殆むと施設する所なく揚子江の上流は依然として開放せられざる状態にあり。

現今の状態(本書の千八百九十八年に出版せられたるを記憶すへし)に於ては露國は實際に於て外に對し恰かも支那の保護者たる如き地位に當り而して佛國は盛に之れを扶け獨逸も亦露國と利を分つるの政策を執るなり。蓋し獨乙の露國に抗せざるの勢を示したる理由は一は佛國の同盟國たる露國を怒らしめざるか爲めにして亦一には獨乙か露國に反對するに於ては支那に於て利益を收むると能はざるを知るか爲めなり。千八百九十五年に於て支那に對し露國の與へたる援助(遼東半島遼東の間に於ける露國の助力を云ふ)に次くに攻守的の協諾を結ひ援目なき政策を行へるを以て北京に於て其の勢力今正に隆々たり。蓋し露國と支那との協諾の主たる事項は第一攻守同盟第二滿洲を經過して西比利亞鐵道の支線を布設すること第三旅順口大連灣の防備を充實し又膠洲灣に防備を設け凡て其

の費用は支那政府をして支辨せしめ必要ある時には此等の港灣を露國の用に充てしむること等ならざるへからず。是れ即ちカシニ一條約にして露國政府は今に至るまで其の存在を公然否認せることなし。露國の北京朝廷に勢力を振へるや洵に著しきものと謂ふべし。

英國の露國に對する政策は實に其の計を誤れりと云はざるへからず。英國人は動もすれば空言に迷ひ實際に迂濶なり。東洋の事情を知るの設備を欠けるか如きは吾人の失計を致せる原因の一なりと云はざるへからず。然れども最も英國の欠點とする所は政策の一定せざるのみならず之れを遂行するの實力に乏しく又遂行の任に當るの人を得ざるにあり。埃及に於ては一定の計策ありたるのみならず又二万の兵力あり而して當局者其人を得たるを以て成效を得たるも支那に於ては未だ此の三者を兼ねざるのみならず當局者に至りても其の人を得たること稀なり。且つや英國に於ては外交官たるもの常に議會の形勢に顧慮せざるを得ざるを以て外に對して強硬の政策を遂行すること困難なり。是に於てか英國政府は彼のポポースキーか云へる如く露國人を擧擯するに盡瘁するの外觀を

張ると同時に輿論を緩和すへき談判に依つて局を結はむと欲するの弊を生ず。故に歐洲及び亞細亞に於ても露國の政策は進取的にして容易に挫折せざるに拘はらず英國は唯た現状維持を努むるの外に復た一步を出すを知らず。蓋し英國の極東政策にして其の舊慣を改めて世界的政策の一部分たらしめざるに於ては遂に失敗に終らざるを得ず。而して吾人の外交を扶くするには又必ずや海陸軍の實力を以てせざるへからざるなり。

若し英國にして之を扶けされれば日本は到底單獨に露國に反抗するを得ず。况むや露國及び其の與國との合同力に對抗するに於てをや。東洋に於ける權力の平均を維持するに就て其の英國の力に信依すること尙ほ英國が日本の之れを爲さむことに空しく依頼するか如きものあり。固より日本は英國と共同の利害を有し或る事情の下に於ては貴重なる與國たるを失はされども日本に依頼すること多きは抑も智者の計にあらざるなり。

英人容易に同盟に就て喃喃す。露國との同盟を説くものあり。佛國との合同を談するものあり。獨乙との協商を語るものあり。亦日本との同盟を喋々するも

のあり。然れども同盟なるものは必要に應じて直ちに形成し得るものにあらず。其の成るや決して一朝一夕の故にあらず。同盟のこと豈に輕々に論すへけむや。露國は其の半亞細亞的なるよりして又其の人民の多く支那人に親炙するよりして能く支那政府の弱點を知れり。故に其の外交は常に能く着々功を奏することを得たり。支那人の日夜教へらるゝ所は露國の大陸的強國にして獨り支那を保護するの任に堪ゆるものなること亦露國が其の約束並ひに其脅迫を實行すること亦英國が言語を先きにして實行の之に伴はさることこれなり。實に露國は自己及び其の與國に代價を拂はしめ以て支那を保護するものなり。之を以て見るも支那政府の微力にして露國政府の強勢を有することを察するに足るなり。若し英國にして十分なる政策を行はさるに於ては支那朝廷及び其の官吏は露國に蔽はれ日本の勢力を免れむと欲するの結果露國の手中に落つるなきを保せず。露國は一方に於ては他國に對し支那を保護するを聲言しなから他方に於ては歐羅巴に對し自ら黄色の危険に對する耶蘇教の藩屏なりと稱せり。

現今に於て支那は實に根本より其の社會上政治上の典章文物を改むるか又は舊

來の慣例を墨守し一步一步歐洲人の壓迫に抵抗するか二者其の一を擇はざるを得ざるの境遇にあり。而して支那は實に第二策を擇ひ改革と實際の防備の完成とによりて自ら防禦するの道を取らずして歐洲諸國相互間の敵對心と實際利害の衝突とを利用し相互の猜忌心を相衝らしめ其の間に自家の欲する所を行はむとするなり。由來支那人は外交の術に至りては殆むと知らざるなきを以て之に頼りて自ら守らむとするなり。然れども是れ斷して支那百年の長計に非ざるなり。

露國の東方に進むや其の歩武常に大平洋に向へるものなり。然れども亦決して南方支那を忘れず。實に其の殷富の平原四通八達の海港未だ開發せられざる無限の資源は露國の常に垂涎する所なり。次に求むる所は支那土耳其鞏及ひ蒙古の征服にあるへし。之に次ては西藏に欲を逞ふせむとするなるへし。佛教徒の精神的中心なるラスサは政治上に於て蒙古並に西藏の中心たるへき地にして露國は既に之れに着眼し年々所謂學問上の探検隊なるものを派出してカシガリヤ又は西支那よりしてラスサに達するの道を探究せしむるを以て見るも其の志

の在る所を知るに足るなり。露國にして西藏に據らばこれ英國の爲め洵に寒心すへきことなりと云はざるへからず。露國にして既に北支那に其の勢力を扶植せる以上は英國か西藏及び西南支那に其の勢力を張るは一方に於ては印度及び緬甸の保護の爲め他方に於ては中央支那に勢力を有するか爲めに極めて必要なりとす。若し露國にして支那を掩有し其の人民と資源とを利用するに至らば露國の勢力たる何者も得て之れに抵抗する能はさらむとす。此に至りては歐洲全眸も亦爲めに震駭せざるを得ざる所なり。實にメドーは千八百五十年に於て既に言ふあり。曰く「支那はマセトンの歴山大王か彼斯を征服したる如く先づ露國の皇帝により征服せらるゝの運に逢ふへきか如し。今に於て英國合衆國及び佛國は其國力を悉して露國と戦ひ以て露國の支那征服を妨げざるへからず。若し露國にして一たひ支那を征服せば即ち直ちに是れ世界の主人となる所以なればなり」と。露國の西比利亞鐵道の如き英人は之を輕々視するもの多しと雖も其の漸次支那の貿易に影響を及ぼすこと益し至大なるへく殊に歐羅巴の諸都府と世界の人口三分の一を占むる支那日本朝鮮の諸都府とを連絡せしめ二週間を以て

相往來することを得せしむるに至らば其の影響する所極めて大なりと云はざるへからず。

露國は後來廣漠なる領土の鎮撫並ひに鐵路布設の事業等極めて大なるを以て却て有力にして自己に危険を及ぼさざる獨乙の如き與國か山東半島に根柢を据ゆることを喜へり。且つ露國の軀面を修飾するに巧なるや支那の領土軍港を占領しなから尙ほ支那朝廷をして憂を抱くことなからしむ。

支那に於て露佛及び支那の三國は互に氣脈を通し加ふるに現今に於ては獨乙の之れと一致の歩調を取らむとするあり。佛國の範域は南方支那雲南及び四川をも包括せしめむと欲すにして露國獨乙の範域と相衝突することなし。輓近に於ける諸計畫(旅順口、大連灣、膠洲灣)の租借等を云ふは實に好時機を撰へるものにして當時英國又は日本をして遂に之れに抵抗する能はざらしめたり。蓋し當時英國は阿弗利加の各處及印度の西北境に事あり。又日本は財政上至大なる困難の境に陥り其軍備も未だ完成の域に達せざりしを以てなり。人或は最惠國條款の支那に適用せらるゝを以て他國か特別の利益を受くるは英國の爲めに強ち憂ふ

へきにあらすと云ふものあり。然れども旅順口、大連灣の如き又は膠洲灣の如き港灣に於て露獨等と均等なる權利を得るか如きは實際に於て能はざる所なり。

是等の地に於ては他國豈租借の權利、鐵道、鐵山に關する權利及び後地を軍事上の管理の下に置くの權利を露獨と均しく有することを得むや。或は旅順口、大連灣の極めて貴ふべきものにあらして露國は之れを得るも其の地位を強むるに足らずとなすものあり。然れども資源に富み且つ有望の人民を有する後地を利用するに至らば其の結果たる恐るべきものあるを知らざるへからず。或は膠洲灣及び其の後地も亦貴ふに足らざるを説くものあり。然れども鐵道を布設し鐵山を採掘し其後地の地力を開發するに至らば後來頗る恐るべきものなること彼の上海の地位と其の沿革とに見るも之を知るに餘師あるへし。而して滿洲に至つては何人と雖も其の有望にして之れを獲得せば以て大利得を占め得べきことを否むものなかるへし。

支那に於ける輓近の事件は英國の爲めに益する所なきにあらす。然る所以は稍々支那の真相をして英人の目に映するを得せしめたる點にあり。而して未だ支

那に於ける政策を確定するに至らずと雖も英國の利害の繋る所那邊にあるやの點に至ては能く之を覺るに至れり。英國の利害は商業的にして領土的にあらずること並に吾人の要求する所のものは他國と均等の利益を受くるにありて獨り除外せらるゝことなきを求むるにあること一般に認めらるゝに至れり。即ち吾人は凡ての國と其の利を共にするの主義を確定するに至れり。蓋し英國の如き國に於ては輿論の歸向する所によりて所謂政策なるもの始めて定まるものなれば殊に斯の如き國にありては外交方針に關する事項の輿論並に政府の知悉する所となるは極めて必要なりと云はざるべからず。

マコレー嘗て英國の國民的性格を叙説して曰く「凡そ二十年にして一九一〇年其の銳氣を振ふとあるも忽ちにして富人の如く怠惰の狀態に復歸す」と。洵に至言と謂ふべし。英國人たるもの彼の支那人の云爲に倣ふべからず。支那人の思想に於ては治は爲さるにあり。即ち無爲を以て統治の理想と爲すものなり。是れ決して英人の採るべからざる所にして今に方りては宜しく精力を盡し其の利益を進歩保護することに努力せざるべからず。然るにも拘らず過去に於ても現在に

於ても英人は常に之を是れ怠るなり。

均等の貿易主義なるものは理論上賞賛すべきものなりと雖も其の適用に至りては果して如何なるものなるか若し其の主義にして或る意味を有するものとせばこれ均等なる貿易を其の地に於て許すにあらずれば他の國家が新たに土地を獲得するを戦争の危険を冒しても否認せむとするものなり。外國たるものは英國の斯の主義を取るを見は尙ほ過去に於ける如く將來に於ても吾人に満足を得るの約束を爲し以て一時を糊塗し其の約束を破るを得るの日に至らば直ちに之を破るを憚らざらむとす。現今に於ては他國も支那に於て有する土地の安全にあらずるを知る。然れども今より十年を経るに及ばずして少なくとも露國に至りては英國の海上の權力を恐れざるの地位に立つに至らむ。既に此の時に違せは吾人に對する約束も之れを蹂躪して顧みざるや明かなり。英國は勢力範疇なるもの、支那に於て實際行はれつゝあることを承認するを拒めり。佛國及び獨逸は屢々其の勢力範疇に就て説く所あり。露國の之を説かざるは偶々以て其の缺點の意味深長なることを表はすものなり。英國が徒らに理

論に拘泥し所謂條約上の權利なるものに重を置くに過ぐる如きは復た危ふからずや。英國の這個の態度は徒らに露國をして支那に於て地歩を堅ふせしむるの時日を與ふるものなり。何となれば英人の餘りに字句に重きを置くに過ぐるや露國は則ち其の支那に關する條約に於て英國の視聽を聳かすか如き字句を置めて避くるに至るへければなり。然れども實際に於て露國は滿州朝鮮のみならず北方支那を利用し遂に現今に於ける不確定の支配を變じて北京よりする確定的の支配となすに至らむとす。蓋し今日の首府たる北京は其の地位不便なりと謂はざるへからず。今日に於ては實際上露國に餘り近くして其の勢力の及ぶこと度に過ぐるを以てなり。

嘗て露國は太平洋上一不凍商港を得るを以て満足したりしも旅順口及び遼東半島を其の手中に握れる今日に於ては更に之を以て満足すへきにあらす。今や露國は北支那及び朝鮮に於ける凡ての港灣並に後地に垂涎するものなり。而して其の之れを得るに至らば益々其の慾を大にして南方に志を過ふせむとするに至ること火を睹るよりも明なり。露國を掣肘するに區々たる字句言語を以てする

如きは固より何等の効ある莫し。英國の得たる紙上の讓與の如きは深く顧むに足らざるなり。

現今に於て北方には露國の運動あり。南方に於ては佛國の運動あり。而して又獨乙の其の間に立ちて着々地歩を占むるあり。而して又露國の専心して其の鐵道を急速に延長せむとするあり。(西比利亞鐵道は四年内に完成せらるへく滿州鐵道は六年内に完成せらるへし)北京に於ては露國の勢力隆々として殆むと支那を拉して其の質たるか如き地位に置くあり。斯の如き事態に際して果して如何の策に據て以て當面の時局に處すへきかは蓋し極東問題の要點なり。

英國にして中央アフリカに土地を拓かむと欲せば極東に於て十分に其の利害を防禦すること能はざるへし。然れともアフリカの地たる素と白人の住居に適せす。又英國の爲めに商業市場たるものにあらず、吾人の中央アフリカに於ける經營は首として領土的にして商業の如きは彼の野蠻の地に於ては到底多きを望み得へきに非らず。今東亞の經營と中央アフリカの經營と二者其の一を撰はざるを得ざるの地位に立たは宜しく中央アフリカを捨て、東方亞細亞を取るへき

なり。然るに英國人中動もすればウガンダ(阿弗利加)に鐵道を敷くを以て唯一の必要と爲し却て世界に於ける最も人口稠密なる二國即ち印度及び支那を連絡するの極めて須要なるを思はざるものあり。若し英國にして東亞に其の勢力を張らむとせば英國の財力と海權とは以て吾人の目的を達するに足るなり。現今の如き危急の地位に處するに當りて英國は益々支那を扶掖し而して其の言に聽かしむるの權力を備へ好機會に乘して之を行はざるべからず。這般の所思を遂げむと欲せば在來の如く軟弱なる外交を以てすへきに非らず。英國の外交たる支那に對して屈辱を忍び條約上の權利を蹂躪せらるゝも猶ほ且つ強力を以て之を強制することを爲さず徒らに援助を與ふるを聲言し支那をして露國に反抗せしむるのみにして曾て其の聲言を實にすることなし、是に於てか支那人をして英國外交の遂に信依するに足らざるを思はしむ。斯の如く過去に於て失敗せる英國の外交は將來に於て遽かに改善を期し難しとす。吾人は吾人の得むと欲する所のものを定め而して又之を得るの方法を定めざる可らず。今や政治上、經濟上の競争劇甚を極むるを以て復た昔時に於ける如く失敗を重ねて尙ほ最後の

成功を得るか如きを望むべからざるなり。吾人は今日に方りて須らく斯の新事態に應ずるの途を講せざるべからず。而も商業的、海權的國民の探るべき道は明白なりと謂ふべし。蓋し其の政策たる宜しく三億五千万の人口より成る市場を開放せしめ其の目的の爲めに若し必要あれば強力を加へても全世界並に清國自身にも利益ある處置を探らしむるの目的を以て其の北京に於ける地位と勢力とを強むるにあるべし。斯等の處置中其の首たるものは鐵路又は水路交通の手段により其の國土を外國の企業並に資本に對して開放するにあり。これ又實に行政上改良の前定問題たり、何となれば有効なる交通にして存せざる以上は行政の改革到底行はるべからざればなり。而て若し斯等の處置にして一たひ確立するべからむか行政上の改良の如きは又を迎へずして自ら釋けむのみ。支那か國內の交通を開くに就て毫も難澁なる反對を存せざることには既に露國、佛國、白耳義のシンヂケート等に鐵道を布設するの權利を與へ獨乙にも亦鐵路の布設と鑛山の探掘とを許容したること等に見るも之を知るを得べし。

方今は實に支那を強制して其の國土を開放するの卓見ある政策を取らしむるの

時期なり。商業國にして此の如き處置を強ゆるは固とより其の當を得たるものにして之れに依りて得る所の利益を獨占するか爲に非ずして支那の安全、全外國も確實なる方法は世界の重なる商業國たる英米獨の資本を是に輸入するにあり。又鐵道を以て英國の陸上根據地たる緬甸海上根據地たる香港を揚子江の上流と連絡せざるへからず。此の如き連絡は支那の安全及び印度の保持にも共に必要とする所なり。又其の水路は到る處涼船の交通を開かざるへからざるのみならず中央及び南部支那の鑛山をも採掘せざるへからず。之れか爲めには英國の資本家、製造家及び商人たる者精力を盡すへし而して政府も亦力を盡して之を援助せざるへからず。

論して是に至り更に極東に於ける政治上の地位の大綱を附説せむとす。數年ならずして歐羅巴露西亞は太平洋と連絡せらるへく西比利亞及び滿州の領地は南部滿州を通過して遼東半島と連絡せらるへく、該半島の後地は鐵道の通ずる所となり其の段富なる鑛物の資源は發達の緒に就くへし。旅順口大連灣等の

後地を守護して兼て北京及び北支那一帶を威壓するに足るへき露國道般の軍器上の地位は全く其の防備を完成せらるへし。朝鮮は既に租上の一塊肉となりたり只た後日の處分を俟たむとす。日本は行動自由の虚觀に瞞過せられ又兩國共に均等の利益を受くてふ主義によりて誘惑せられ南方にのみ其の視線を注かむとす。獨乙は膠州よりして其の後地を開發し而して其の歐羅巴及び支那に於て有する地位により却て四方を顧慮せざるを得ざるの地位に立たむとす。斯底の地位を脱するの機會は偏に英國と一たひ協商を爲し以て其の地位の大變動を致すの時に捉へざるへからず。佛國は南方に於て露國の同盟者として其の政治上の計策を行はむとし爲めに英國の企畫せる緬甸と揚子江上流との連絡を妨げむとするのみならず又英國か香港の西方及び北方に於ける後地を通して西方に於ては雲南北方に於ては揚子江の中流と連絡を取らむとするの計策を妨げむとす。日本は朝鮮に關して露國と協商を爲し露國に煽動せられて福建省に據り更に其の後地を得むと欲すへし。

次に來るへきは露國の蒙古を支配することなるへく而して亦英國の爲めに妨害

せられずむは西藏をも支配するに至るへし。事若し是に至らば復た揚子江流域に至る西南支那を救ふの途なけむ。斯かる事情の下に於ては英國に取りて殊に揚子江流域に全然其の地歩を占むること最重要の問題にして死活の岐るゝ所なりと云ふも取て過言にあらず。揚子江流域に其の地歩を固むるには上部揚子江を有効に占領し而して揚子江に沿ひ及び西江に據り香港よりする吾人の交通を發達せしむるのみならず。鐵道の連絡によりて上部緬甸及び其の地方を通過して印度及び中央支那に至る交通を發達せしむるにあり。

極東方面の分野既に此の如し英國、米國、濠洲及び獨乙の如き諸國たるもの極東問題を研究するに方りて須らく精力を盡さるゝへからず。歴史は夫れ自身を繰返す。成吉思汗及び其の後裔が建設せる古王國の歴史を精探研究して以て大に得る所なかるへからず。露國は現代の方法を取り成吉思汗の王國を征服せむとす。而して露國の皇帝にして一たび支那の皇帝を兼ねるに至らば彼の韃靼征服者の爲を襲ひ歐羅巴及び東西南の亞細亞を蹂躪するに至るへし。

商業的諸國民は今や其の迷夢を覺醒し袂を投して起たさるへからず。若し露國

にして其の鐵道を南方滿州及び蒙古を通して敷設するに至り而して英國が若し南方に於て之れに應ずるの運動を爲さるゝるに於ては忽ちにして英露の中間に位置して兩國の衝突を妨ぐるの國土を失ふに至るへし。而して露國にしてオクザス河上流より揚子江流域に至るまでを掩有して印度と境を接するに至らば吾人にして西南支那を十分に占領し堅く茲に地歩を占むるにあらざるよりは印度の寶庫は實に危殆の地位に瀕せざるを得ず。

蓋し世界統一的帝國の計畫は其完成の時機なかるへしと雖も露國人の抱懐する統一的帝國の空想中には昔時に於ける幾多同種の空想中に於て未だ曾て存せざる所の一分子ありて存す。斯の露人の空想たる一人の力に頼むにあらず亦一代の計畫に依るにあらず。露國人の野心は其の一億万以上の人民の思想中に深く其の根底を有する者なり。縱令其の事の成效に遲速ありと雖も遂に其の野心の遂行を妨げらるゝことなかるへし。且つや露帝國は現代に於ても古代に於ても比類なき堅固なる組織を有するものなり。其の領域一尺を廣むれば其の一尺たるや分つへからざる全軀の中に包含せられて復た敵國の側面又は裏面より之を

競ふ能はさるの形勢を備へり。且つ古より北風を背にして戦ふ所の人民は非常なる利便を有すると歴史の指示する所なり。彼のコフデンが英國は露國を故紙の如く容易に粉碎するを得へしと云へるの言は實に英國人をして一大迷誤に陥らしめたるものなり。吾人今に於て疾く其の迷夢を醒さされは或は恐る深憂大患を後世子孫に貽すべきを。

若し英國にして其の地歩を維持して失はざらむと欲せば其の之れを取得せる如き強硬にして果決なる政策を實行せざるべからず。宜しく亞富汗に於ける地歩を固め印度に於ける歐洲兵を増加し以て優に土人の反亂を防るに足らしめ東方に於ける危険を豫防するか爲めに必要な根據地と交通線とを準備せざるべからず。

三百年間英國は佛國と戦ひ遂に今日盛大の源を開けり。吾人今に於て露國の爲めに支那より驅逐せられ遂に國運窘盛の悲境に陥るを防かむか爲めに露國に敵對するを敢てせずして可ならむや。若し一たひ支那にして露國の手中に落つれば亞細亞全土は擧げて露帝の配下に歸すること復た長日月を須たす。而して全

世界は遂に露國の統一する所とならむ。然も若し英國にして能く自ら守るの途を忘れずアングロ、チエトニック人種を延て其の援と爲し以て全力を盡せば能く該人種全軀をしてスライザ人種の權力の下に立つの悲運を免れしむることを得ざるにあらず。

著者の所説は概ね茲に盡きたり。要するに著者の極東問題に關する見解に依れば英國と露國との間には決して避くべからざる利害の衝突あり。即ち露國は其の自然の慾望よりして印度及び支那を併呑せむと欲するものとなし、而して支那は現今に於ても英國商業上の利害の繋ること極めて重大なるのみならず將來に於ても國土を開發すれば益々商業の發達を見るの希望ある地にして英國の人口益々増加し他國の業國に對する商業上の競争愈々劇烈なるを致さむとする今日希望ある支那の地を英國の商業に對して閉鎖さるべしことあらば英國國運の衰頹を致さるべしを得すとなし、且つ露國にして北支那を占領し而して其の資源と人民とを利用して遂に支那全土を掩有し之を其目的の爲めに資するに至らば印度の寶庫は遂に支ゆる能はざらむとするか故に商業上及政治上よりして支那を

露國又は其の與國の手中に陥らしめざるを絶對的に必要なりと爲せり。而して之れを爲さむ爲には支那の西南部並に揚子江流域一帶の地に向て鞏固なる地歩を占め北方より浸漸し來る露國の經略に對抗して極力南方を經營せざるべからずして之れか爲め焦眉の急とする所は即ち交通の便を拓くに在りと爲せり。而して支那の果して分割せらるべきや否やの問題に關して著者は結局に於ては竟に分割の厄運を免るべからざるを信するものゝ如し。著者か支那扶掖を囑々するの眞意は蓋し之に依て一時支那政府を露國及び其の與國に對して扶掖し其の間に於て普ねく南方に英國の勢力を樹立し依て以て將に來るべき分割の危機に應ずるの道を講せむと欲するにあり。尙ほ著者は未だ人種的感情を擺脫する能はずアングロ、ロヂエトニツクたる英、米、獨等を援て之れを結合し以てスライヂ人種たる露國に對抗せしめむと策かるものなり。

一六〇

最近之支那大尾

明治三十四年六月二日發行

明治卅四年五月三十日印刷
明治三十四年六月二日發行

定價金三拾五錢

譯者 立 作 太 郎

發行者 高 田 俊 雄
東京市牛込區赤城下町二十七番地

印刷者 佐 久 間 衡 治
東京市牛込市谷加賀町一丁目十二番地

發行所 東京專門學校出版部
東京市牛込區多摩郡戸塚村
大字下月橋六百四十七番地

印刷所 株式會社 秀英舎第一工場
東京市牛込市谷加賀町一丁目十二番地

東京市牛込區多摩郡戸塚村
大字下月橋六百四十七番地

發賣元

博文館

東京市日本橋區本町三丁目

發賣所

有斐閣

東京市神田區一ツ橋通町

同

東京堂

東京市神田區袋町

同

吉岡書店

大阪市東區備後町四丁目

新法典正文 全二冊

民法之部 六版
●法例●民法●民法施行法
●人事訴訟手續法●外三法
●第一冊價四十五錢●郵税八錢

商法之部
●國籍法●商法●商法施行法
●商標法●海商法●郵法
●全一冊正價廿八錢●郵税六錢

獨逸新民法正文 全一冊
正價 金壹圓 郵税 拾四錢

獨逸民法は歐米先通國の法典中最も完全なるものと稱せられ我新法典の如き主とし獨逸に採れるは人の識八百餘頁の六冊二千三百餘文と四百七十三條の最新の法典を翻譯したるもの行文明確なり斯等條文よりなる皆最新の法典を翻譯したるもの行文明確なり

學海 依田 百川序
省軒 龜谷 行引
晚香 菊池 三九郎編

文章真訣 全一冊
正價 金七拾五錢 郵税 八錢

和漢古今の名文及文法 收す此書
此和漢古今の名文及文法を網羅蒐の外には名文學者必讀の書

新刊廣告

瑞西法學博士野澤武之助 共著
國際法專攻山口弘一
早稻田 國際私法論 全一冊

觀察周到議論縱橫輓近の法理を紹介して
餘蘊なきのみならず我國私法の規定に對して其關係する所を指示し

發行所 東京牛込 早稲田 東京專門學校出版部
發賣所 日本橋區 本町三丁目 博文館

米國古倫比亞大學教授 吳文 聰譯
日本 社會統計學 全一冊

統計は社會に關する學問の研究に缺くべからざる尺度にして、この尺度の應用充分ならずんば政治學、經濟學、將た社會學の研究到底確實なる能はず本書は米國統計學の大家古倫比亞大學教授メーロー、スミス氏の名著「スタチスチクス、アンド、最近の人口統計を基礎とし之を社會の現象に當て」

統計學及び社會學を修むる者の參考に適するのみならず初くも政治經濟に志すのみに亦缺くべからざる參考書なり今や本校統計學者として有名なる吳文聰氏の翻譯を得て之を出版す希くは四方好學の士等に一本を座右に備へられんことを

發行所 東京牛込 早稲田 東京專門學校出版部
發賣元 日本橋區 本町三丁目 博文館

歴史叢書發行の趣意

本校出版部は史學專攻の諸名家に囑し『歴史叢書』の名の下に左の諸歴史を出版せんとす其趣旨とする處は世界的觀念の發達て國民教育の一大主眼を貫徹するに就て裨益する所あらしめ且つ諸専門學科就中政治、經濟、法律、文學の諸科を研究するの基礎として必要なる歴史的知识の普及を計らんとするにあり二十世紀の日本國民は特に世界を知らざるべからず史的智識に基かざる空論妄斷は遂に有害無益たらずんばあらず世間有益の士幸ひに余輩と感同ふし『歴史叢書』出版の舉を贊助せられなば當に余輩の幸福のみにあらざるなり

希臘史 文學士 幸田成友編
羅馬史 淨田和民編
英國史 松平康國編
佛國史 長田忠一編

獨逸史 文學士 隈本繁吉編
露西亞史 高田早苗校閱
伊太利史 文學士 坂本健一編
西班牙葡萄牙史 文學士 村川盛國編
荷蘭白耳義史 文學士 坂本健一編
北歐史 文學士 高桑駒吉編
土耳其波留汗史 長田忠一編
米國史 小崎弘道編
中央亞細亞史 長瀬風輪編
印度史 文學士 高桑駒吉編
清國史 文學士 矢野仁一編
近世殖民史 文學士 河合弘民編
英國憲法史 松平康國編

新刊廣告

山本利喜雄編著
高田早苗校閱

露西亞史

第一編 全 正價金壹圓廿五錢
郵稅金拾四錢
背皮金文字入上製 五百頁 石版地圖挿入

(來十月中旬發行)

本校が歴史叢書を發行するの主旨は大略上述の如し而して其第一編として露國史を出すの理由は他に非ず近來世界に於ける露國の勢力は熾々として烈日の如く特に其東洋に於ける近時の活動は全世界の耳目を聳動せしむるに足るものあり然れども建國以來其歴史は暗黒に掩はれ露國なるものは『大なる怪物』の如く見做され其真相を得て知るべからず特に利害の關係密接なる我同胞間に於て露國に關する知識最も乏しきを免れず是れ本校が歴史界の爲め又絶東近年の形勢に鑑みて我國民の爲め深く遺憾とする所にして今此露國史を上梓するも一は之が爲めなり、本書は山本氏が方今歐米に於て露國史のオソリテイと稱せらるラムホード氏の名著を基とし傍ら博く東西の史書を參考して編成したるものにして露國建國以來今日に至る盛衰消長より其人情風俗宗教文藝に至るまで博覽詳叙す所なく『大なる怪物』の本林は本書に依りて全く明かりなりと謂ふべし左れば從來露國史の欠乏に苦める學者は勿論東洋の風雲甚だ急なるの今日志を天下國家に存する人士の必ず一讀せざるべからざるものは本書なるべし

松平康國編著

英國憲法史

第二編 全 正價金壹圓廿五錢
郵稅金拾四錢
背皮金文字入上製 凡五百頁 石版地圖挿入

(來十月中旬發行)

世界に於ける諸立憲國の憲法は皆な範を英國に取る故に憲法に關する根本的研究を爲さん欲する者は必らず眼を英國憲法に嚮する可からず而して英國憲法なるものは所謂制定されたるに非ずして生長したるものなれば其起源と變遷と發達とを叙する英國憲法史の研究は最も肝要なり英國に於ては憲法の研究は即ち憲法史の研究に外ならざれば英國憲法史に關する名著大作甚だ多しと雖も我國には之に關する良著誠に乏しきを吾人の常に遺憾としたる處なり松平康國氏我專門學校に講師として多年憲法史を講義し諸書を涉獵して今や此の著作を爲せり乃ち其の世を裨益する勢からざるべきを思ひこゝに收めて歴史叢書第二編となせり世の篤學者幸に一本を座右に備へられよ

早稻田學會設立の趣意

早稻田學會は我が東京專門學校に關係ある諸士及び天下の同志と共に政治法律經濟及び文學上の問題を學術的に講究するを目的とし此目的を達する爲めに早稻田學報と稱する學術應用の評論雜誌を發行するものなり、願ふに我國最近數年間文運の隆興と共に政法文學の雜誌世に出づるもの千百箇ならずと雖も多くは時事を放談するに非ざれば徒に抽象的學理を空論するものに非ざるはなし而して輕薄放漫なる時事論の青年學生に害あつて利なきと共に幽玄深遠を銜ふ抽象的の文字の實際社會に無用なるは世人の夙々に知る所なり唯た夫れ青年學生にも實際社會にも共に有益にして又た必要なるは實際的學理と學理的の實際知識となり換言すれば學理と實際との調和を得たるものは是れなり早稻田學會は乃ち此調和を計るを目的として起り早稻田學報は乃ち政治經濟法律及び文學上の時事問題を採り來りて學術上より精細の觀察を下し正確穩健の論議を爲さんとするものなり四方同感の人士幸に本會の意を諒とせば下文の規約を讀て入會を吝む勿れ

早稻田學會規約

第一條 本會は政治經濟法律文學に關する諸般の問題を講究し傍ら東京專門學校と會員との關係を親密ならしむるを目的とす
第二條 本會は廣く東京專門學校に關係を有する人士を以て之を組織す
第三條 前條の外本會の趣旨を賛成し規定の會費を納むるものは會員たるを得べし

第四條 本會は第一條の目的を達する爲め月刊雜誌を發行して之を會員に頒布す
第五條 本會に雜誌編輯部を設け左の委員を置く(委員皆す)
第六條 本會々員たらんとする者は會費(雜誌發行費)を添へ其旨本會へ申込むべし但し會費は半々分を前納するを要す
第七條 前條の申込ある時は本會は會員證を添へ本會雜誌を送附すべし但し會員姓名は時々之を本會雜誌に廣告すべし
第八條 會費は左の割合を以て之を前納すべし但し郵券代用を謝絶す
半々年 金八拾錢 一々年 金壹圓五十錢
但會員外の者には一部郵稅共金拾五錢にて頒布すべし

第九條 本會々員は雜誌の頒布を受くるの外東京專門學校に定期開設する科外講義、法學部討論會、大演說會及び國會議習等に出席するの權利を有す

但し會費切れたる時は其月より雜誌の頒布を停止し尙ほ會費未納三ヶ月に渉るものは退會者と見做し以上の權利を停止するに共に其旨誌上に廣告すべし

第十條 本會發行の雜誌は早稻田學報と稱し其掲載項目大要左の如し
● 論 政治法律經濟文學に關する東京專門學校の講師校友其他諸名家の論說を掲ぐ
● 演 内外の碩學名家を聘して東京專門學校に定期開設する課外講義、大演說會、國會議習及び法學部討論會の筆記を掲ぐ

注意

● 本會發行の **早稻田學報** は議論の正大剛健なると記事の精確詳明なると材料の豊富なることを世間篤學者の歡迎を受け且つ來號(四十五號)よりは本校校友大會の決議により二千有餘の校友諸君が義務購読せらるゝ事を爲りたるを以て更に **一大良改** を加へ百二十餘頁の大雜誌と爲し江湖の眷顧に酬ひんとす

特に從來の會員諸君に告ぐ

前記の如く本會雜誌第四十五號より大改良を加ふると共に會則も多少改正相成り候へども從來繼續して本誌を購読せる諸君は特に之を會員と見做し從て會員の權利及び其の停止も前條の規定に準據すべきものに就き左様御承知可被下候

又第四十五號以後分送會費前納の諸君も前記の如く會費の改正に基き自然不足(一ヶ月分にて金五錢)を生ずる儀に付き至急御拂込みの程希望致候

明治三十三年九月

東京專門學校 出版部内 **早稻田學會**

主筆 國際法學會員 有賀長雄君

外交時報

●發行日每月十日 ●定價一部郵稅共拾六錢
●六部前金九拾壹錢 ●十二部前金壹圓七拾七錢
●既刊一號以下三十六號迄悉備●校外生其他本
●校關係者は他の出版物と同一の割引特典あり

今日外交問題は東洋清國事變に對する吾帝國の舉措は深く列強の環境する所に於て外交的智識の普及は刻下の一大急務なり吾國の實況を察するに國人の外交に冷淡にして列國の形勢に暗き博士前後四回海外に遊ひ英語に絶たりに有賀博士身を外交の研究に委ねる者此危機を見て歎する久矣幸にして同於に任じ又長く獨逸に留學し斯學に精通せる法學士中村進午君並に先年外交の報章に在りて吾平九郎君國今後の態度を定むるの資に供す幸にして毎號讀者の數を増加し其由來消長を審にし以て吾國唯一の外交雜誌の責務を盡さむとするのみ本紙掲載の事項左の如し

發行所

東京牛込早稻田東京專門學校内

外交時報社

近刊書目

法學博士 有賀長雄著	國際公法論	法學士 邁 若山 飛司著	商法要論
法學士 邁 ハッテール著	國際公法	法學士 邁 青木 喜三郎著	民法要論
法學士 邁 古川 五郎著	國際私法	法學士 邁 里玉川 三政著	手形法論
法學士 邁 フイオナル著	國際私法	法學士 邁 瀨田 忠三著	獨逸刑法論
法學士 邁 宮本 平九郎著	國際私法	法學士 邁 米 國 比	比較憲法論
法學士 邁 澤柳 政太郎著	帝國憲法論	法學士 邁 松本 正雄著	經濟原論
法學士 邁 竹井 耕一郎著	帝國憲法論	法學士 邁 永井 直好著	經濟原論
法學士 邁 副島 健一著	普國國家法論	法學士 邁 神戶 正雄著	經濟原論
法學士 邁 シュルツェ著	普國國家法論	法學士 邁 佐藤 三郎著	經濟原論
法學士 邁 副島 健一著	普國國家法論	法學士 邁 松崎 元雄著	經濟原論
法學士 邁 若山 飛司著	商法要論	法學士 邁 永井 直好著	經濟原論

米國 著者 梅若 正 直 共著

財政學

法學士 河津 逸 著

貨幣論

獨逸 オルデンブルク 著

佛陀傳

島村 龍太郎 著

美辭學

文學博士 坪内 雄藏 著

英文學史

二十

増田 隆之助 著

英文註釋

文學博士 坪内 雄藏 著

英文評釋

農學士 佐久間 信恭 著

英語及英文學

淨田 和民 著

研究資料

佛國 著者 林毅 陸 著

史學原論

發行所

東京牛込早稲田

東京專門學校出版部

發賣所

日本橋區本町三丁目

博文館

大取次

神田區一橋通町

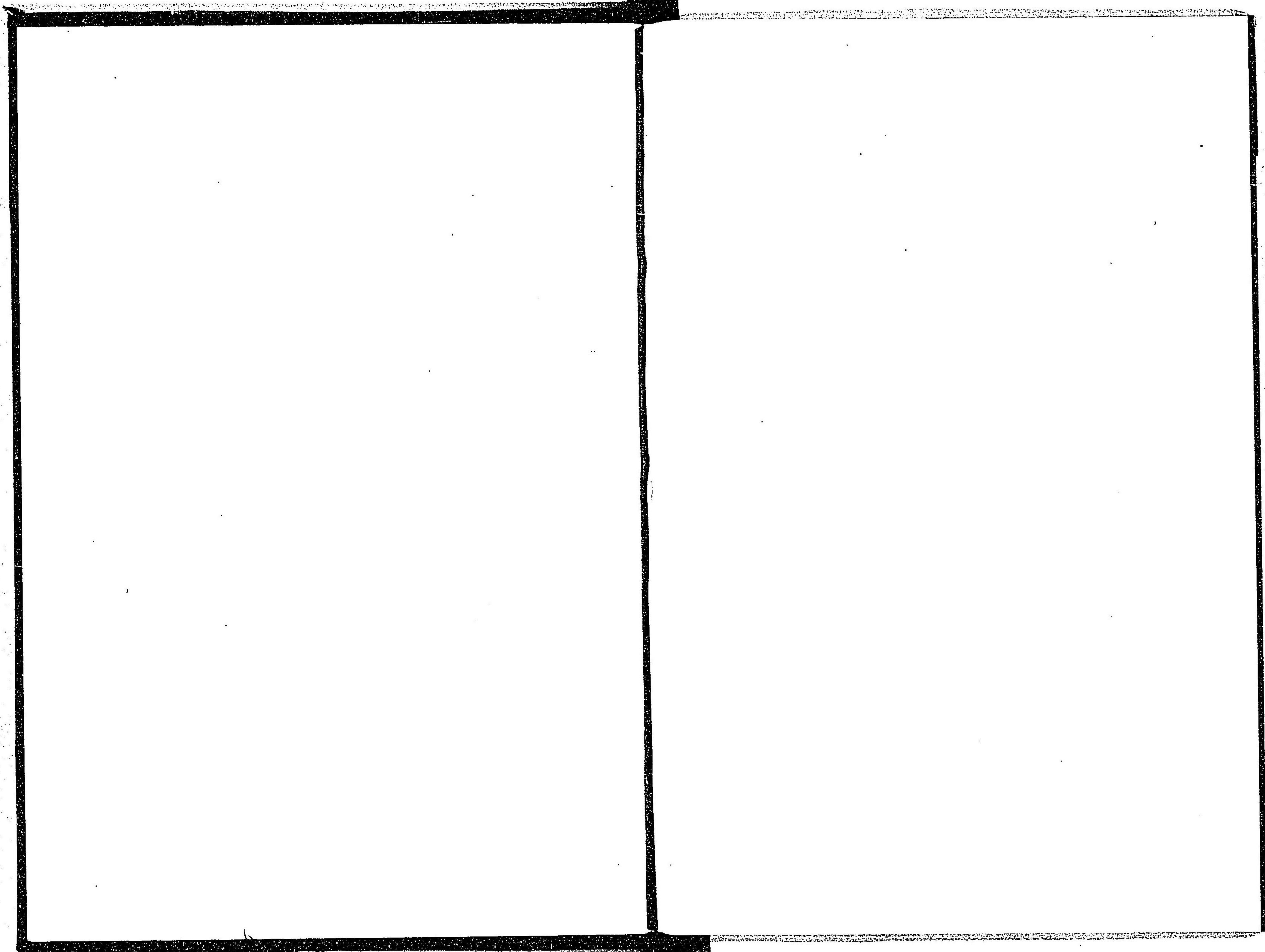
有斐閣

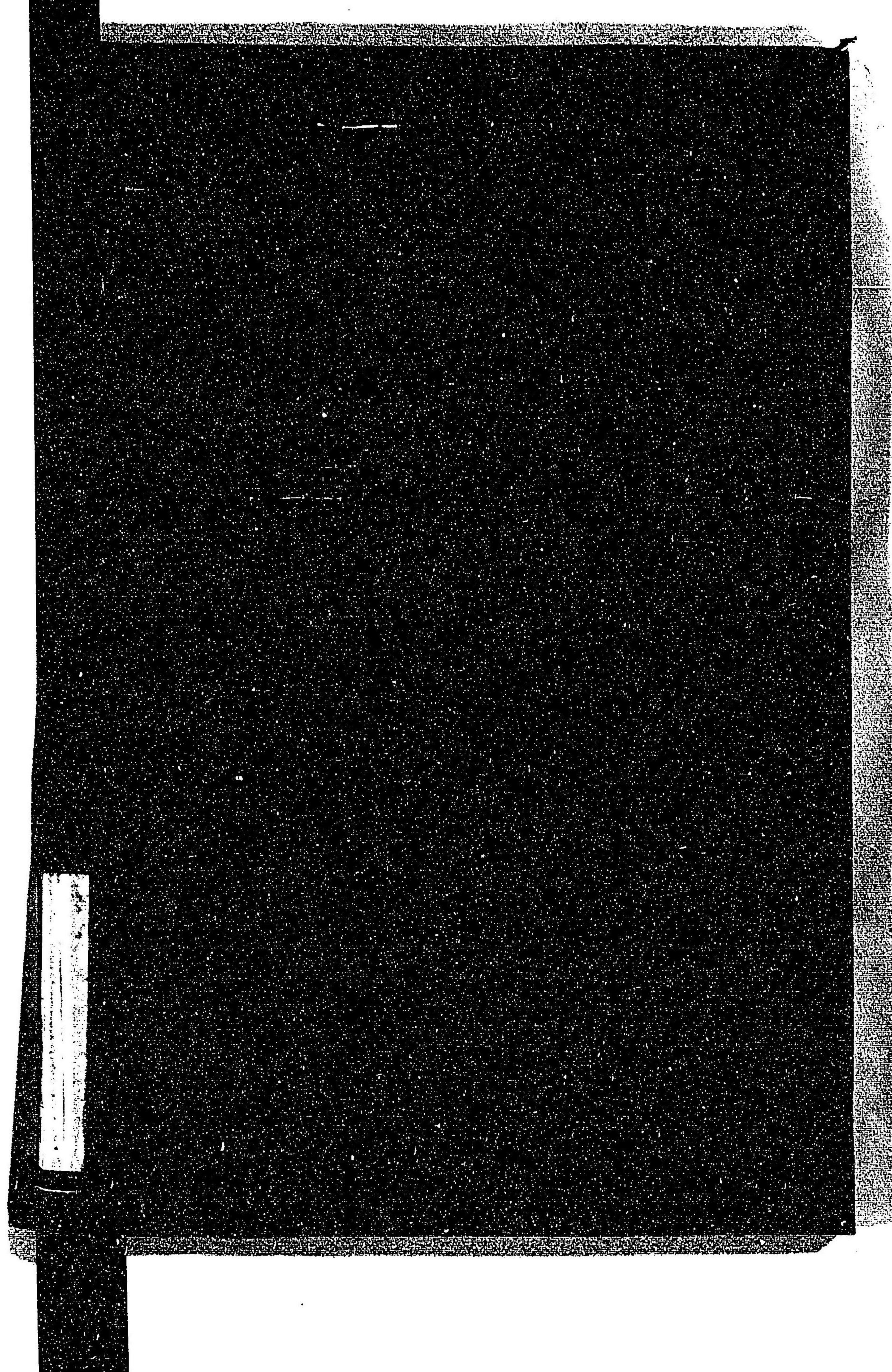
神田區表神保町

東京堂

大阪東區備後町四丁目

吉岡書店





003043-000-3

222.06-cC72 S T

最近の支那（早稻田小篇）

アーチバルド・アール・コフーン／著

如漢書通纂目錄

74-155

M34

ACC-0469



